

# User Manual



Foxit J-Reader 4.2

For Windows

**Foxit**

©2010 Foxit Corporation. All Rights Reserved.

Copyright © 2010 Foxit Corporation. All Rights Reserved.

No part of this document can be reproduced, transferred, distributed or stored in any format without the prior written permission of Foxit.

Anti-Grain Geometry -Version 2.3

Copyright (C) 2002-2005 Maxim Shemanarev (<http://www.antigrain.com>)

Permission to copy, use, modify, sell and distribute this software is granted provided this copyright notice appears in all copies. This software is provided "as is" without express or implied warranty, and with no claim as to its suitability for any purpose.

# 目次

<b>Foxit J-Reader ソフトウェア使用許諾</b> .....	<b>5</b>
<b>第一章 - 概要</b> .....	<b>11</b>
なぜ <b>PDF</b> なのか.....	11
なぜ <b>Foxit J-Reader</b> なのか.....	11
<b>Foxit J-Reader</b> のアドオンプログラム.....	12
<b>Foxit J-Reader</b> のアップデート.....	16
ユーザーマニュアル.....	17
<b>Foxit J-Reader 4.2</b> での変更点.....	18
<b>第二章 - はじめに</b> .....	<b>19</b>
インストール.....	19
ワークエリア.....	23
ワークエリアのカスタマイズ.....	25
<b>PDF</b> のプロパティ.....	35
アンインストール.....	38
<b>第三章 - PDF の閲覧</b> .....	<b>39</b>
ドキュメントを開く.....	39
ドキュメントの閲覧.....	40
ドキュメント内のナビゲーション.....	43
閲覧するドキュメントの調整.....	47
動画やサウンドの再生.....	51
レイヤーの操作.....	52
テキスト検索.....	54
電子署名の照合.....	56
日本語などアジアの言語を含む <b>PDF</b> の処理.....	57
<b>PDF</b> ドキュメントを <b>e-mail</b> で送信.....	58
<b>PDF</b> ドキュメントの保存.....	58
ドキュメントを閉じる.....	59
<b>Foxit J-Reader</b> の終了.....	59
<b>第四章 - PDF ドキュメントの操作</b> .....	<b>61</b>
テキストのコピー.....	61
イメージのコピー.....	62
テキストとイメージの組み合わせをイメージとしてコピー.....	63
定規とガイド.....	63
オブジェクトの測定.....	65
ツールバーの設定.....	67

テキストビューア .....	68
取り消しとやり直し .....	74
トラストマネージャ .....	75
<b>第五章 - コメント .....</b>	<b>77</b>
コメントツール .....	77
コメント追加のためのツールの選択 .....	77
ノートコメントの追加 .....	78
テキストマークアップツール .....	80
テキスト選択ツール .....	82
描画マークアップツール .....	83
タイプライター .....	85
マークアップのプロパティ変更 .....	91
コメントを使用する .....	95
注釈を付けた <b>PDF</b> ドキュメントの送信 .....	98
<b>第六章 - フォーム .....</b>	<b>99</b>
概要 .....	99
<b>PDF</b> フォームへの入力 .....	100
<b>第七章 - インポートとエクスポート .....</b>	<b>104</b>
コメントデータのインポートとエクスポート .....	104
フォームデータのインポートとエクスポート .....	105
<b>第八章 - <b>PDF</b> の編集 .....</b>	<b>106</b>
しおりの作成 .....	106
リンクの追加 .....	112
ファイルの添付 .....	116
イメージの追加 .....	120
マルチメディアの追加 .....	126
<b>JavaScript</b> の実行 .....	132
<b>第九章 - 印刷 .....</b>	<b>134</b>
<b>PDF</b> ドキュメントの印刷方法 .....	134
ページの一部を印刷する .....	134
印刷の設定 .....	135
印刷ダイアログ .....	136
<b>第十章 - 付録 .....</b>	<b>140</b>
キーボードショートカット .....	140
コマンドライン .....	142
<b>お問い合わせ .....</b>	<b>144</b>

# Foxit J-Reader ソフトウェア使用許諾

本ソフトウェア使用許諾契約書（以下「本契約」といいます）は、株式会社 FoxitJapan（以下「当社」といいます）が米国人である Foxit Corporation（以下「Foxit Corporation」といいます）が開発し、権利を有し、当社に使用許諾の権限を付与した本ソフトウェア（第 1.1 条に定義される）をご利用されるお客様と当社との間の法的な契約書です。お客様が本契約に記載された条件に同意する場合に限って、本ソフトウェアを使用する権利が許諾されます。お客様が本契約に記載された条件に同意されない場合、当社は本ソフトウェアをお客様に使用許諾いたしません。その場合、お客様は、本ソフトウェアをインストール又は使用（第 1.2 条に定義される）しないで下さい。

## 第 1 条（定義）

本契約において使用される用語の意義は、以下のとおりとする。

- 1.1 「本ソフトウェア」とは、①デスクトップ及びサーバ・ソフトウェア・アプリケーション用の PDF Viewer である Foxit J-Reader のコンピュータ・プログラム（ドライバーその他のモジュールを含む）（以下「本プログラム」といいます）並びに②説明資料及びサポート用文書（以下「ドキュメント」といいます）を意味します。当社がお客様に提供する本ソフトウェアのアップデート及びアップグレードも、別の使用許諾契約の対象とならない限り、本ソフトウェアに含まれるものとします。
- 1.2 「使用」とは、インストール、複製、ダウンロード、アクセスその他の方法で、本ソフトウェアを使用することを意味します。

## 第 2 条（使用権の許諾）

当社は、お客様に、本契約に記載された諸条件に従って、以下に記載する非独占的で譲渡不能な本ソフトウェアの日本国内における使用権を許諾します。

### 2.1 シングル・ユース永久ライセンス。

お客様は、1 人の使用者に対し、その者のみが使用する 1 台のコンピュータに本ソフトウェアをインストールすることを許可することができます。当社の書面による明確な同意がない限り、リモート・アクセスすることはできません。

### 2.2 シングル・ユース期間ライセンス。

使用期間を除き、上記シングル・ユース永久ライセンスと同じ条件となります。当初使用期間が満了した場合には、使用権が更新されている場合を除き、コンピュータから本ソフトウェアをアン・インストールしなければなりません。

### 第3条（制限）

**3.1** お客様は、適用される法により明示的に許される場合を除き、リバース・エンジニアリング、デコンパイル、ディスアSEMBルその他本ソフトウェアのソースコードの解読を試みることができません。お客様は、本ソフトウェアを貸与、リース、移転し又は第三者のために本ソフトウェアを運営・管理することができません。本ソフトウェアは、1つの統一された製品であり、その構成部分を複数のコンピュータで使用するために分離することができません。本ソフトウェアには無断複製を防ぐための技術的保護手段が講じられていることや本ソフトウェアのオリジナル・メディアを使用することが必要とされていることがあります。無断複製することや技術的保護手段を回避することは違法です。当社の事前の書面による許可のない限り、お客様又は第三者が本ソフトウェアを販売することはできません。本契約で明示的に許諾されたものを除き、本ソフトウェアに関する全ての権利は、**Foxit Corporation** に留保されています。

### **3.2** 第三者のソフトウェア。

本ソフトウェアには、当社が正当にサブライセンス権を許諾された第三者のソフトウェアが含まれている場合があります。その場合、第三者のソフトウェアは、著作権その他の法律によって保護されます。

### 第4条（サポート及びメンテナンス条項）

#### **4.1** メンテナンス期間。

当社は、お客様に対し、本契約に記載された諸条件に従って、メンテナンス（以下に定義します）を提供します。但し、お客様が第 **3.4** 条に記載されたメンテナンス料を支払う場合に限りです。メンテナンス期間は、両当事者で書面により合意した場合を除き、本ソフトウェアの使用を開始した日から1年間（以下「当初サポート及びメンテナンス期間」といいます）で、その後1年毎に更新されます。メンテナンスの更新をしなかった場合、お客様は、継続しているサポート及びメンテナンス及び将来のバージョンの提供を受けるためには、新しいライセンスを購入する必要があります。

#### **4.2** メンテナンス・サービス。

当社は、メンテナンス料の支払を条件に、本契約の期間中、お客様に対し、以下のサポート及びメンテナンス（以下併せて「メンテナンス」といいます）を提供します。

#### 4.2.1 サポート

当社は、お客様に対し、本ソフトウェアの現行バージョンについて電子メール及びファクシミリによるサポートを提供します。お客様は、本ソフトウェアに関する質問又は問題点を、サポート用電子メールアドレス（[support@foxitsoftware.com](mailto:support@foxitsoftware.com) 又は [fj@foxitsoftware.com](mailto:fj@foxitsoftware.com)）又はファクシミリ（03-6721-2020）により、当社に通知してください。当社は、速やかに、お客様の質問や問題点について調査します。お客様は、当社に対し、係る調査を援助するために及び全ての問題点が解決されたことを確認するために、十分な情報を提供することに同意します。当社は、回答期限を保証しませんが、当社の休日を除き 24 時間以内に電子メールかファクシミリで回答するよう誠実に努力します。

#### 4.2.2 メンテナンス

当社は、お客様に対し、追加料金なしで、当社が一般的に利用できるようになった本ソフトウェアの改良版、アップグレード版または修正版を提供します。かかる改良版、アップグレード版及び修正版は、本契約上、本ソフトウェアの一部となるものとします。

4.2.3 お客様は、当社が本契約に基づき提供するメンテナンスが現行バージョン及びその直前のバージョンに限定されるものであることを認識し同意します。

#### 4.3 免責.

当社がメンテナンスを提供する義務は、お客様が本ソフトウェアを適切に使用しかつ本契約を完全に遵守していることを条件とします。更に、当社は、以下のいずれかが原因でメンテナンスが必要になった場合、メンテナンスを提供する義務を負いません。

(a)お客様が本ソフトウェアの供されるシステム条件を超えて本ソフトウェアを操作した場合

(b)お客様又は第三者が本ソフトウェアを改変し又は改変しようとした場合

(c)当社が推奨した本ソフトウェアの変更を怠った又は拒絶した場合

#### 4.4 対価.

当社が提供するメンテナンス・サービスの対価について、お客様は、当社又はその代理人に対し、請求書、受領書、購入注文書その他の注文書類に記載された当初サポート及びメンテナンス期間に対する料金（以下「メンテナンス料」といいます）を支払うものとします。お客様は、当初サポート期間終了時又はその後のサポート及びメンテナンス期間終了時に、翌年のメンテナンス・サービスへの参加を更新することができます。但し、お客様が(a)当社に支払うべき支払を全て行っていること、及び(b)その時に継続しているメンテナンス期間の満了の 30 日以上前にお客様が解約しない限り、当社又はその代理人に対しその時に継続しているメンテナンス期間終了前に当社又はその代理人が請求する更新後

の料金を支払うことを条件とします。更新期間に対するメンテナンス料は、直前のメンテナンス期間に対するメンテナンス料に消費者物価指数を限度とするパーセンテージによる増額を加えた額とします。加えて、お客様が直前のメンテナンス期間満了後10日以内に当社に支払わなかった場合には、メンテナンスは、翌メンテナンス期間に継続されないものとします。

#### 4.5 適用除外.

無償の本ソフトウェア又はβ版の本ソフトウェアについては、メンテナンス・サービス(第4.2条)及び免責(第4.3条)のみ適用されます。

#### 第5条 (支払条件)

本契約に明示された場合を除き、本契約に基づき支払われる料金その他の金員は、取り消しできず、かつ返還されないものとします。当事者間で別途合意しない限り、お客様は、請求書の日付から30日以内に、全ての料金その他の金員を支払うものとします。支払を遅延した場合には、未払額について支払期日から月1.5%の割合による遅延損害金を支払うものとします。お客様は、請求額に消費税を付加して支払うものとします。

#### 第6条 (データ使用の同意)

当社がお客様に対しメンテナンスを提供する場合、お客様は、本ソフトウェアに関するメンテナンス・サービスの一環として、当社又はその関連会社がお客様の提供する情報を収集し使用することに同意します。また、お客様は、本契約を締結することにより、当社がお客様の名前、メール・アドレスその他の情報を含め、お客様に関する個人情報(個人情報の保護に関する法律第2条第1項と同義)を収集し、保有することができることに同意することになります。当社は、お客様の個人情報を、本契約に基づく権利を行使し義務を履行するため、及びお客様との取引を適切かつ円滑に履行するために使用します。

#### 第7条 (知的財産権)

本ソフトウェア(お客様が作成したコピーを含む)に関するあらゆる権利、権原は、**Foxit Corporation** に帰属しています。本ソフトウェア(お客様が作成したコピーを含む)に関するあらゆる著作権、トレード・シークレット、特許、商標その他の知的財産権(申請、登録、更新する権利を含む)は、**Foxit Corporation** に帰属しています。本契約で明記されたものを除き、お客様は、本ソフトウェアの知的財産権を許諾されていません。

#### 第8条 (輸出規制)

お客様は、本ソフトウェアがアメリカ合衆国に起源するものであることを認めます。お客様は、日本国の輸出に関する法令その他の規制に加え、アメリカ合衆国の輸出に関する法令その他の規制も遵守することに同意します。

#### 第9条（無保証）

本ソフトウェアは、現状有姿で提供され、当社及び **Foxit Corporation** は、本ソフトウェアの使用又は性能に関し、いかなる保証もしません。当社及び **Foxit Corporation** は、本ソフトウェアを使用することにより得られる結果又はパフォーマンスに関し、いかなる保証もしません。当社及び **Foxit Corporation** は、明示又は黙示を問わず、法律上のものであると慣習その他のものであるとを問わず、第三者の権利の非侵害性、商品性、特定目的適合性を含む一切の保証、表明を明示的に放棄します。

#### 第10条（責任の制限）

当社及び **Foxit Corporation** は、自己の故意又は重大な過失から生じた直接の結果として現実に生じた通常の損害に限り責任を負います。当社及び **Foxit Corporation** の本契約の履行に関する損害賠償の累計総額は、債務不履行、法律上の瑕疵担保責任、不当利得、不法行為その他請求原因如何にかかわらず、お客様が本契約に基づき当社に支払った金額又は金1万円のいずれか高い方を限度とします。なお、第9条及び第10条の規定は、法律で最大限認められる限度で適用されます。

#### 第11条（解約等）

お客様は、当社が要求した場合、要求のあった日から30日以内に、お客様が要求のあった日時点で本契約に従って本ソフトウェアを使用していることを証明するに足る書類を当社に提出することに同意します。

お客様が、本契約に違反した場合、当社は、何らの催告をすることなく本契約を解約することができるものとします。

本契約が解約された場合、お客様は、本ソフトウェアの使用を直ちに止めるとともに、本ソフトウェアの全てのコピーを直ちに廃棄しなければなりません。加えて、お客様は、本ソフトウェアをインストールしたサーバ、コンピュータ及びターミナルから本ソフトウェアを消去しなければなりません。

本契約が終了した場合でも、第7条、第9条、第10条及び第12条の規定は、なおも有効に存続します。

## 第 12 条 (一般条項)

本契約は、日本法に準拠し、日本法に従い解釈されます。法令に基づき又は裁判所の判断により、本契約のいずれかの条項が執行不能又は無効とされる場合、かかる執行不能又は無効は、本契約を全体として執行不能又は無効とするものではなく、執行不能又は無効とされた条項は、法令又は裁判所の判断に矛盾しない範囲で、当該条項の目的を最大限達成するように変更及び解釈されるものとします。本契約のいかなる条項の修正も、書面により、かつ当社の権限あるものが署名又は記名押印しない限り、その効力を生じません。本契約に定めのない事項及び本契約の条項に疑義又は紛争が生じた場合、両当事者間で誠意を持って協議し解決を図るものとします。万一協議が調わず訴訟の必要が生じた場合、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

## 第一章 - 概要

Foxit J-Reader 4.2 へようこそ！ - PDF ドキュメントの閲覧と印刷に関する正しい選択を歓迎いたします。Foxit J-Reader 4.2 は、これから先は Foxit J-Reader と呼びますが、フリーの PDF ドキュメント閲覧、印刷用のソフトウェアです。Foxit J-Reader は起動が速く（1 秒程度で起動します）、インストールも簡単で、すぐに使用することができます。

Foxit J-Reader には、PDF ドキュメントを閲覧するための基本的な機能だけでなく、多くの拡張機能が備わっています。例えば、コメントの追加、操作の取り消し、やり直し PDF ドキュメントをテキスト形式で保管する、そしてテキストビューアからのテキストのコピー等々です。

### なぜ PDF なのか

- **独自のロックアンドフィール**  
PDF ドキュメントは、ソフトウェアプラットフォーム、オリジナルの文書を作成したアプリケーション、そして特殊なフォントなどに影響されず、オリジナルのドキュメントを忠実に再現できます。
- **セキュアで信頼のおける電子文書の配布や交換**  
10 年以上前に Adobe Systems により開発された Portable Document Format (PDF) はセキュアで信頼できる電子データの配布や交換の方法として、非常に有効であり、事実上の世界標準となっています。PDF は、ドキュメント管理の簡略化、生産性の向上、紙の削減などを目的として、多くの政府や企業で採用されています。
- **完全性と一貫性を備えたデジタルソリューション**  
PDF は出版業界や印刷業界で標準のフォーマットとなりました。なぜなら、画面で見たものが、そのまま印刷されるからです。  
PDF が公的な標準形式となるにつれ、印刷、出版業界以外のユーザーも、統合されて一貫した出力を得られる PDF ドキュメントが、ベストソリューションであることを認識しはじめました。

### なぜ Foxit J-Reader なのか

- **非常にコンパクト**  
Foxit J-Reader は、消費するメモリーが少なく、小さくて軽量のアプリケーション

ョンです。

- **静かで高速な起動**  
Foxit J-Reader を実行すると、ほとんど瞬時に起動されることがわかります。
- **注釈ツール**  
PDF ドキュメントを読んでいるとき、注釈（あるいはコメント）を付けたいと感じたことはありませんか？ Foxit J-Reader を使用すると、PDF ドキュメントに図形、文字のハイライト表示、テキスト、ノート等を追加して印刷することや、そのまま保存することが出来ます。
- **テキスト変換機能**  
PDF ドキュメント全体をシンプルなテキストファイルに変換することが出来ます。
- **マルチメディアデザインのサポート**  
Foxit J-Reader は、マルチメディアデザインができるように拡張されました。PDF ドキュメントにムービーやオーディオのファイルを追加し、PDF ドキュメントをよりマルチメディアリッチにすることができます。
- **高いレベルのセキュリティとプライバシー保護**  
Foxit J-Reader はユーザーのセキュリティとプライバシーを最大限に重視します。他の PDF Reader が行うようなバックグラウンドでのインターネットへの接続を、ユーザーの許可を得ずに行うことはありません。Foxit の PDF Reader には、いかなる spy-ware も ad-ware も含まれておりません。
- **安価で機能が豊富**  
Foxit J-Reader のアドバンスト add-on は、誰でも入手可能です。アドバンスト add-on を使用していただくと、Foxit J-Reader が主な競合企業よりも安価ですばらしいパフォーマンスを提供していることがわかるでしょう。

## Foxit J-Reader のアドオンプログラム

Foxit J-Reader の提供するアドオンプログラムは機能ごとに別れており、必要に応じて使用する機能をダウンロードできます。これらのアドオンプログラムは、リストにあるようにクリティカル・アドオンとアドバンスト・アドオンに別れており、どちらもアップデートマネージャを使用してアップデートできます。

## クリティカルアドオン

クリティカル・アドオンはフリーのソフトウェアで、Foxit J-Reader の最適な表示と最適に実行するための必須コンポーネントです。

例えば、ユーザーが日本語を含む PDF ドキュメント開いた時、Foxit Reader は『Eastern Asian Language Support』をダウンロードするか尋ねます、このとき[キャンセル]を選択すると、ユーザーは該当 PDF ドキュメントを開くことは出来ませんが、一部の文字が正しく表示されません。(Foxit J-Reader には、既に『Eastern Asian Language Support』がインストールされています)

### Foxit J-Reader のクリティカル・アドオン

名前	機能概要	サイズ	備考
<b>JPEG2000/JBIG Decoder</b>	このアドオンは、JPEG2000 および JBIG2 形式のイメージデータを処理するために必要です。このモジュールをインストールしていないと、JPEG2000 や JBIG2 形式のイメージを表示することは出来ません。	169KB	<a href="#">Download</a> 無償
<b>Eastern Asian Language Support</b>	このモジュールは、PDF ドキュメント内の、日本語を含む東アジアの言語を表示するために必要です。このモジュールが無いと、日本語等東アジアの言語を正しく表示することは出来ません。	1.12MB	<a href="#">Download</a> (既にインストールされています)
<b>GDI+ Module</b>	このモジュールは、マイクロソフト社がグラフィックスの表示品質を良くするために配布している、再配布可能なモジュールです。このモジュールが無くても、Foxit J-Reader は PDF ドキュメント内のグラフィックスを処理することが可能ですが、品質が低下します。また、このモジュールの導入により、他のアプリケーションに悪影響が出ることはありません。	764KB	<a href="#">Download</a> 無償
<b>JavaScript Support</b>	このアドオンは、対話形式のフォームで JavaScript を実行する際に使用します。このモジュールが無くてもフォームを使用することはできますが、ない場合、フィールド値の検証や再計算など、自動的に実行される処理が実行されません。	1.05MB	<a href="#">Download</a> 無償

ノート: クリティカル・アドオンを手動でインストールする場合は、ダウンロードしたファイルを解凍して、Foxit J-Reader をインストールしているフォルダに格納してください。

参照

["Foxit J-Reader のアップデート"](#)

アドバンスト・アドオン

アドバンスト・アドオンには、Foxit PDF Editor と Foxit PDF Creator という高機能のソフトウェアが含まれます。Foxit PDF Editor と Foxit PDF Creator は、独自のインストールプログラムを持ち、単独で動作できる、スタンドアロンのプログラムです。

Foxit PDF Editor は PDF ドキュメントのコンテンツが編集可能で、Foxit PDF Creator は PDF 以外のファイルを PDF ドキュメントに変換します。

Foxit J-Reader のアドバンスト・アドオン

名前	機能概要	サイズ	備考
<b>Foxit PDF Editor</b>	<p>このアドオンプログラムは、Foxit PDF Editor の評価版をインストールします。Foxit PDF Editor の評価版は、テキスト、図形や線などのグラフィックデータ、そしてイメージデータなどの PDF ファイルのコンテンツを編集することができます。</p> <p>Foxit PDF Editor をすでにインストールしている環境にはこのパッケージはインストールせず、直接 Foxit PDF Editor を実行してください。</p>	3.32MB	<a href="#">Download</a>
<b>Foxit PDF Creator</b>	<p>このアドオンプログラムは、システムに仮想のプリンタをインストールします。この仮想プリンタは、あらゆる印刷可能なドキュメントを PDF ファイルに変換します。必要な操作は、対象のアプリケーションを開き、Foxit PDF Printer を使用して印刷するだけです。</p> <p>このパッケージをインストールしていない場合、Foxit J-Reader の Convert to PDF (PDF の作成) 機能は使用できません。</p>	675KB	<a href="#">Download</a> (32bit 版と 64bit 版があります)

<b>Foxit Toolbar for Browser</b>	<p>このアドオンプログラムは、IE と Firefox 向けの無償のツールバーです。Foxit に関する最新ニュースの配信や、ブラウザから直接 Foxit 製品をアップグレードする機能を提供します。</p> <p>また、様々なツール、ガジェット等へのアクセスも提供します。</p>	1.01MB	<a href="#">Download</a> 無償
<b>Firefox Plugins</b>	<p>Foxit Firefox プラグインは、Firefox web ブラウザに Foxit J-Reader をインストールします。この無償のパッケージにより、PDF ドキュメントの表示、印刷、そして編集がブラウザから実行できるようになります。</p>	212KB	<a href="#">Download</a> 無償
<b>OnDemandCM</b>	<p>Foxit On Demand Content Management により、オンラインでのドキュメントやフォームの共有、共同作業、体系化などが可能となります。Foxit Reader から簡単にドキュメントのアップロードや送信ができるようになります。また高度な機能として、ワークフロー主導のドキュメント共有、ドキュメントの校正、共同作業のための CollabRoom 等の機能が提供されます。</p> <p>詳細は、パッケージの導入後、メインメニューの <b>Advanced &gt; OnDemandCM</b> を参照してください。</p>	817KB	<a href="#">Download</a> 無償
<b>Spell Checker</b>	<p>英語のフォームに入力する場合やタイプライター機能を使用して英語を入力する場合に、綴りの間違いがあるとスペルチェッカーは波線とハイライト表示で間違いを指摘します。</p> <p>ハイライト表示された単語の上でマウスを右クリックすると、正しい単語の候補が表示されます。ディクショナリをダウンロードするには <a href="#">こちら</a> をクリックしてください。</p>	239 KB	<a href="#">Download</a> (既にインストールされています)

ヒント :

1. **.fzip** ファイルのインストール

クリティカルアドオン、アドバンストアドオンを手動でインストールするには、**Foxit J-Reader** を起動し、メニューより、ヘルプ > アップデートのインストール、と操作し、[ファイルを開く] ダイアログでダウンロードしたファイル (.fzip 形式) を選択して、[開く] ボタンをクリックします。その後、インストールが完了した旨のメッセージが表示されますので、ダイアログの [完了] をクリックします。

2. **Foxit Spell Checker** 用ディクショナリのインストール

ディクショナリをダウンロードした後、解凍し、生成された “lex” という名前のフォルダを C:\Program Files\Foxit Software\Foxit Reader 等、Foxit J-Reader の導入フォルダにコピーしてください。

アップデートのチェック :

1. [アップデートの有無をチェック...] このオプションは初期状態では選択されていません。

## Foxit J-Reader のアップデート

Foxit のファイルやアドオン・プログラムは何種類かの方法で更新できます。いくつかの更新ファイルは、PDF ドキュメントを開くことによりアップデートが開始され、有効になります。例えば、日本語を含む PDF ドキュメントを開く際に、Foxit Reader は東アジアの言語サポートのためのコンポーネントをダウンロードするかどうか尋ねます。

(Foxit J-Reader には既にインストール済です) また、ヘルプメニューからだけダウンロードできる更新ファイルや、手動でインストールしなくてはならない更新ファイルもあります。いずれにせよ、全ての更新ファイルは、Foxit Software の web サイトから直接ダウンロードすることができます。

ヘルプメニューからのアップデート

1. メニューより、ヘルプ > アップデートの有無をチェック... と操作します。
2. [Foxit Reader Updates] ダイアログが開きますので、左のカラム [利用できるアップデート] から更新するファイルを選択します。そして [追加] ボタンをクリックして、右のカラム [選択されたアップデート] に移動します。ここには、使用している環境に適している更新モジュールだけが表示されます。
3. [インストール] ボタンをクリックします。

## アップデートに関する設定

1. メニューより、ヘルプ > アップデートの有無をチェック... と操作します。
2. [Foxit Reader Updates] ダイアログで、[設定] ボタンをクリックします。
3. 自動的に更新のチェックを行うには、まず [Foxit アップデートを自動でチェック] をクリックし、次に [毎週] または [毎月] のいずれかを選択して、自動的にチェックする間隔を設定します。
4. [OK] ボタンをクリックします。

## Foxit の Web サイトからアップデート

1. 次のリンクをクリックして Foxit Software の web サイトに移動します。  
<http://www.foxitsoftware.com/pdf/reader/addons.php>
2. 更新したいアドオンプログラムを選択してダウンロードします。
3. Foxit J-Reader をインストールしているディレクトリにダウンロードしたファイルを格納します。
4. 更新したファイルを有効にするため、Foxit J-Reader を再起動します。

## ユーザーマニュアル

このユーザーマニュアルは、目次の項目に分類して記述されています。十章で構成されており、目次の項目をクリックすると、各コンテンツのページにジャンプする事ができます。

参照したいトピックに移動する場合は、以下の何れかの操作を行ってください：

1. 目次を開き興味のある項目をクリックすると、その項目に関する説明のページが表示されます。
2. ブックマークペインのなかで、興味のある項目をクリックします。

ヘルプに関する問題を発見した場合や、サポートが必要な場合は、次のアドレスまでメールを送ってください。Foxit Software のサポートチームが問題解決の支援をいたします。ユーザーの皆様からのフィードバックにより我々のドキュメントが改善されますのでよろしくお願ひいたします。 [support@foxitsoftware.com](mailto:support@foxitsoftware.com)

## Foxit J-Reader 4.2 での変更点

Foxit J-Reader 4.2 では PDF のセキュリティを向上させる新機能の追加と、旧バージョンにおけるメジャーなバグの対策を行っています。

- **電子署名の検証**

Foxit J-Reader 4.2 は、PDF に対する電子署名の検証技術を採用しています。その技術により拡張された検証プロセスは、たとえ ISO 32000 準拠であっても、署名が本物で、署名もドキュメントも両方共感染していないことを検証します。この新しい検証プロセスは、ユーザーを偽造文書のリスクにさらすことなく、電子文書の交換においてセキュアで信頼できるプラットフォームを提供します。MDP の検証機能もまもなくリリース予定です。

- **ASLR と DEP のサポートによるセキュリティの向上**

Foxit J-Reader 4.2 でも継続してセキュリティ機能の向上を行っており、PDF ドキュメントがハッカー等の危険によりさらされ難しくなっています。現バージョンの Foxit J-Reader にも ASLR (Address Space Layout Randomization) は含まれており、キーファイルのデータを格納するメモリ上のアドレスをランダム化アルゴリズムにより決定しています。二番目のセキュリティ機能は、DEP (Data Execution Prevention) です。DEP は、メモリ上の実行できないアドレスにあるコードの実行を阻止します。ASLR と DEP の組み合わせは、Foxit J-Reader のセキュリティを大幅に改善し、企業、ビジネス、そして個人のユーザーに対して安定したプラットフォームを提供します。

- **バグフィックス**

1. PDF の見出しが 512 バイトを超えるとクラッシュする問題を解決しました。
2. リンクツールで作成したリンクを右クリックして表示されるポップアップメニューの [削除] が機能しない問題を解決しました。
3. 別のリンク元から、それぞれ相対パスと絶対パスの設定された同一の PDF ファイルを開くと、二つのタブを表示していた問題を解決しました。

## 第二章 - はじめに

この章では、インストール、ライセンス登録、ワークエリア、プロパティ、そしてアンインストールなど、Foxit J-Reader の概要について説明します。

### インストール

#### システム要件

Foxit J-Reader は以下の環境で正しく動作します。もしお使いのコンピュータがこの要件を満たさない場合、Foxit J-Reader を使用することはできません。

- Windows XP
- Windows Vista
- Windows 7

#### インストールの方法

次の FoxitJapan の Web サイトにアクセスし、Foxit J-Reader の最新バージョンをダウンロードして下さい。ダウンロードファイルには以下の 2 種類があります。

<http://www.foxitsoftware.com/japan/products/reader/downloads.php>

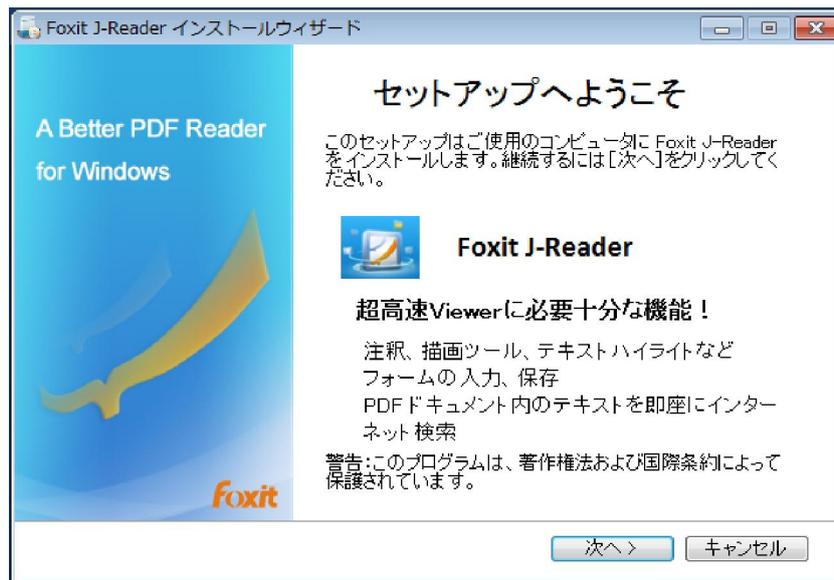
##### 1. Zip 形式

Zip 形式のファイルをダウンロードした場合は、ダウンロードしたファイルを解凍し、『Foxit J-Reader Setup.exe』をダブルクリックして下記 2 の操作を行ってください。

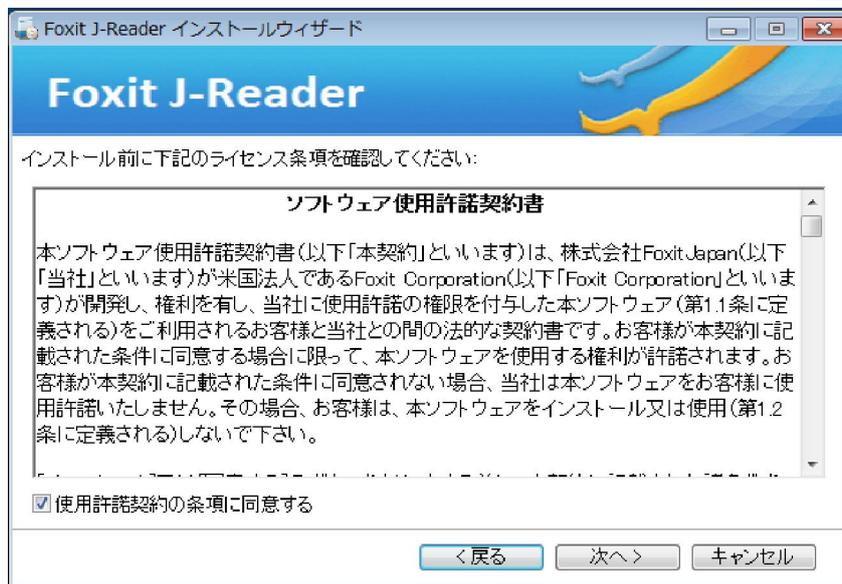
##### 2. EXE 形式

EXE 形式のファイル『Foxit J-Reader Setup.exe』をダウンロードした場合は、以下の操作を行ってください：

- “Foxit J-Reader Setup.exe” をダブルクリックすると、インストールウィザード画面が開きますので、[次へ] ボタンをクリックして先に進んでください。
- Foxit J-Reader の概要が表示されますので、[次へ] ボタンをクリックして先に進んでください。



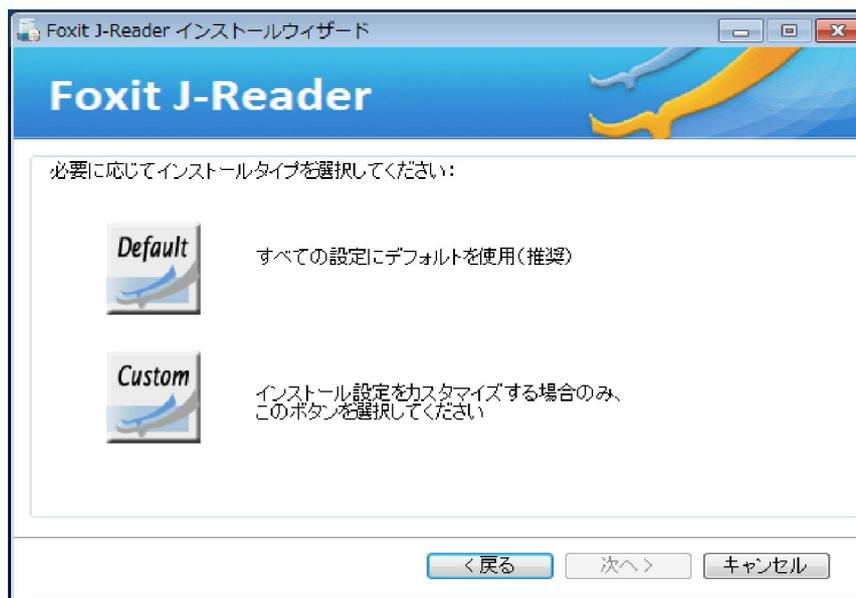
- ▶ ソフトウェア使用許諾契約書が表示されます。Foxit J-Reader は著作権により保護されており、ライセンスの同意事項に同意しない場合は先に進めません。[使用許諾契約の条項に同意する] オプションを選択してください。



- ▶ インストールの選択画面が表示されますので、[デフォルト]、[カスタム] のいずれかをクリックしてください。

デフォルトセットアップ—インストール先のディレクトリや、デスクトップの設定等全て規定の設定でインストールされます。

カスタムセットアップ—インストール先のディレクトリ、デスクトップの設定等、任意の設定でインストールできます。



- ▶ 選択したインストール方法により、それぞれ次の様な操作を行ないます：  
デフォルトセットアップ、インストールを完了するために [インストール] ボタンをクリックします。

カスタムセットアップ、以下の操作を行ないます。

- 1) [参照...] ボタンをクリックし、インストール先のディレクトリを設定して、[次へ] ボタンをクリックします。
- 2) インストールするオプションを選択し、[次へ] ボタンをクリックしてインストールを実行します。



- ▶ Foxit J-Reader のデスクトップ設定や、カスタマイズ設定のオプションを選択することができます。



- ▶ インストールが完了した旨のメッセージが表示されますので、[完了] ボタンをクリックしてインストールを終了します。

### 3. セーフモードの設定

セーフモードでインストールを実行したい場合は、画面イメージにある [セーフ読み込みモードを実行] オプションを選択してから [次へ] ボタンをクリックしてください。



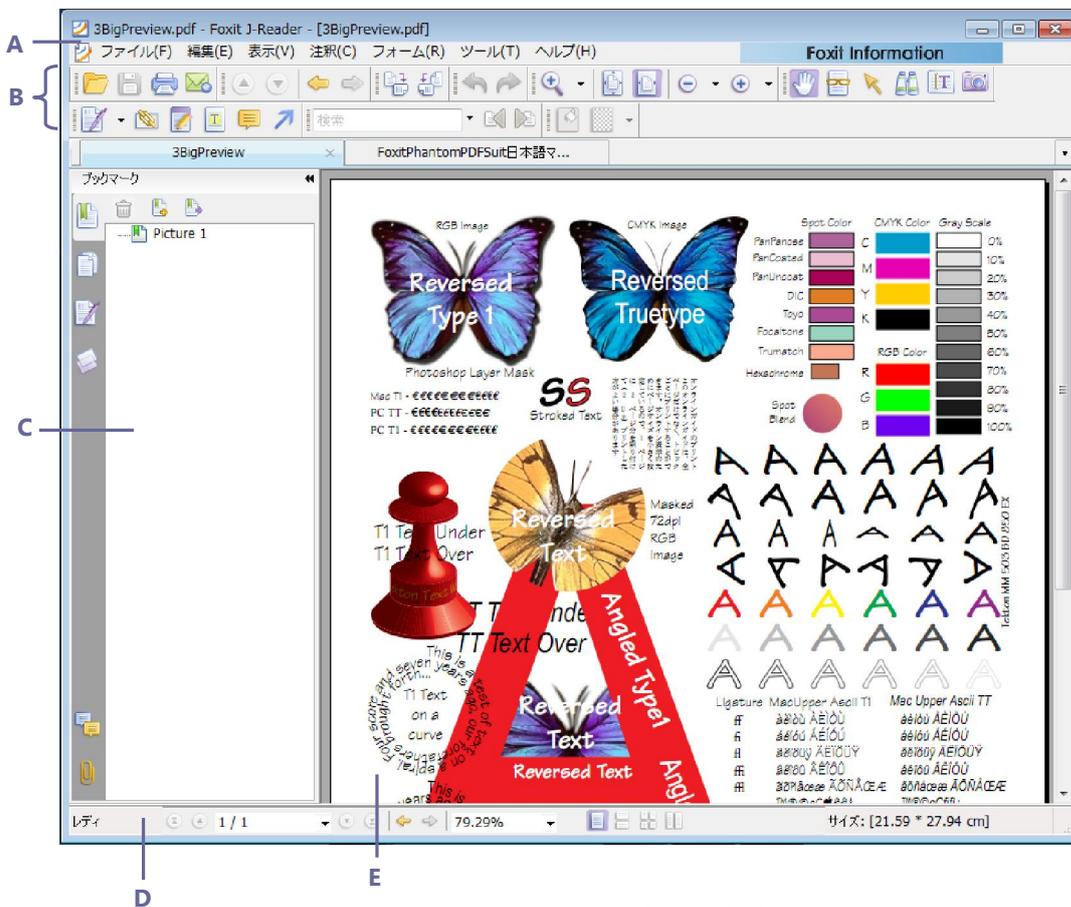
## ワークエリア

Foxit J-Reader は二つの異なる方法で開くことができます。ひとつは単独で開く方法で、もうひとつは Web ブラウザの中に開く方法です。関連付けられているワークエリアは起動方法により多少異なります。

Foxit J-Reader のワークエリアは PDF ドキュメントを表示するドキュメントペインと、ウィンドウの左端にありドキュメントのナビゲーションを支援するナビゲーションペインで構成されます。ウィンドウの上部と下部にあるツールバーは、ツールバー、メニューバー、そしてステータスバーで、異なる機能を提供します。

### Foxit J-Reader を単独で起動した場合のワークエリア

- ▶ デスクトップにある Foxit J-Reader のアイコンをダブルクリックして起動します。
- ▶ メニューより、ファイル > 開く...、と操作します。[ファイルを開く] ダイアログが開きますので、任意の PDF ファイルを選択して、[開く] ボタンをクリックします。

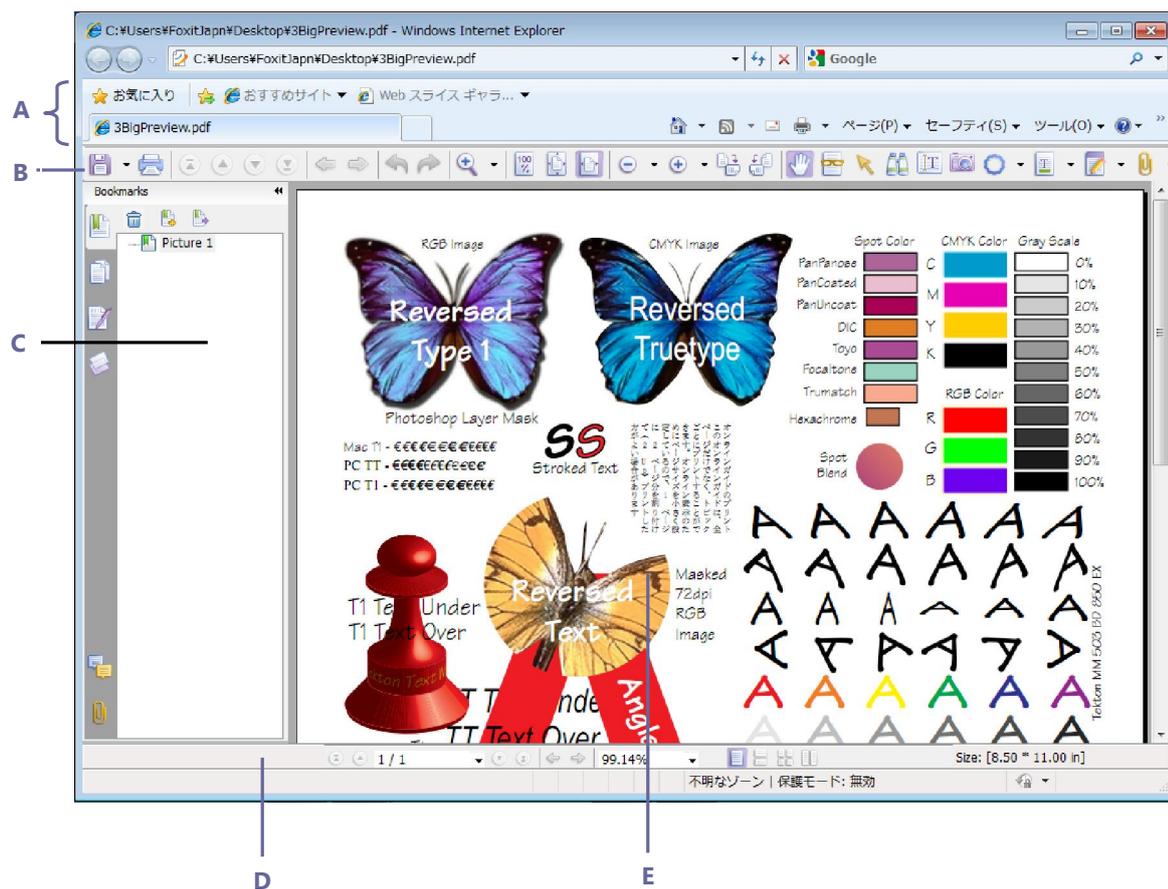


Foxit J-Reader のウィンドウ

A. メニューバー B. ツールバー C. ナビゲーションペイン（ブックマークペインを表示） D. ステータスバー E. ドキュメントペイン

## Foxit J-Reader を Web ブラウザの内に開いた場合のワークエリア

- Web ブラウザを起動します。
- インターネット上にある任意の PDF ドキュメントを選びリンクをクリックします。
- Foxit J-Reader が Web ブラウザの中を開き、その中に PDF ドキュメントが開きます。



## Web ブラウザ内に開いた Foxit J-Reader

A. Web ブラウザのメニューバーとボタン B. Foxit J-Reader のツールバー  
C. ナビゲーションペイン（ブックマークペインを表示） D. ステータスバー  
E. ドキュメントペイン

## ワークエリアのカスタマイズ

Foxit J-Reader に精通していれば、作業環境を変更することが出来ます。Foxit J-Reader のポテンシャルについて知れば知るほど、その機能、ツール、そしてオプションを有効に利用できます。

Foxit J-Reader には、最初を感じるよりもはるかに多くのアプリケーションがあります。Foxit J-Reader はツールや環境設定の方法の全ては表示していませんが、ユーザーが経験を積むに従って、それぞれのワークエリアを調整して表示し、徐々により多くの機能を使用できるようにすることを考えています。

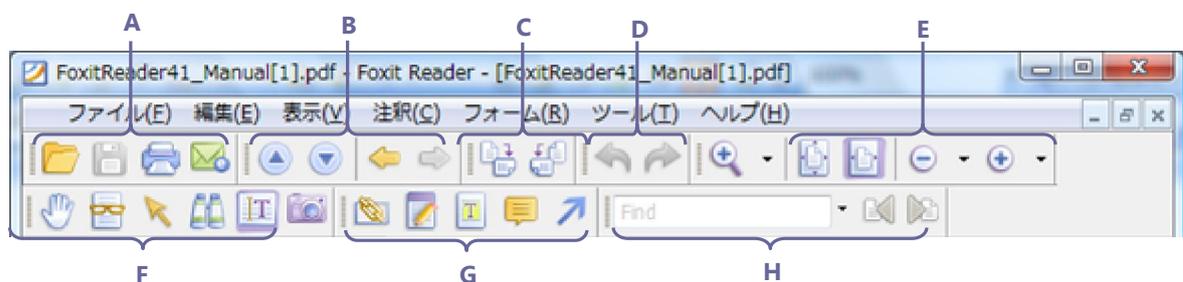
### メニューバー

一般的には、メニューバーを表示しておく方が、操作する上では有効です。しかしながら、より広いドキュメントペインを好むユーザーもいます。

表示するメニューを少なくしてドキュメントペインを広くするには、メインメニューより、表示 > メニューバー、と操作してメニューバーのチェックをはずすか、もしくは **F9** を押下します。また、非表示にしたメニューバーを再度表示するには、ツールバーで右クリックし、ポップアップメニューの [メニューバー] にチェックを付けるか、**F9** を再度押下します。

### ツールバー

Foxit J-Reader は、ユーザーのニーズや作業スタイルに応じてツールバーの表示を変更することができます。すなわち、ツールバーに表示されているボタンの追加や削除を行って、頻繁に使用するコマンドだけを表示することができます。詳細な方法については以下の説明を参照してください。



### Foxit J-Reader のツールバー

**A.** ファイル・ツールバー **B.** ナビゲーション・ツールバー **C.** 回転ツールバー **D.** 取り消し・やり直しツールバー **E.** ズーム・ツールバー **F.** 基本ツールバー **G.** お気に入りツールバー **H.** 検索ツールバー

どのツールバーも、フロートあるいは固定のどちらでも使用できます。固定したツールバーは、ツールバーエリアに表示され、フロート化したツールバーは、画面内の任意の場所に移動することができます。

それぞれのツールバーには、左端に [グラバーバー]  が表示されており、この部分をドラッグして移動できます

**ノート:** Foxit J-Reader は、最後に使用した時に [テキスト選択ツール] または [タイプライターツール] を使用した状態で終了すると、次に起動する際それらのツールが選択された状態で開きます。

## ツールバーの表示/非表示

- 全てのツールバーを非表示にするには、メニューより、表示 > ツールバー > ツールバーを隠す、と操作するか、またはキーボードでホットキーの **F8** を押下します。
- 全てのツールバーを表示するには、メニューより、表示 > ツールバー > ツールバーを表示、と操作するか、またはホットキーの **F8** を押下します。
- ツールバーを表示するには、メニューより、表示 > ツールバー、と操作し、表示するツールバー名を選択します。名称の隣にチェックマークのあるツールバーは、表示していることを表しています。
- ツールバーを隠すには、以下のいずれかを行ってください：
  - A. ツールバーの中で右クリックするか、またはメニューより、表示 > ツールバー、と操作し、非表示にしたいツールバーのチェックをはずします。
  - B. 非表示にしたいツールバーの左端をドラッグして、ドキュメントペインに移動します、次にタイトルバーの右上にある、クローズボタンをクリックします。
- ツールバーの表示内容を変更する場合、メニューより、ツール > ツールバーのカスタマイズ... と操作し、開いた [カスタマイズツール] ダイアログで対象項目の選択、あるいは選択解除を行ってください。ツールバー名の隣にあるチェックマークが、現在の表示状態を示しています。

## ツールバーの移動

- ツールバーエリアに固定されているツールバーの配置を変更するには、[グラバーバー] を使用して、ツールバーエリア内の移動先までドラッグします。
- 固定のツールバーをフロートにするには、[グラバーバー] をドラッグして、ツールバーエリアから外に移動します。
- フローティングツールバーを移動する場合は、そのタイトルバーをドラッグして画面内の任意の位置に移動します。
- フローティングツールバーを固定にするには、タイトルバーをダブルクリックするか、タイトルバーをドラッグしてツールバーエリア内に移動します。

- 複数のフローティングツールバーを全てツールバーエリアに移動するには、メニューより、表示 > ツールバー > ツールバーをリセット、と操作します。

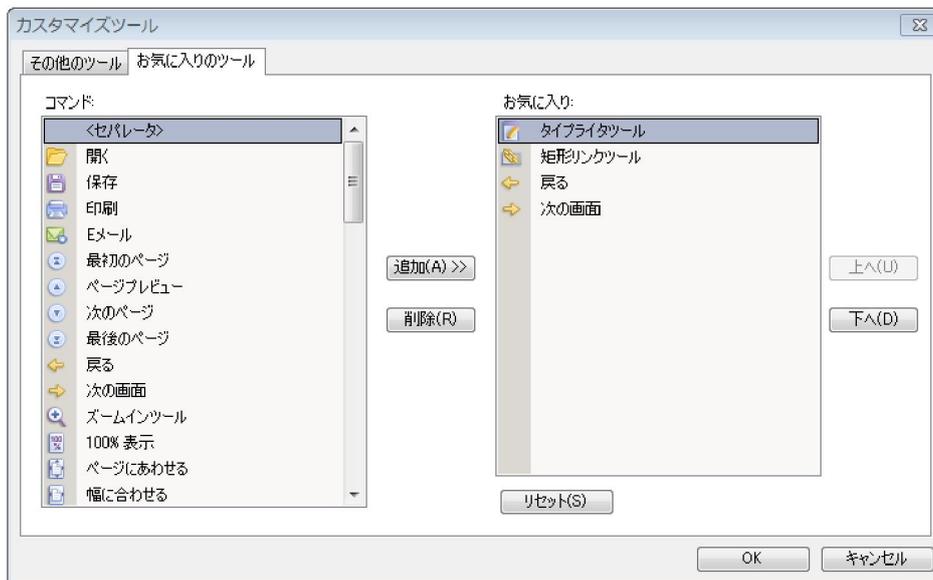
ノート: ツールバーをドラッグする場合は、ツールバーの左端にある [グラバーバー] をドラッグします。

## お気に入りの設定

お気に入りのツールには、任意のツールを登録する事ができますので、コンテンツの検索や閲覧を簡単に行うために必要なツールを自由に登録してください。お気に入りのツールは、ツールバーを使いやすくアレンジする新しい方法と言えます。

お気に入りのツール設定は、以下の手順で行ってください：

- メニューより、ツール > ツールバーのカスタマイズ... > [お気に入りのツール] タブ、と操作します。



- [お気に入りのツール] タブで以下の操作を行います：

**追加** - 左の [コマンド] ペインよりお気に入りのツールを選択し、[追加] ボタンをクリックします。選択したツールが、右の [お気に入り] ペインに移動します。<セパレーター>は任意のツールの間に追加することができます。

**削除** - 誤って [お気に入り] ペインに登録したツールは、[削除] ボタンで [お気に入り] ペインから削除することができます。

**リセット** - [お気に入り] ペインの内容を初期状態に戻します。

- [上へ] ボタン、[下へ] ボタンで、[お気に入り] ペインのツールの順序を変更することができます。

- [お気に入り] ツールバーの表示/非表示は、ツールバーを右クリックしてポップアップメニューの [お気に入りのツール] をクリックするか、またはメニューより、表示 > ツールバー > お気に入りのツール、と操作します。

## ツールバーをデフォルトの設定に戻す

- メニューより、表示 > ツールバー > ツールバーをリセット、と操作します。

## ナビゲーションペイン

ナビゲーションペインはドキュメントペインの隣にあり、レイヤーパネル、添付ファイルパネル、署名パネル、コメントパネル、ページパネル、そしてブックマークパネルなど、異なるナビゲーションパネルを表示します。これらのパネルはコンテンツの目次のように動作し、クリックすることによりドキュメント内の特定の場所にジャンプします。ナビゲーションペインは PDF ファイルを開いていない場合には表示されません。

ナビゲーションペインの左端にあるボタンは、各ナビゲーションペインに簡単にアクセスするツールです。例えば、 は [ブックマークパネル] ボタン、 は [ページパネル] ボタン、 は [レイヤーパネル] です。

- ナビゲーションペインを表示する場合は、メニューより、表示 > ナビゲーションパネル > ナビゲーションパネルを表示、と操作するか、またはショートカットキーの F4 を効果します。
- ナビゲーションパネルを表示する場合は、ナビゲーションペインのボタンをクリックするか、またはメニューより、表示 > ナビゲーションパネル > 表示するナビゲーションパネルの名前、と操作します。
- ナビゲーションペインを閉じる場合は、メニューより、表示 > ナビゲーションパネル > ナビゲーションパネルを隠す、と操作するか、またはショートカットキーの F4 を押下します。開いているナビゲーションパネルのボタンをクリックすると、ナビゲーションパネルを閉じることができます。

**ヒント:** ナビゲーションペインの右上にあるボタン をクリックすることにより、ナビゲーションペインの表示/非表示を切り替えることもできます。

## ナビゲーションペインの設定変更

ツールバーと同様にナビゲーションパネルは、ナビゲーションペインに固定することも、フロート化して **Foxit J-Reader** のワークエリア内を自由に移動することもできます。ナビゲーションパネルは、不要な時は閉じるかまたは非表示にすることができ、使用するときだけ開くことができます。そして、ナビゲーションペインの幅は簡単に変更できます。

### 1. ナビゲーションペインの中でパネルを参照する

初期状態では、全てのパネルはワークエリアの左端にあるナビゲーションペインに固定されて、関連するボタンのセットとして表示されています。

以下のいずれかの操作を行ってください:

- ナビゲーションペインの左端にあるパネルのボタンを選択します。
  - メニューより、表示 > ナビゲーションパネル > 対象のパネル名を選択、と操作します。
- ### 2. ナビゲーションペインのための表示エリアを操作する。
- ナビゲーションペインの表示エリアを変更する場合、右端の境界線をドラッグして幅を変更することができます。
  - ナビゲーションペインを最小化、あるいは最大化するには、ナビゲーションペインの右上の角にあるボタンをクリックします。

### 3. ナビゲーションパネルの固定とフロート化。

- パネルのボタンをドキュメントペインまでドラッグすると、ナビゲーションパネルがフロート化されます。
- パネルのボタンをドラッグして別の位置に移動すると、ナビゲーションパネルはフロート化されます。
- フロート化したナビゲーションパネルのタイトルバーをダブルクリックすると、ナビゲーションペイン内に固定されます。
- 二つフロートパネルがある場合、一方のタイトルバーをドラッグしてもう一方のパネル内でドロップすると、フロートパネルのグループが作成できます。
- メニューより、表示 > ナビゲーションパネル > すべてのパネルを連結、と操作すると、複数のフロート化したナビゲーションパネルをまとめて固定することができます。

## 環境設定

**Foxit J-Reader** はカスタマイズ可能ですが、カスタマイズできる機能の中には見つけるのが難しいものもあります。しかしこの説明を読んだ後は、いかに簡単に好みの環境設定ができるか理解いただけることでしょう。

### [コメント] タブに関する設定

ポップアップの透明度: [環境設定] ダイアログの [コメント] タブでは、1%から100%の間で、ポップアップノートの透明度を設定します。[環境設定] ダイアログの [ポップ

アップの透明度] スライダーバーを移動して透明度の調整が可能です。透明度の値が小さいほど、ノートはより透明になります。

### [ドキュメントレイアウト] タブに関する設定

[環境設定] ダイアログの [ドキュメント] タブでは、PDFドキュメントの表示に関して三つの方法を提供しています。また、PDFドキュメントの色をここで設定した色に置き換えることが出来ます。Foxit J-Readerは通常は自動的にPDFドキュメントの色の設定を使用します。

- ドキュメントレイアウト
  - A. タブ表示 : 複数のPDFドキュメントをひとつのFoxit J-Readerの中に開くことが出来ます。
  - B. 複数のインスタンスを認める: PDFドキュメントをダブルクリックして開くたびに、新しいFoxit J-Readerが起動されます。
  - C. すべてのタブを閉じる前にメッセージを表示する: 複数のPDFドキュメントを開いている状態でFoxit J-Readerのウィンドウを閉じる際、全てのタブを閉じるかどうか確認のメッセージを開きます。これは、ユーザーが表示中のドキュメントだけを閉じようとした時に、誤って全てを閉じてしまうことのないようにする機能です。このオプションを選択していないと、Foxit J-Readerは、メッセージを表示することなく、全てのタブを閉じて終了します。
  
- ドキュメントカラーオプション
  - A. ドキュメントカラーの置換 : ドキュメントの色の設定を変更するための他のオプションを有効にします。
  - B. Windowsカラースキームを使用: Windowsの環境設定に従った色の設定をPDFドキュメントの表示に適用します。
  - C. カスタム: PDFドキュメントの背景色とテキストの色を変更します。
  - D. 白黒のコンテンツだけ変更: 白と黒のテキストのみ変更し、他の色のテキストはオリジナルの色を使用します。
  
- 計測単位  
ステータスバーや印刷ダイアログに使用する単位を設定します。

### [フォーム] タブに関する設定

[環境設定] ダイアログの [フォーム] タブでは、対話形式のフォームの表示に関する設定を行います。

- ドキュメントメッセージバーを常に隠す: Foxit J-Readerで開くすべてのフォームについてドキュメントメッセージバーを非表示にします。このオプションを選択しな

い場合、Foxit J-Readerはドキュメントメッセージバーを常に表示します。

- ドキュメントを開いたときにフォームフィールドをハイライト表示する：初期設定の黄色でフォームフィールドをハイライト表示します。
- すべてのフィールドをハイライトする：全てのフィールドをハイライト表示にするか、特定のコントロールだけをハイライト表示にするのか選択します。このオプションは、全てのフィールドを [コンボボックス]、[リストボックス]、[ラジオボタン]、[チェックボックス]、[プッシュボタン]、そして [テキストフィールド] に分類しています。
- ハイライトするフィールドの種類：フィールドタイプ名の隣にあるカラーパネルをクリックして、ハイライト色を任意の色に変更します。
- 透明度：ハイライト表示するフィールドの透明度を設定します。
- ハイライトレイヤーの設定：
  - A. デフォルトの位置：初期設定では、テキスト入力エリアの下のレイヤーがハイライト表示となります。
  - B. フィールドを下に：テキスト入力エリアの下のレイヤーをハイライトにします。
  - C. フィールドを上：テキスト入力エリアの最上位のレイヤーをハイライトにします。

#### [フルスクリーン] タブに関する設定

[環境設定] ダイアログの [全画面モード] タブでは、対話形式のフォームの表示に関する設定を行います。

- フルスクリーンモードでのナビゲーション
  - A. フルスクリーンモード時の、スクロールバー、ステータスバー、しおり、そしてメニューバーの表示/非表示を設定します。
  - B. 終了ボタンを表示 - フルスクリーンモードでの終了ボタンの表示/非表示を設定します。このオプションを選択すると、終了ボタンが表示されます。
  - C. 一度に1ページだけを表示 - このオプションを選択すると、フルスクリーンモードにおいて、一度に1ページだけ表示します。
  - D. 左クリックで次のページを表示；右クリックで前のページを表示 - マウスのクリックによるページの移動を可能にします。このオプションを選択すると、同時にスペースキー、Shift+スペースキーによるページの移動、および矢印キーによる移動も可能になります。
- フルスクリーンモードの表示設定
  - バックグラウンド - フルスクリーンモードの際の背景色を設定します。

#### [一般] タブに関する設定

[一般] タブでは、ツールバー、スナップショット、印刷フォント、参照履歴、テキストリンク等について設定します。

- 標準ツール

- A. スナップショット画像に固定解像度を使用 -- スナップショットツールでイメージをキャプチャした際の解像度を設定します。初期値は72ピクセルに設定されています。
- B. URLからリンクを作成 -- PDFドキュメント内のテキストリンクを発見し、クリックできない状態をクリックできる状態に変換します。
- C. システムトレイを最小化 -- Foxit J-Readerのアイコンをシステムトレイに格納することにより、タスクバーのスペースを節約できます。このオプションを選択すると、Foxit J-Readerを最小化したとき、Foxit J-Readerのアイコンをシステムトレイに格納します。
- D. 画面の単語を取得 - このオプションを選択すると、マウスを使用してPDFドキュメント内の単語をキャプチャできるようになります。辞書ソフトを使用している場合は、そのまま翻訳することが出来ます。

- プリンタ

テキストを画像として出力（フォント置換は無効となります） - テキストフォントを画像として出力するため、印刷されたフォントはテキストフォントと完全に一致します。プリンタフォントが置き換えられ、自動的に高速な印刷になります。

- タブバー

- A. 閉じるボタンを常に表示 - 複数のドキュメントを開いたとき、各タブに常にクローズボタンを表示します。このオプションにチェックしていない場合、クローズボタンはカレントのタブにだけ表示されます。
- B. 最大タブサイズ - タブサイズの最大値を設定します。

### [履歴] タブに関する設定

- 履歴

- A. ドキュメントを再び開くときに前回のビュー設定を復元: ドキュメントを開く際に、自動的に最後に開いていたページをオープンするかどうか設定します。
- B. 最近使用したドキュメントにリストする数: 最近使用したPDF文書のリストに表示する文書名の最大数を設定します。初期値は50です。
- C. 最近開いたドキュメントに表示する最大ドキュメント数: 最近開いたPDF文書のリストに表示する文書の最大数を設定します。初期値は4です。

ノート: Foxit J-Reader 4.2 では、[最近開いたドキュメントに表示する最大数] や、[最近使用したドキュメントにリストする数] を 0 に設定する事ができます。

- ナビゲーションパネル

ドキュメントを再び開くときに前回のパネル設定を復元- 最後に使用したパネルを

自動的にオープンするかどうかを設定します。

#### [インターネット] タブに関する設定

- ダウンロードダイアログの表示

Webブラウザ内に直接PDFドキュメントを開きたくない場合は、[ファイルダウンロードダイアログを表示する] オプションを選択してください。このオプションを選択していると、PDFファイルへのリンクをクリックしたとき、ファイルを開くか、それともダウンロードするか、確認するダイアログが開きます。

- PDFをブラウザに表示

PDFドキュメントをWebブラウザ内に開くかどうかを選択します。

#### [インターネット検索] タブに関する設定

- インターネットポップアップバーを隠してドラッグによる検索を有効にする

このオプションを選択すると、選択したテキストの右上にインターネット検索ポップアップバーが表示されなくなりますが、テキストを検索ボックス上にドラッグして検索することが出来ます。オプションを選択していない場合は、インターネット検索ポップアップバーが表示され、選択したテキストをその場で検索出来ます。

- ドラッグによる検索を無効にしてポップアップバーによる検索を行う

このオプションを選択すると、選択したテキストを検索ボックス上にドラッグしてインターネットで検索することができなくなります。

#### [Javaスクリプト] タブに関する設定

Javaスクリプトを有効にする：PDFファイルの中の、JavaScriptを使用するあらゆるアクションを有効にします。

#### [ページ表示] タブに関する設定

[環境設定] ダイアログの [ページ表示] タブには以下のような機能があります：

- ページ表示

A. デフォルトページレイアウト：PDFドキュメントを参照する時、以下のページレイアウトを使用する事ができます：

a) 単一ページ - 一度に1ページを表示します。他のページの一部が表示されることはありません。

b) 連続ページ - 1ページ分の幅で、ページを縦に連続して表示します。

- c) 見開きページ - 2ページずつ横に並べて表示します。それ以外のページの一部は表示されません。
- d) 継続 (連続見開きページ) - 横に2ページ並べた状態で、縦に連続表示します。

**参照**

["ページ表示の変更"](#)

- B. 透明グリッドを表示: 透明のグリッドを表示します。
- C. カスタム面付け: 見開き表示の際に表示するページのデフォルト値は2ページですが、このオプションにチェックして任意のページ数を設定することができます。
- D. カスタム余白: 見開きページ、あるいは連続見開きページの場合の余白を設定します。余白のデフォルト値は8ピクセルです。
- E. 液晶モニタ用にテキストの表示を最適化: 使用しているモニタに合わせて文字の表示を最適化します。

- **倍率**

デフォルトズーム: PDFドキュメントを最初に開いた際の表示倍率を設定します。ドキュメントの設定が、デフォルト値としてここに表示され、この値を変更するとドキュメントの設定も変更されます。

**参照**

["ドキュメントの表示倍率を変える"](#)

**[読み上げ] タブに関する設定**

- ページ、あるいはドキュメント: この設定はスクリーンリーダーに対して、一度にどのくらいのドキュメントを送るのかを決定します。PDFにタグが設定されていない時、Foxit J-Readerはドキュメントを解析し、構成を読み込もうとしますが、大きいサイズのドキュメントの場合、大変時間がかかります。一回のドキュメントの解析を小規模で済ませるため、Foxit J-Readerを現在表示されているページだけ読むように設定する必要があるかもしれません。この設定はドキュメントのサイズと複雑さ、スクリーンリーダーの機能に大きく依存するためのものです。

- A. 表示されているページだけを読む - このオプションは画面を拡大して閲覧する場合に適しています。ドキュメントの表示していない部分にはリソースを割かないため、パフォーマンスが向上します。Foxit J-Readerは現在表示しているPDFのページだけをメモリバッファに送るので、支援機能も現在表示しているページに対してのみ行います。次のページが表示され、Foxit J-Readerがそのページ情報をメモリバッファに送るまでは、他のページに対して支援機能を利用することはできません。そのため、このオプションを選択すると、Foxit J-Readerのナビゲーション機能を使用する必要がある場合でも、ドキュメント内のページからページへのナビゲーション支援が利用できません。また、現在表示されているページだけを読み上げる場合、環境設定でデフォルトページレイアウトを、

単一ページに設定する必要があります。デフォルトページレイアウトを単一ページに設定する手順については "[\[ページ表示\] タブに関する設定](#)" を参照ください。

- B. ドキュメント全体を読む - このオプションは独自のナビゲーションや検索機能がある場合、またはユーザーがFoxit J-Readerのツールより使いやすいと思われるスクリーンリーダーを使用する場合などに適しています。
- C. 大規模なドキュメントの場合には、現在表示されているページだけを読む - 初期設定ではこのオプションが選択されており、長文や複雑な構成のPDFドキュメントにスクリーンリーダーを使用する場合に適しています。全体のサイズが小さなドキュメントはすべてメモリバッファに送ることを許可し、サイズの大きなドキュメントに対してはページごとに送る設定に戻します。

- 大きなドキュメントの最低ページ数 - [大規模なドキュメントの場合には、現在表示されているページだけを読む] オプションを選択した場合、この値を設定することができます。

#### [タイプライタ] タブに関する設定

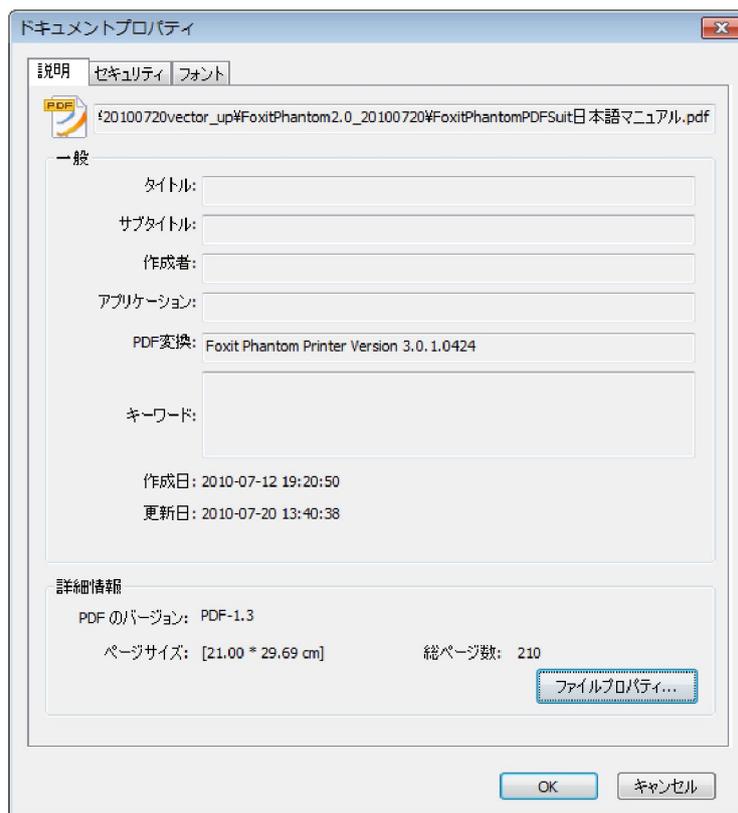
タイプライターツールの、テキストボックスと引き出し線に関するカスタマイズが可能です。

- テキストボックス - テキストボックスの幅と高さを設定します。初期値は幅=100、高さ=20です。
- 引き出し線 - 引出線の幅、高さ、そして長さを設定します。初期値は、幅=100、高さ=100、長さ=60、20です。

## PDFのプロパティ

[ドキュメントプロパティ] ダイアログは、ドキュメントの格納場所、タイトル、サブタイトル、作成者、使用されているフォント等々、ドキュメントに関する情報を提供します。また、このダイアログは他のプログラムによる属性セットも表示します。

PDFドキュメントのプロパティを参照するには、メニューより、ファイル > プロパティ... と操作します。PDFドキュメントに関連する情報を、以下のように取得することができます：

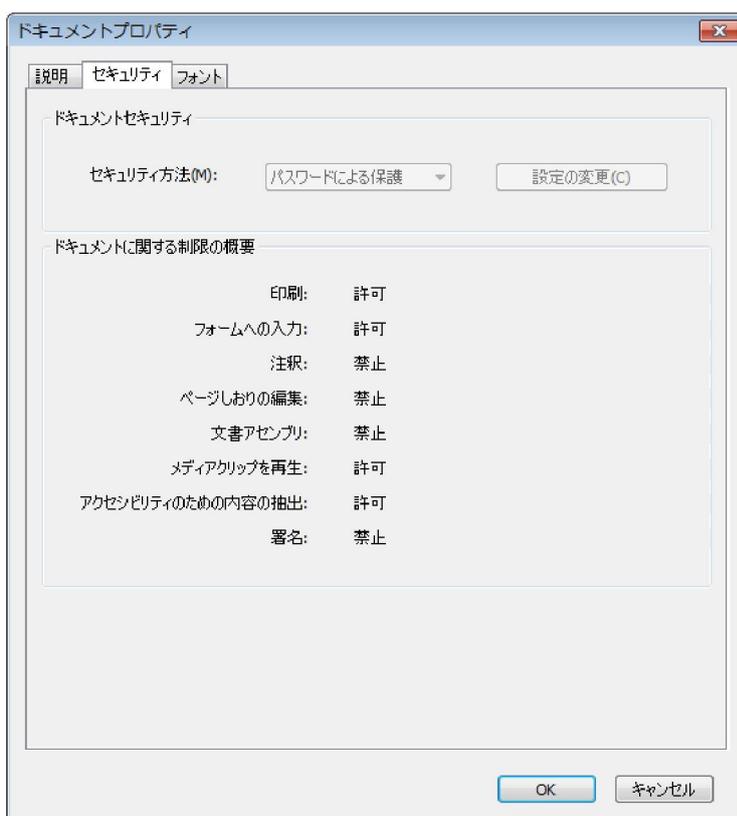


[ドキュメントプロパティ] ダイアログの [説明] タブ

## 説明

[説明] タブには、PDF ドキュメントに関する基本的な情報がいくつか表示されます。タイトル、作者、主題、およびキーワードは、PDF ドキュメントを生成する前の文書の作者による情報です。Foxit J-Reader を使用すると、これらの情報を簡単に編集できます。また、これらの情報にインデックスを作成して、検索する事もできます。

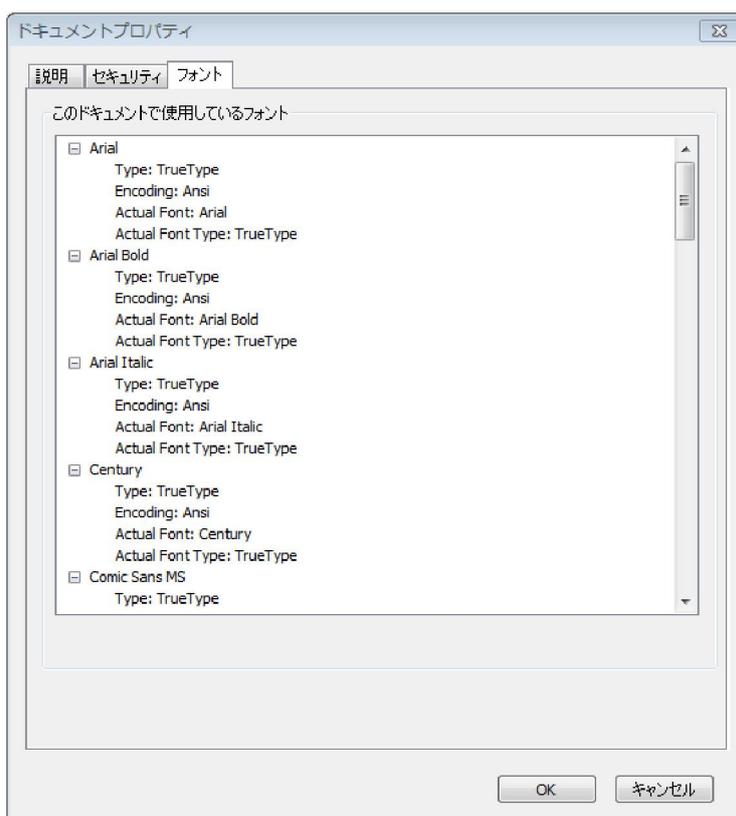
- タイトル -- ドキュメントの表題。
- サブタイトル -- ドキュメントの主要な考え方やポイント、主題。
- 作成者 -- ドキュメントの作成者名。
- アプリケーション -- オリジナルのドキュメントを作成したアプリケーション名。
- PDF 変換 -- オリジナルのドキュメントを PDF ドキュメントに変換したアプリケーション名あるいはドライバー名。
- キーワード -- 作者の判断による、内部の内容を明らかにする単語。
- 作成日 -- オリジナルのドキュメントが作成された日付と時刻。
- 更新日 -- ドキュメントが最後に修正された日付と時刻。
- 詳細情報 -- 詳細情報エリアには、PDF のバージョン、ページサイズ、およびページ数が表示されます。



[ドキュメントプロパティ] ダイアログの [セキュリティ] タブ

## セキュリティ

[セキュリティ] タブではセキュリティに関する許可の状況、すなわちカレントの PDF ファイルでどんな操作が許されているのか表示されます。PDF がパスワードで保護されている場合は、パスワードの入力が必要です。



[ドキュメントプロパティ] ダイアログの [フォント] タブ

## フォント

[フォント]タブにはオリジナルのドキュメントで使用されているフォントとフォントタイプが表示されます。またフォントを表示するためのエンコーディングも表示されます。

## アンインストール

### アンインストールの方法

以下のいずれかの操作を行います:

- Windows のスタートメニューより、スタート > 全てのプログラム > Foxit J-Reader > Uninstall Foxit J-Reader、と操作します。
- Windows のスタートメニューより、スタート > コントロールパネル > プログラムの追加と削除、の順に操作し、Foxit J-Reader を選択してアンインストールします。
- Foxit J-Reader のインストール先のディレクトリ (通常は Drive name:¥...¥Foxit Software¥Foxit Reader¥) にある Uninstall.exe をダブルクリックします。

## 第三章 – PDF の閲覧

Foxit J-Reader をインストールすると、簡単に PDF ドキュメントを開いて閲覧することが出来ます。PDF ドキュメントを開いた後、ドキュメントの表示状態の調整、ドキュメント内のテキスト検索、**email** に添付して送付等々の操作が出来ます。

### ドキュメントを開く

Foxit J-Reader は、デスクトップから単独で起動して PDF ドキュメントを閲覧することも出来ますし、web ブラウザの中で動作することも出来ます。

#### Foxit J-ReaderでPDFドキュメントを開く

以下のいずれかの操作を行います:

- メニューより、ファイル > 開く、と操作するか、またはツールバーの [開く] ボタン  をクリックします。次に、[ファイルを開く] ダイアログで、PDFドキュメントのファイル名を選び、[開く] ボタンをクリックします。PDFドキュメントは通常、.pdf という拡張子を持ったファイルになっています。
- PDFファイルをドラッグして、Foxit J-Readerのウィンドウの中でドロップします。

**ノート:** Foxit J-Reader は、一度に複数の PDF ドキュメントを開くことが出来ます。一度に複数のファイルを開いた場合、各ファイルに対応するタブをクリックすると、閲覧する PDF ドキュメントを切り替えることが出来ます。

#### PDFドキュメントをデスクトップまたは別のアプリケーションから開く

Foxit J-Reader を PDF ドキュメントのデフォルトビューアーに設定している場合、以下のアプリケーションで PDF ドキュメント開くことが出来ます:

- メールソフト: ほとんどのメールソフトで、メールに添付されているPDFドキュメントをダブルクリックして開けます。
- webアプリケーション: webブラウザの中でPDFファイルへのリンクをクリックすることにより、PDFドキュメントを開くことが出来ます。
- ファイルシステム: ファイルシステムの中でPDFファイルのアイコンをダブルクリックすると開くことが出来ます。

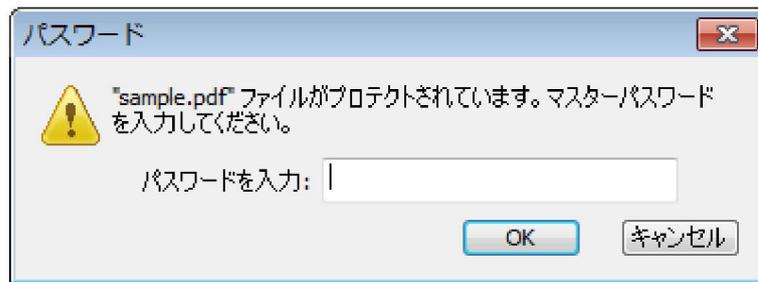
**ノート:** Foxit J-Readerのウィンドウの右下に、開いているドキュメントのページのサイ

ズが表示されます。例えば、 **Size: [8.27 \* 11.69 in]** のようなイメージです。

## セキュリティで保護された PDF ドキュメントを開く

セキュリティ機能で保護された PDF を受け取った時、そのドキュメントを開くためにパスワードが必要になる場合があります。また、パスワード以外に、印刷、編集、コピー等が行えないような制限を加えたものもあります。

- パスワードで保護されたPDFドキュメントを開く場合、パスワードを入力するよう要求されます。



- 保護されたPDFに対してコピーや編集を試みた時、禁止された操作であり、持ち主の許可なく行えないことを知らされます。

## Foxit J-Reader で最近開いたドキュメントの参照

メニューの [ファイル] を開くと、最近開いたドキュメントのリストを簡単に参照することが出来ます。Foxit J-Reader は、最近開いた PDF ドキュメントのリストを表示します。最近開いたドキュメントを参照する場合は、メニューより、ファイル > 最近開いたドキュメントリスト内のファイル名、と操作します。

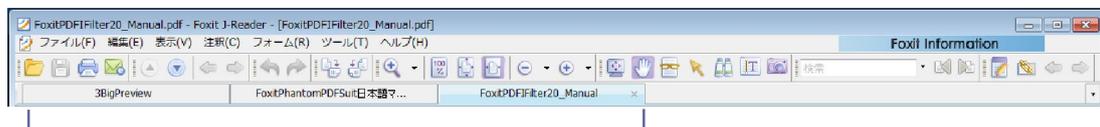
ノート: 最近開いたドキュメントリストの数を変更するには、["\[履歴\] タブに関する設定"](#) を参照してください。

## ドキュメントの閲覧

Foxit J-Reader は、PDF ドキュメントを参照する方法として、三つの異なる方法を提供しています: マルチタブモード、シングルドキュメントモード、そしてマルチドキュメントモードです。

### マルチタブモード

マルチタブモードでは、ひとつの Foxit J-Reader の中で複数の PDF ドキュメントを開くことができます。マルチタブモードでなくても、すでに PDF ドキュメントを開いており、別の PDF ファイルをダブルクリックした時、そのファイルは同じウィンドウの中を開きます。このため特にマルチタブモードは必要ないと感じるかもしれませんが、マルチタブモードにすると、速く簡単に複数の PDF ドキュメントを参照できます。



タブバー

- マルチタブモードにするには、メニューより、ツール > 環境設定... > [ドキュメント] パネル > [ドキュメントレイアウト] の [タブ表示] を選択、と操作します。
- マルチタブモードを中止するには、以下の操作を行います。メニューより、ツール > 環境設定... > [ドキュメント] パネルを選択 > [ドキュメントレイアウト] の [タブ表示] の選択を解除、と操作します。

## 新しいタブを開く

新しいタブを開くには、PDF ファイルをダブルクリックするか、メニューより、ファイル > 開く... と操作するか、Foxit J-Reader のツールバーで [開く] ボタン  をクリックします。

## タブを閉じる

カレントのタブを閉じるには、以下のいずれかの操作を行ってください：

- タブをダブルクリックします。
- タブの上で右クリックし、[タブを閉じる] を選択します。
- メニューより、ファイル > 閉じる、と操作します。

全てのタブを同時に閉じるには、Foxit J-Reader のウィンドウの右上にある [閉じる] ボタン  をクリックするか、またはタブバーの上で右クリックし、[全てを閉じる] を選択するか、もしくは、メニューより、ファイル > 終了、と操作します。

## シングルドキュメントモード

シングルドキュメントモードの際には、Foxit J-Reader が複数起動されます。ユーザーが新しい PDF ドキュメントを開くために、PDF ファイルをダブルクリックする都度、Foxit J-Reader は新しいウィンドウを開きます。この方法は、異なるドキュメントを横

に並べて参照する際に便利です。

- シングルドキュメントモードにするには、メニューより、ツール > 環境設定... > [ドキュメント] パネルを選択 > [ドキュメントレイアウト] の [複数のインスタンスを認める] オプションを選択、と操作します。
- シングルドキュメントモードを無効にするには、メニューより、ツール > 環境設定... > [ドキュメント] パネルを選択 > [ドキュメントレイアウト] の [複数のインスタンスを認める] オプションの選択を解除、と操作します。

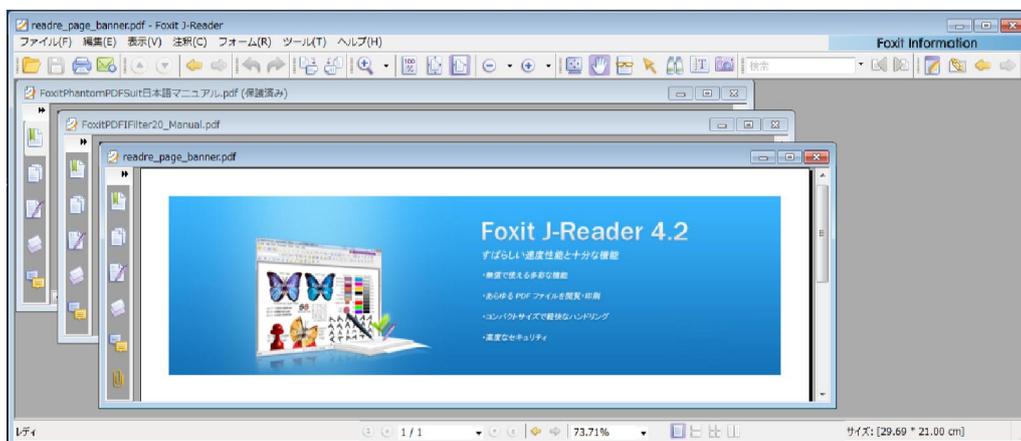
## マルチドキュメントモード

マルチドキュメントモードは、複数の PDF ドキュメントを一つの親ウィンドウの中に、それぞれ独立したウィンドウとして開きます。

- マルチドキュメントモードを有効にするには、メニューより、ツール > 環境設定... > [ドキュメント] パネルを選択 > [ドキュメントレイアウト] の [タブ表示] オプションと [複数のインスタンスを認める] オプションの両方の選択を解除、と操作します。
- マルチドキュメントモードを無効にするには、メニューより、ツール > 環境設定... > [ドキュメント] パネルを選択 > [ドキュメントレイアウト] の [タブ表示] オプションと [複数のインスタンスを認める] オプションのいずれかを選択、と操作します。

## 子ウィンドウのアレンジ

複数の PDF ドキュメントを開いた時、スクリーン上で子ウィンドウの配置を調整することが出来ます。操作は、[表示] メニューの中の [重ねて表示] または [並べて表示] を選択することにより行います。



## ウィンドウを閉じる

- 表示している PDF ドキュメントを閉じるには、メニューより、ファイル > 閉じる、と操作します。
- 全ての PDF ドキュメントをまとめて閉じるには、メニューより、ファイル > 全てを閉じる、と操作します。

## ドキュメント内のナビゲーション

Foxit J-Readerは、PDFドキュメント内をナビゲーションするために、ユーザーの馴染みやすいコントロールを提供しています。ユーザーは、ページ送りやナビゲーションツールを使用してPDFドキュメント内をナビゲーションすることが出来ます。

### ドキュメントのスクロール

#### 1. ドキュメント内をナビゲーションする

以下のいずれかの操作を行ってください：

- **マウス操作またはキーボードによる操作**  
マウスホイールをスクロールするか、上下の矢印キーを押してドキュメント内をナビゲートします。
- **自動スクロール**  
自動スクロールは、ユーザーがマウス操作やキーボードの操作を行わずドキュメントを閲覧できるようにする機能です。スクロールのスピードも簡単に変更することが出来ます。
  - A.** メニューより、表示 > 自動スクロール、と操作します。
  - B.** 以下のいずれかの操作を行います：
    - 自動スクロールのスピードを変えるには、上下の矢印キーを使用します。上方向にスクロールしている場合、遅くするには上向きの矢印キー、速くするには下向きの矢印キーを押下します。下方向にスクロールしている場合は、それぞれ逆の操作を行います。
    - 自動スクロールの方向を変えるには、マイナスキー(-)を押下します。
    - 次のページ、あるいは前のページにジャンプするには、**Space**（スペースキー）または**Shift+Space**（スペースキー）を押下します。

自動スクロールを終了するには、もう一度メニューより、表示 > 自動スクロール、と操作します。

**ヒント 1:** 自動スクロールを行うには、手のひらツールをクリックし、マウスのセンターボタン、もしくはホイールマウスボタンを押下して、マウスをスクロールする方向に移動します。

**ヒント 2:** スペースキーを押下している間、手のひらツールのモードに戻ります。

## 2. 前後のページに移動する

以下のいずれかの操作を行います:

- メニューより、表示 > 移動 > 前のページ、または次のページ、と操作します。
- ツールバー、あるいはステータスバーの [前のページ] アイコン、または [次のページ] アイコンをクリックします。
- カーソルをドキュメントペインに置き、キーボードのPage Upキー、あるいはPage Downキーを押下します。
- カーソルをドキュメントペインに置き、左右の矢印キーを押下します。
- スペースキーを押下すると次のページに移動し、Shift+スペースキーの押下で前のページに移動します。

## 3. 先頭のページまたは最後のページに移動する

以下のいずれかの操作を行います:

- メニューより、表示 > 移動 > 最初のページ、あるいは最後のページ、と操作します。
- ツールバー、あるいはステータスバーにある [最初のページ] アイコンまたは [最後のページ] アイコンをクリックします。
- HomeキーあるいはEndキーを押下します。

## 4. 特定のページに移動する

以下のいずれかの操作を行います:

- メニューより、表示 > 移動 > ページ... > 移動先のページ番号入力 > [OK] ボタンをクリック、と操作します。
- ステータスバーにある、[カレントページ番号ボックス]   に移動先のページ番号を入力するか、または移動先のページ番号を選択してEnterキーを押下します。

ノート: 開いているドキュメントに論理的なページ番号がふられている場合、Foxit J-Readerは、[カレントページ番号ボックス] にそのページを表示します。

## 5. 閲覧したページをトレースする

直前に参照したページに移動するには、ツールバーまたはステータスバーにある [前の画面に戻る] ボタン、直後に参照したページに移動するには [次の画面に移動する] ボタン をクリックします。

### しおりによるナビゲーション

ブックマークパネルには、ドキュメント内にあるしおりのリストを表示します。通常は、ドキュメント内の章を代表するコンテンツ、見出し、その他の構成要素などの一覧になります。

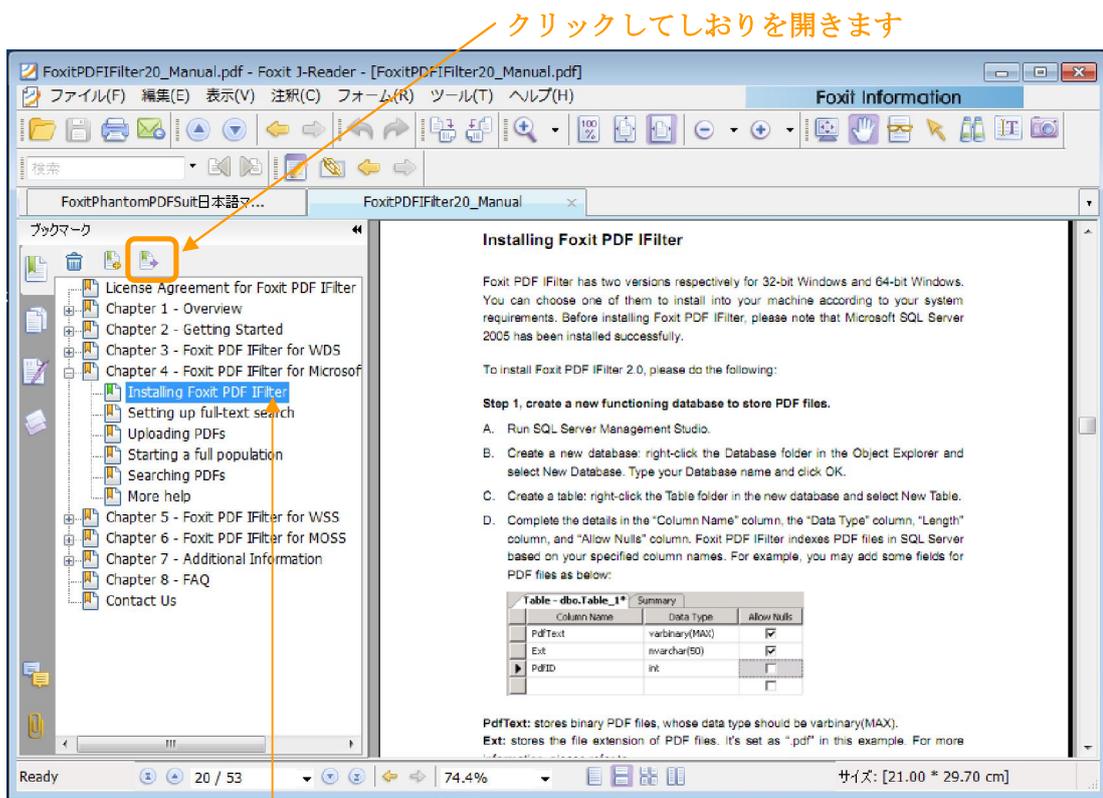
- しおりの表示/非表示は、以下のいずれかの操作で設定します：
  - メニューより、表示 > ナビゲーションパネル > しおり、と操作します。
  - ナビゲーションペインにある [しおり] ボタン をクリックします。
  - ナビゲーションペインの右上にあるボタン をクリックすると、しおりを最大化、または最小化できます。
- 各トピックにジャンプするには、しおりをクリックするか、またはしおりを右クリックしポップアップメニューの [しおりに移動] を選択します。プラスマーク (+) とマイナスマーク (-) をクリックすると、当該しおりの下にあるしおり一覧を開閉することができます。

ヒント: PDFドキュメント全体をナビゲーションする時、ハイライト表示されているしおりが、表示されているページと同期しています。

### 3. カレントのしおりを展開する

PDFドキュメントの開いているページのしおりを選択するには、ブックマークペインの上部にある [しおりの拡張] ボタン をクリックします。

親のしおりが閉じて対象のしおりが隠れている場合は、親のしおりが展開され、カレントページに最も近いしおりがハイライト表示されますので、ユーザはカレントページに対応するしおりを確認することができます。



カレントページに対応するしおりがハイライト表示されます

## サムネイルによるナビゲーション

ページのサムネイルは、PDFページの縮小版です。サムネイルはドキュメント各ページの縮小されたプレビューを提供し、閲覧とページの識別を容易にします。サムネイル内の赤い四角形は、ページ内でドキュメントペインに表示されている部分を表しています。

- サムネイルの表示と非表示を切り替える場合、以下のいずれかの操作を行ってください：
  - メニューより、表示 > ナビゲーションパネル > サムネイル、と操作します。
  - ナビゲーションペインにある [サムネイル] ボタン  をクリックします。
  - ナビゲーションペインの右上にあるボタン  をクリックすると、サムネイルを最大化、または最小化できます。
- サムネイルを使用してナビゲーションする場合は、以下のいずれかの操作を行います：
  - サムネイルをクリックすると、そのページにジャンプします。
  - サムネイル内の赤い四角形をドラッグすると、そのページ内で表示している場所を変えることができます。
  - カレントページの表示エリアを拡張するには、赤い四角形の右下をドラッグします。
  - サムネイル上で右クリックし、ポップアップメニューの [サムネイル画像を拡大]、

または [サムネイル画像を縮小] をクリックすると、サムネイルのサイズを変更することができます。

3. サムネイルのアクションを追加するには、“しおりにアクションを追加”を参照。
4. **Ctrl**+クリック、または **Shift**+クリックで、複数のページサムネイルを選択することができます。

### リンクによるナビゲーション

リンクは、閲覧中のドキュメントの別の場所や、別のドキュメント、そして **web** サイトへの移動ができる機能です。PDF ドキュメント内でリンクをクリックするのも、別のアプリケーションの中でリンクをクリックするのと同じです。以下の方法でリンク先に移動することが出来ます：

- ツールバーで、[手のひらツール]  を選択します。
- マウスポインタをリンクの上に移動すると、ポインタの形がポインティングフィンガー  に変わりますので、その後リンクをクリックします。

### 閲覧するドキュメントの調整

Foxit J-Reader は PDF ドキュメントの表示状態を調整するツールを、いくつか提供しています。例えば、ズームイン、ズームアウトのようなシンプルなものから、ページレイアウトの設定やページの向きを変更するような、もう少し高度なツールまであります。そのほかのセッティングに関しては [“環境設定”](#) を参照してください。

#### ドキュメントの向きを変える

回転ツールを使用することにより、ドキュメントの向きを簡単に縦向き/横向きに変更することが出来ます。

- メニューより、表示 > 表示を回転 > 右 90° 回転、または左 90° 回転、と操作します。
- ツールバーにある [右 90° 回転] ボタン 、または [左 90° 回転] ボタン  をクリックします。

ノート：画面表示は90° 単位に変更することが出来ますが、画面表示上の変更であり実

際のドキュメントの向きは変更されません。また、変更結果を保存することもできません。

## ドキュメントの表示倍率を変える

以下のいずれかの操作を行います：

1. ツールバーの [ズームイン] ボタン 、 [ズームアウト] ボタン  をクリックするか、メニューより、ツール > ズームツール > ズームインツール、またはズームアウトツール、と操作します。

**ノート：** 上記の操作を行い、ページの上でマウスをクリックすると、クリックした場所をウィンドウの中心にしながらズームイン/ズームアウトを行います。ページの中でマウスをドラッグして四角形を作成すると、その四角形をウィンドウの中心に置きながら、ズームイン/ズームアウトします。Ctrlキーを押しながらマウスホイールを回転させると、回転の方向により、ズームイン/ズームアウトします。

2. ツールバーの [ズームアウト] ボタン  または [ズームイン] ボタン  をクリックするか、ボタンの右端をクリックした際に表示される表示倍率を選択します。また、メニューより、表示 > ズーム > ズームイン、もしくはズームインアウト、と操作することもできます。

3. ステータスバーにある表示倍率エリア  の中に表示倍率を入力するか、プルダウンリストの中から倍率を選択します。
4. メニューより、表示 > ズーム > 倍率指定…、と操作し、 [表示倍率] ダイアログに任意の表示倍率を入力するか、もしくはプルダウンリストから倍率を選択して [OK] ボタンをクリックします。
5. ドキュメントペインで右クリックし、ポップアップメニューより、ズームイン、またはズームアウトを選択します。
6. ルーペツールを使用する
  - ツールバーで [ルーペツール]  を選択するか、メニューより、ツール > ズーム > ルーペツール、と操作します。
  - ドキュメント内の参照したい部分にルーペツールを移動すると、拡大/縮小したオブジェクトが、 [ルーペツール] ダイアログ内に表示されます。
  - (オプション) [ルーペツール] ダイアログ内の [ロック] オプションにチェックし、ドキュメント内の参照する部分や周辺をクリックすると、赤い色の四角形がドキュメント内に表示され、ルーペツールに表示されているエリアを示します。この四角形をドラッグするか、リサイズすることにより、ルーペツールの表示範囲や表

示倍率を変更できます。

- ルーペツール内の表示倍率を表示しているコンボボックスに、表示倍率を直接入力するか、ドロップダウンリストから倍率を選択することにより、ルーペツール内の表示倍率を変更することができます。また、[ルーペツール] ダイアログ内のスライダーを移動して表示倍率を変更することもできます。

## 7. 拡大鏡を使用する

Foxit J-Readerを使用すると、PDFドキュメントの任意のエリアを、簡単に拡大して表示することが出来ます。この機能は、視力に障害のある方には特に有効です。



拡大鏡

魚眼レンズ

- ツールバーで [拡大鏡]  をクリックするか、メニューより、ツール > ズームツール > 拡大鏡、と操作します。
- 参照したい位置に拡大鏡を移動します。
- 拡大鏡と魚眼レンズを切り替えるには、マウスの左ボタンをクリックします。
- 拡大鏡のサイズを変更するには、マウスの右ボタンをクリックします。
- 拡大鏡を終了するには、他のツールを選択します。

## ウィンドウのサイズにフィットするようにページをリサイズする

ページのリサイズを行う方法には以下の三つがあります：

- ドキュメントペインに完全にフィットするようにページをリサイズするには、メニューより、表示 > ズーム > 全体表示、と操作するか、ツールバーの [全体表示] ボタン  をクリックするか、またはドキュメントペインで右クリックし、ポップアップメニューの [全体表示] を選択します。
- ウィンドウの幅に合わせるようリサイズするには、メニューより、表示 > ズーム > 幅に合わせる、と操作するか、ツールバーの [幅に合わせる] ボタン  をクリックするか、もしくはドキュメントペインで右クリックし、ポップアップメニューの [幅

に合わせる]を選択します。この操作を行うと、ページの一部が画面内に入りきらない場合もあります。

- ドキュメントの実際のサイズに合わせるには、メニューより、表示 > ズーム > 100%表示、と操作するか、ツールバーの [100%表示] ボタン  をクリックするか、もしくはドキュメントペインで右クリックし、ポップアップメニューの [100%表示] を選択します。

## ページ表示の変更

ページ表示の変更は、ドキュメントのレイアウトを見るためにズームアウトした時等に特に有効です。Foxit J-Readerは以下のようなページレイアウトを提供しています：

- 単一ページ - ドキュメントペインの中に、一度に1ページだけを表示します。
- 連続ページ - ドキュメントペインの中で、縦方向に連続してページを表示します。
- 見開きページ - ドキュメントペインの中に横に並べて2ページを表示します。
- 連続見開きページ - 2ページを横に並べ、縦に連続して表示します。
- 見開きページモードで表紙をレイアウト

このモードでは、ドキュメントが2ページ以上ある時、[見開きページ] または [連続見開きページ] を選択すると、先頭のページだけはドキュメントペインの右側に単独で表示されます。

先頭のページだけを右側に単独で表示するには、メニューより、表示 > ページ表示 > 見開きページモードで表紙をレイアウト、と操作します。

ページ表示の設定は以下の操作で行ってください：

- メニューより、表示 > ページ表示 > 任意のモード選択。
- ステータスバーの [単一ページ] ボタン 、[連続ページ] ボタン 、[見開きページ] ボタン 、または [連続見開きページ] ボタン  をクリックします。

## フルスクリーンモードでドキュメントを参照する

フルスクリーンモードにすると、Foxit J-Readerのドキュメントペインがメニュー、ツールバー、ステータスバー、およびナビゲーションペインと一緒に、画面全体に表示されます。マウスポインタはリンクのクリックが出来るよう、操作可能な状態を保ちます。

- フルスクリーンモードに関する設定は [“\[フルスクリーン\] タブに関する設定”](#) を参照してください。

2. フルスクリーンモードにするには、以下のいずれかの操作を行ってください：
  - メニューより、表示 > フルスクリーンモード、と操作します。
  - ツールバーの [フルスクリーン] ボタン  をクリックします。
  - ショートカットキーの **F11** を押下します。
  - ドキュメントペインで右クリックし、ポップアップメニューの [フルスクリーンモード] を選択します。
3. フルスクリーンモードでの表示状態を調整するには、ドキュメントを右クリックし、表示されるポップアップメニューを使用します。

**ノート:** この機能は、[環境設定] ダイアログで、[左クリックで次のページを表示 ; 右クリックで前のページを表示] オプションを選択していない場合に有効です。

4. フルスクリーンモードを終了する場合、以下のいずれかの操作を行います：
  - **Esc** キーを押下します。
  - フルスクリーンモードのスクリーン上にある [フルスクリーンの終了] ボタン  をクリックします。 [フルスクリーンの終了] ボタンは、[環境設定] ダイアログで [終了ボタンを表示] オプションを選択している場合に有効です。

#### ドキュメントを逆順に表示する

ドキュメントを逆順に表示するには、以下のいずれかの操作を行います：

- メニューより、表示 > 逆順に表示、と操作します。
- ドキュメントペインで右クリックし、ポップアップメニューの [逆順に表示] を選択します。

## 動画やサウンドの再生

PDF は、多様なマルチメディアをサポートし、再生を可能とする様、拡張されてきました。サウンド、音楽、ビデオクリップなど、多種類のマルチメディアを含む PDF ファイルもあります。各ムービーやサウンドファイルはプレイエリアを持っており、そこからメディアが実行されます。

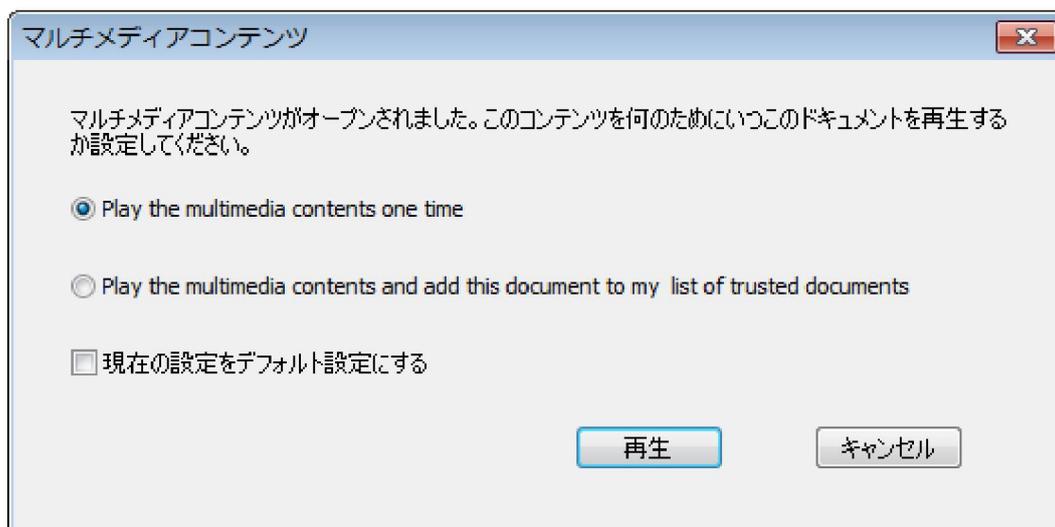
プレイエリアは、イメージまたは空白の四角形として PDF 上に現れており、それ自身は見ることが出来ません。また、メディアファイルを再生するには、コンピュータにメディアプレイヤーがインストールされている必要がありますのでご注意ください。

ムービーやサウンドを再生するには、以下の操作を行ってください：

- [手のひらツール]  を選択し、ムービーあるいはサウンドファイルのプレイエリアをクリックします。マウスポインタがプレイエリアの上に来ると、プレイモードのアイコンが変わります。

**ノート:** コンピュータをウイルスから保護するため、Foxit J-Reader はマルチメディアファイルの再生の前に、ダイアログを開き、実行の可否を確認します。デフォルトの動作を変更するには、開いたダイアログで別のオプションを選択する必要があります。

- [マルチメディアコンテンツ]ダイアログの中で、以下の様なオプションの中から、一つを選択します。



**Play the multimedia contents one time** - マルチメディアを再生します。また、マルチメディアを再生するつど、このダイアログが開きます。

**Play the multimedia contents add this document to my list of trusted documents** - マルチメディアを再生します。また、この PDF ファイルに関しては、次回以降マルチメディアコンテンツを再生する際に、この確認を行いません。

**現在の設定をデフォルト設定にする** - 現在の設定を、当該 PDF ファイル内の全てのメディアコンテンツに適用し、デフォルト設定として保存します。

## レイヤーの操作

### PDF のレイヤーについて

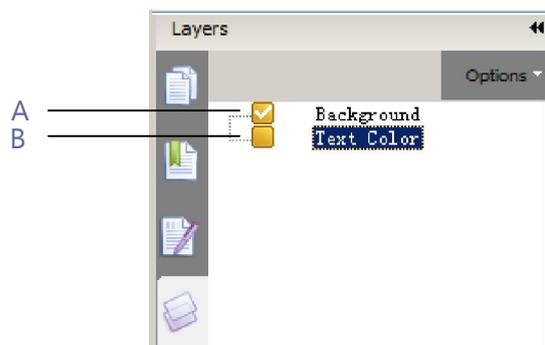
Optional Content Groups (OCG)と言った方が良く知られていますが、レイヤーはPDFビューアーのユーザーが、ダイナミックに表示と非表示を設定できる、グラフィックの集合を代表する名前です。PDFファイルでは、各レイヤーにはドキュメントのオブジェクトの構成部品が配置されており、レイヤーの表示/非表示とオブジェクトの表示/非表示を組み合わせた設定が可能です。

Foxit J-Readerでは、レイヤーパネルを使用してPDFレイヤーの表示をコントロールすることができます。例えば、背景のイメージを、メインのコンテンツエリア、トップレベルとの中間にある広告用のエリアに分割するということが可能です。そして、ほかの人に見せたくないレイヤーは、簡単に非表示にすることができます。

## PDFのレイヤーの表示と非表示

PDFファイルでは、インフォメーションは異なるレイヤーに配置することができます。ワークエリアの左端にあるレイヤーパネルを参照するだけで、異なるレイヤーに配置されている関連するコンテンツの表示、非表示を設定することができます。

ただし、Foxit J-Readerでは、レイヤーの作成や編集はできません；しかし、レイヤーを参照してそのレイヤーに配置されているコンテンツの表示と非表示を設定することができます。



レイヤーパネル

A. チェックマークは表示状態のレイヤー    B. 非表示のレイヤー

- レイヤーパネルを開き、以下のいずれかの操作を行います：
  - レイヤー名の左にあるチェックボックスのチェックをはずすと非表示になります。
  - チェックボックスにチェックマークを付けるとレイヤーが表示されます。
- レイヤーパネルの右上にあるオプションメニューから、以下のいずれかを選択します：
  - 全てのページのレイヤーを表示 — ドキュメントの全てのページに渡りレイヤーを表示します。
  - 可視レイヤーのみを表示 — 表示状態に設定されているページのレイヤーを表示します。
  - レイヤーの表示を初期状態にリセット — レイヤーの状態をデフォルトの設定に戻します。

- 全てを展開 - レイヤーの階層を全て表示します。
- 全てを閉じる - レイヤーの階層を全て折りたたんだ状態にします。

## テキスト検索

Foxit J-Reader はテキスト検索のための使いやすいツールを提供しています。PDF ファイル内は勿論、ファイルやディスクを対象として検索することも出来ます。また、検索時のオプション設定により、検索に条件を設けることも出来ます。

### テキスト検索

テキストを検索するには、以下の操作を行ってください：

- メニューより、ツール > 簡易検索、と操作します。
- 検索用のテキストボックスに、検索する文字を入力します。
- [検索] の隣のドロップダウンボタン  をクリックし、検索時のオプションを選択して検索に制限を設定します：
  - A. 完全に一致する語のみ -- 検索しているテキストと完全一致するものだけを対象とします。例えば、“Read” というテキストを検索した場合、“Reader” はヒットしません。
  - B. 大文字と小文字を区別 -- 大文字と小文字を区別します。例えば、“text” というテキストを検索した場合、“TEXT” や “Text” はヒットしません。
- 次を検索ボタン 、前を検索ボタン 、または **Enter** キーを押下します。Foxit Reader は最初にヒットしたテキストの位置までジャンプし、対象をハイライト表示します。
- エンターキーを繰り返し押下するか、またはメニューより、ツール > 次の結果、と操作するか、またはショートカットキーの **F3** を押下し、検索を続けます。

### 高度な検索

検索機能は、一つの PDF ファイルだけでなく、指定されたフォルダ内の複数の PDF ファイルを対象として検索することが出来ます。検索が終了するとヒットしたものが全てツリービューに表示されます。ユーザーはリスト全体をプレビューし、検索結果から特定の位置にジャンプすることが出来ます。

#### 1. テキストの検索

テキストを検索するには、以下の操作を行います：

- ツールバーの [検索] ボタン  をクリックするか、または [検索] ドロップダウンリストより、[フル検索ウィンドウを開く] を選択します。
- サーチボックスに検索したいテキストを入力し、以下のいずれかの操作を行います：
  - A. 表示中のドキュメント内を検索する場合、[現在のドキュメント] オプションを選択します。
  - B. 特定のフォルダ内の全ての PDF、またはディスク内全てを検索する場合は、[以下の場所にある全てのドキュメント] オプションを選択し、検索先のドライブを指定するか、[ユーザーが選択したパス] オプションを選択して、任意のパスを指定します。
  - C. 検索するテキストと完全に一致したものだけにヒットするよう、検索に制限をかけるには、[単語全体] オプションを選択します。この場合例えば、“Read” を検索する場合、“Reader” はヒットしません。
  - D. 大文字と小文字を区別して検索するには、[大文字と小文字を区別する] オプションを選択します。この場合例えば、“text” を検索すると、“TEXT” や “Text” はヒットしません。
- [検索] ボタンをクリックします。
- 検索結果は、ページの順番に表れます。それぞれのアイテムは、検索結果と前後関係のわかる数語から出来ており、アイコンは検索結果のタイプを表しています。プラスサイン(+)をクリックすると、検索結果のリストが展開されます。次に、検索結果を選んで PDF 内の実物を参照します。
- (オプション) 検索の実行後、新たに検索を行うには、[新規検索] ボタンをクリックしてください。

## 2. サーチボックスの移動とリサイズ

サーチボックスはフロート化することも出来ますし、ウィンドウ内で固定して使用することも出来ます。また、リサイズも簡単に行えます。

- 固定されているサーチボックスをフロートにするには、タイトルバーをダブルクリックするか、タイトルバーをドラッグして移動します。
- フロート化しているサーチボックスを移動するには、タイトルバーを任意の位置までドラッグします。
- サーチボックスをリサイズするには、サーチボックスの枠やコーナーをドラッグします。
- フロート化しているサーチボックスをウィンドウ内に固定するには、タイトルバーをダブルクリックするか、タイトルバーをドラッグして元の位置に戻します。

## インターネットでの検索

Foxit J-Reader はインターネットでのキーワード検索をサポートしています。テキストを選択してポップアップ検索ボックスのアイコンをクリックするか、選択したテキストをドラッグして検索ボックスでドロップすると、インターネット上の関連情報を検索することができます。

インターネットでの検索を実行するには、以下の何れかの操作を行ってください：

- 拡張検索ツールを使用する場合は、検索するテキストをテキストボックスに入力し、[インターネット] オプションを選択して、[検索] ボタンをクリックします。
- ポップアップ検索アイコンを使用する場合は、テキスト選択ツール  で検索するテキストを選択し、表示された検索アイコン  をクリックします。
- クイック検索機能を使用する場合は、テキスト選択ツール  で検索したいテキストを選択し、検索ボックスまでドラッグしてドロップします。

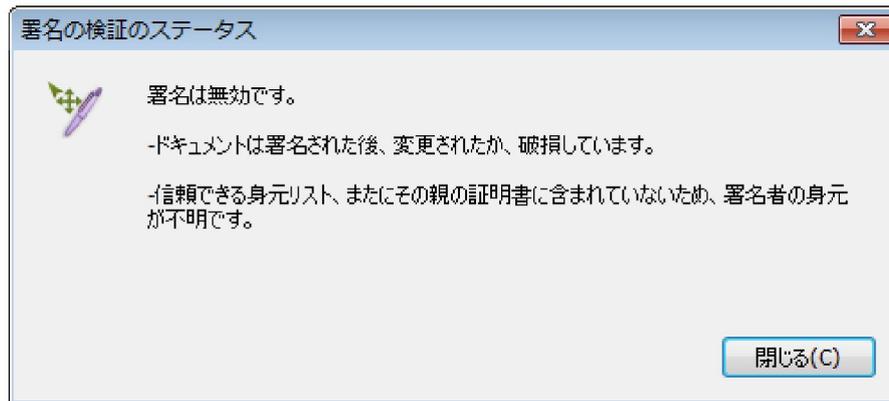
**ノート：** インターネット検索の設定を変更するには、テキスト選択ツール  を使用してテキストを選択した時、検索アイコンの隣に表示される [設定] アイコン  をクリックしてください。操作の詳細や設定の変更方法は“インターネット検索の設定”を参照してください。

## 電子署名の照合

Foxit J-Reader 4.2 では、新しい電子署名の検証機能を追加しました。電子署名の検証を行うことにより、PDF ドキュメントの情報をあらゆる改ざんや悪用から保護する事ができ、ドキュメントの信憑性と保全性を大幅に改良します。MDP 検証機能もまもなくリリース予定です。

PDF における電子署名の検証を行う場合は、以下の何れかの操作を行ってください：

- 1. メニューより、ツール > ドキュメント内の全ての署名を検証、と操作します。
- 2. ポップアップメッセージボックスを確認します。その内容が電子署名の有効性を表しています。



- 1. 署名を右クリックして [署名の検証] あるいは [署名のプロパティ] を選択します。
- 2. ポップアップメッセージボックス、あるいは [署名のプロパティ] ダイアログの検証結果サマリーを確認します。
- 1. 署名をダブルクリックします。
- 2. 署名のステータスを表すポップアップメッセージが開きますので、それを確認します。

## 日本語などアジアの言語を含む PDF の処理

日本語、中国語 (繁体字、簡体字)、韓国語など東アジアの言語を含む PDF ファイルも、Foxit J-Reader を使用すると直接開くことができます。Foxit J-Reader には東アジアの言語に対応したアドオンプログラムが予め組み込まれています。このため、東アジアの言語に対応したフォントをダウンロードしてインストールする必要もありません。

Foxit J-Reader は初期状態のまま、日本語、中国語 (繁体字、簡体字)、韓国語等を含む PDF ドキュメントの表示、検索、印刷が可能です。

ノート: 東アジアの言語対応のコンポーネントをアップデートする際は、メニューより、ヘルプ > アップデートの有無をチェック、と操作してアップデートの有無を確認してください。そして、アップデートされたファイルが確認された場合、ダウンロードしてインストールして下さい。

## PDF ドキュメントを e-mail で送信

ドキュメントを e-mail で送付する機能は、日々の仕事をスピードアップするためや、読んでいる PDF ファイルを顧客に送信する必要がある場合、興味深い内容の文書を友人と共有する場合などに、非常に有効な機能です。

PDF ファイルを e-mail で送る際には、以下の操作を行ってください：

- メニューより、ファイル > 電子メールに添付... と操作するか、またはツールバーの [Email] ボタン  をクリックします。
- システムデフォルトのメールソフトが起動されます。
- 開いている PDF ファイルが自動的に e-mail に添付されます。
- タイトルと送付先のアドレスを入力して送信します。

## PDF ドキュメントの保存

Foxit J-Reader は、PDF ドキュメントを保存する際に、さらに強力な機能を提供しています。PDF ドキュメントを保存するために、追加のライセンス等は必要ありません。また、ファイルのセキュリティ設定で許可されていれば、PDF ドキュメントに追加したコメントやフォームフィールドを保存することができます、また PDF ドキュメントをテキスト形式で保存することもできます。

### PDF のコピーを保存

- メニューより、ファイル > 名前を付けて保存、と操作します。
- [名前を付けて保存] ダイアログで、ファイル名と保存先のフォルダを入力し、[保存] ボタンをクリックします。

ノート： Foxit J-Reader では PDF 形式での保存のみ可能です。

### コメントやフォームの情報を保存

以下のいずれかの操作を行います：

- メニューより、ファイル > 上書き保存、と操作します。
- メニューより、ファイル > 名前を付けて保存... > ファイル名と保存先のフォルダ名を入力 > ファイルの種類で [PDF Files (\*.pdf)] を選択 > [保存の対象] コンボボックスより [ドキュメントと注釈] を選択 > [保存] ボタンをクリック、と操作します。

す。

### PDFをテキストファイルで保存

- メニューより、ファイル > 名前を付けて保存... と操作します。
- [名前を付けて保存] ダイアログの [ファイルの種類] より、[TXT Files (\*.txt)] を選択します。
- 保存する範囲を選択します：
  - A. 全ての文書を保存 - ドキュメント全体をテキストファイルで保存します。
  - B. 現在のページを保存 - 現在表示しているページだけをテキストファイルで保存します。
  - C. 保存するページ範囲を指定 - テキストファイルとして保存する範囲を指定できます。
- ファイル名と保存先のフォルダを指定し、[保存] ボタンをクリックします。

### PDFを別のファイル形式で保存

- メニューより、ファイル > 名前を付けて保存... と操作します。
- [名前を付けて保存] ダイアログの [ファイルの種類] より、[All Files (\*.\*)] を選択します。
- [名前を付けて保存] ダイアログの、[保存対象] ドロップダウンリストより、[ドキュメントと注釈] または [ドキュメント] を選択します。
- ファイル名と保存先のフォルダを入力し、[保存] ボタンをクリックします。

**ノート:** この機能は、PDF ドキュメントを PDF 以外のプラットフォームで作成したかのように、別のファイル形式に変更します。

## ドキュメントを閉じる

PDF ドキュメントを閉じるためには、以下のいずれかの操作を行います:

- メニューより、ファイル > 閉じる、と操作します。
- ショートカットキーの **Ctrl + W** を押下します。

## Foxit J-Reader の終了

Foxit J-Reader の終了は、以下のいずれかの操作で行います:

- メニューよりファイル > 終了、と操作します。
- Foxit J-Reader ウィンドウの終了ボタン をクリックします。
- ショートカットキーの **Ctrl + Q** を押下します。
- (オプション) システムトレイにある **Foxit J-Reader** のアイコンを右クリックし、ポップアップメニューの [終了] を選択します。



## 第四章 – PDF ドキュメントの操作

Foxit J-Reader を使用すると、テキストやイメージを他のアプリケーションにコピーすることができます。また、PDF ドキュメントの内容をテキストモードで参照することができます。この章ではこのような内容について説明しています。

### テキストのコピー

テキスト選択ツールは、PDF ドキュメント内のテキストを、水平方向にも垂直方向にも選択可能です。テキストをコピーするためには、ツールバーの [テキスト選択ツール]  をクリックするか、もしくはメニューより、ツール > テキストを選択、と操作した後、以下の操作を行います：

#### テキストの選択

- テキストを 1 行選択する：選択したい行に沿ってマウスカーソル  を移動します。
- カラム単位でテキストを選択：カーソルを行の間に置き、四角形を描くようにカーソルを移動します。
- 単語の選択：選択したい単語の上でダブルクリックします。
- ページを越えて複数の段落を選択：選択を開始する場所でマウスをクリックし、マウスボタンを押したまま選択を終了する場所までスクロールします。
- 全てのテキストを選択：Ctrl + A を押下するか、または任意のテキストを選択し右クリックしてポップアップメニューの [すべてを選択] を選択します。
- テキストの選択解除：選択したテキストの上で右クリックし、ポップアップメニューの [選択を解除] を選択します。

#### テキストのコピー

テキストを選択した後、以下のいずれかの操作を行います：

- 選択したテキストの上で右クリックし、ポップアップメニューの [クリップボードにコピー] を選択します。
- ショートカットキーの Ctrl + C を押下します。

#### テキストの貼付け

クリップボードにコピーしたテキストを別のアプリケーションで貼り付けるには、その

アプリケーションの貼付けコマンドに従ってください。

## イメージのコピー

個別のイメージを PDF からクリップボードにコピーし、別のアプリケーションや別のファイルに貼り付けることができます。

### イメージのスナップショットを取得

イメージをコピーする場合、ツールバーの [スナップショットツール]  を選択します:

- メニューより、ツール > スナップショットツール、と操作するか、またはツールバーの [スナップショットツール]  をクリックすると、ポインタが十字<sup>+</sup>に変わります。
- スナップショットを取得するイメージの周囲を四角形で囲むよう、マウスをドラッグします。
- 選択したエリアがクリップボードにコピーされたというメッセージが開きますので、[OK] ボタンをクリックします。
- (オプション) 選択したエリア内で右クリックし、ポップアップメニューの [選択画像をコピー] を選択します。
- 他のアプリケーションで、コピーしたイメージを貼付けます。

### ページのスナップショットを取得

ページ全体をコピーする際にも、[スナップショットツール]  を使用することができます。この場合、イメージとテキストがともにイメージとしてコピーされます。

- メニューより、ツール > スナップショットツール、と操作するか、またはツールバーの [スナップショットツール]  をクリックします。
- ページ上をドラッグしてコンテンツを選択するか、ページ内の任意の位置でクリックするか、またはページ内の任意の位置で右クリックし、ポップアップメニューの [すべてを選択] を選択します。

選択を解除するには、ページ内の任意の位置で右クリックし、ポップアップメニューの [選択解除] を選択します。

- 選択したエリアがクリップボードにコピーされたというメッセージが開きますので、[OK] ボタンをクリックします。
- (オプション) 選択したエリア内で右クリックし、ポップアップメニューの [選択画像をコピー] を選択します。

- 他のアプリケーションの画面で、コピーしたイメージを貼付けます。

ノート: 選択されたエリアは青色でハイライト表示されます。

## テキストとイメージの組み合わせをイメージとしてコピー

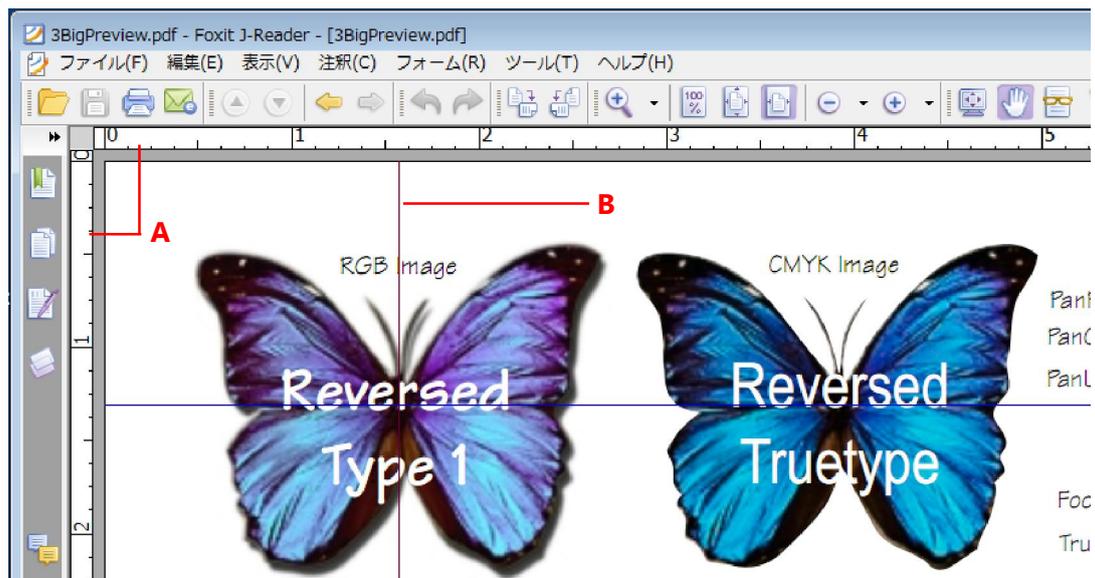
スナップショットツールは、選択したコンテンツ (テキスト、イメージ、または両方) すべてを、クリップボードや他のアプリケーションにコピーする場合にも使用できます。この場合、テキストもイメージも全てイメージとしてコピーされます。

テキストとイメージの組み合わせをイメージとしてコピーするには、以下の操作を行ってください:

- メニューより、ツール > スナップショットツール、と操作するか、もしくはツールバーの [スナップショットツール] をクリックします。
- コピーの対象となるイメージとテキストの周りをドラッグして四角形で囲みます。
- 選択したエリアがクリップボードにコピーされたというメッセージが開きますので、[OK] ボタンをクリックします。
- (オプション) 選択したエリアで右クリックし、ポップアップメニューの [選択画像をコピー] を選択します。
- 選択したイメージを別のアプリケーションで貼付けます。

## 定規とガイド

Foxit J-Reader は、ページの中のテキスト、図形、その他のオブジェクトの整列や位置づけを支援するため、水平方向と垂直方向の定規とガイドを提供しています。定規とガイドは、ドキュメント内のサイズやマージンの確認にも使用できます。



定規とガイド

**A.** 定規 **B.** ガイド

### 定規の表示

- 定規を表示するには、メニューより、表示 > 定規、と操作します。

### 定規を非表示にする

- 定規を非表示にする場合は、メニューより、表示 > 定規、と操作するか、または定規上で右クリックし、ポップアップメニューの [定規を隠す] を選択します。

### ガイドの作成

以下のいずれかの操作を行います：

- 水平方向のガイドを作成するには、水平の定規から下にドラッグして任意の位置でドロップします。垂直方向のガイドを作成するには、垂直の定規から右にドラッグして任意の位置でドロップします。
- 水平の定規上の任意の位置でダブルクリックすると、垂直方向のガイドが作成できます。垂直の定規上の任意の位置でダブルクリックすると、水平方向のガイドが作成できます。

### ガイドの移動

手のひらツールを選択し、表示されているガイドをクリックして、任意の位置までドラ

ックします。

## 単位の変更

水平の定規または垂直の定規、いずれかの上で右クリックし、ポップアップメニューの中で任意の単位を選択します。

## ガイドの削除

- 削除対象のガイドをクリックして選択し、**Delete** キーを押下します。
- 特定のページ内のガイドを全て削除するには、そのページを表示し、定規の中で右クリックして、ポップアップメニューの [ガイドをクリア] を選択します。
- 全てのガイドを削除するには、定規の中で右クリックし、ポップアップメニューの [すべてのガイドをクリア] を選択します。

## オブジェクトの測定

計測ツールは、PDF ドキュメント内のオブジェクトの大きさや距離を測る機能です。計測ツールは、フォームや CAD によるデザイン結果に含まれるオブジェクトのサイズや距離、エリアの面積等を知る必要がある場合、また、印刷前に実際の面積を知りたい場合などに非常に有効です。

計測ツールが **Foxit J-Reader** のユーザーに有効になるのは、PDF の作成者が計測ツールを有効にした場合です。

計測ツールを使用するとき、[距離ツール] ダイアログが開き、線を描く都度線の長さ等を表示します。

## オブジェクトの測定

メニューより、注釈 > 計測ツール > ツール名をクリック、と操作するか、またはツールバーのツールボタンをクリックし、以下のいずれかの操作を行います：

- 2点間の長さを測るには、[距離ツール]  を選択します。最初の点をクリックし、2番目の点にポインタを移動して再度クリックすると、2点間の長さが表示されます。
- 複数のポイント間の距離の合計を測るには [境界ツール]  を選択します。最初の点をクリックし、続いて各ポイントをクリックして、最後のポイントでダブルクリックします。

- 線で囲った範囲の面積を測るには [範囲ツール]  を選択します。最初の点をクリックし、続いて各ポイントをクリックします。二つ以上のポイントをクリックした後、最初の点をクリックするか、または最後の点でダブルクリックします。

**ノート:** 操作の途中で右クリックし、ポップアップメニューの [測定を完了] を選択すると、その時点で操作が完了します。また、ポップアップメニューの [測定をキャンセル] を選択すると、そこまでの操作をキャンセルすることができます。

ツールを選択した後、ポップアップダイアログで以下のいずれかの操作を行います:

- 縮尺 (1:2 など) を変更するために、[面積ツール] ダイアログ等で、適切な数値を入力します。必要なら、隣にある単位も変更します。
- [面積ツール] ダイアログ等の [ものさし] オプションを選択すると、測定のために描いた線を、コメントとしてドキュメント内に表示することが出来ます。[手のひらツール] を選択してドキュメント内に表示されている測定結果の上にマウスポインタを移動すると、測定値や追加した注釈を見ることができます。

**ノート:** 測定のために描いた線は、[面積ツール] ダイアログ等の [ものさし] オプションを選択していない状態では、画面には表示されません。

## メジャーオブジェクトの操作

測定が終了した後、描いた線に対して、移動、リサイズ、反転、および注釈の追加などの操作を行うことができます。

### メジャーオブジェクトの移動

- [手のひらツール]  または [注釈選択ツール]  を選択し、移動するオブジェクトをクリックします。
- カーソルをメジャーオブジェクトの上に移動し、ポインタが  に変わったとき、マウスをクリックし、オブジェクトを目的の場所までドラッグします。

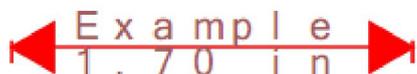
### 線の長さや方向の変更

- [手のひらツール]  または [注釈選択ツール]  を選択し、マウスポインタを任意のリサイズコーナー  上に移動すると、マウスポインタが  に変わります。

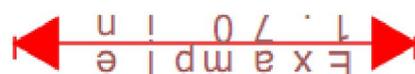
- マウスをクリックしドラッグして、線の長さや向きを変えます。

## 測定結果と注釈の反転

測定結果と注釈を反転することが出来ます。



反転前



反転後

以下の操作で測定結果と注釈の反転を行います：

- [手のひらツール]  または [注釈選択ツール]  を選択します。
- 対象のメジャーオブジェクト上で右クリックし、ポップアップメニューの [反転] を選択します。

## メジャーオブジェクトをコメントとして操作

メジャーオブジェクトは、コメントとして操作することができます。コメント同様に、ポップアップメニューから、[ステータスを設定]、[ポップアップノートを開く]、[削除]、[返答] や、[プロパティを開く...]、[現在のプロパティをデフォルトとして使用] 等のコマンドを実行することが出来ます。

**ノート:** 計測結果を表示する場合は、メジャーオブジェクトを右クリックし、ポップアップメニューより、プロパティを開く > [表示方法] タブ > [テキストを整理して表示] オプションを選択、と操作します。

メジャーオブジェクトをコメントとして操作する方法については、[“第五章 - コメント”](#) を参照してください。

## ツールバーの設定

Foxit J-Reader の基本ツールバーは、検索ツール、手のひらツール、テキスト選択ツール、スナップショットツール、注釈選択ツール、テキストビューア等で構成されています。ユーザーは、メニューからの選択や、ツールバーにあるそれぞれのアイコンをクリックすることにより、この基本モードを切りかえることが出来ます。一度に一つのモードが設定可能で、複数のモードを同時に設定することは出来ません。

## テキストビューア

Foxit J-Reader のテキストビューアを使用すると、あらゆる PDF ドキュメントをテキストビューアで見ることが出来ます。テキストビューアで見ることにより、イメージや表の間に分散しているテキストが再利用しやすくなります。テキストビューアの動作はメモ帳に似ていますが、ユーザーのニーズに応じて設定の調整も可能です。

### テキストビューアモードに変更

以下のいずれかの操作を行います:

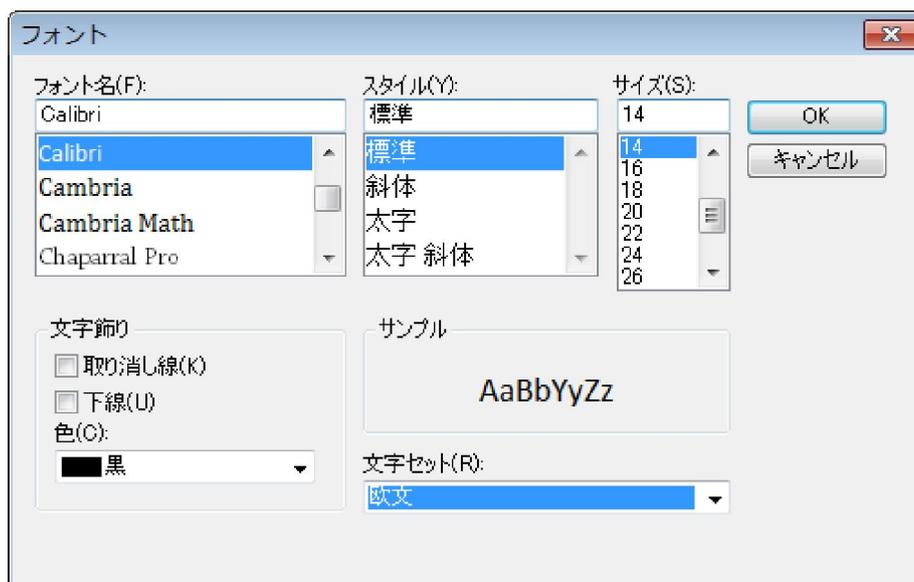
- メニューより、表示 > テキストビューア、と操作します。
- ツールバーにある [テキストビューア] アイコン  をクリックします。
- ショートカットキーの **Alt + 9** を押下します。

### テキストビューアのカスタマイズ

テキストビューアが起動されると、テキストビューアのカスタマイズのためのフォント設定ツール使えるようになります。テキストエリアで右クリックし、ポップアップメニューで、[フォント設定] を選択します。

#### 1. テキストビューアモードでフォントを変更

- テキストエリアで右クリックし、ポップアップメニューより、フォント設定 > フォント... と操作します。
- [フォント] ダイアログで、フォント名、フォントスタイル、フォントサイズ、文字飾り、色、および文字セット、を設定します。 [Courier New] が画面表示において最も優れています。



**ノート:** [フォント] ダイアログを使用すると、テキストビューアで使用できるフォントの属性を全て変更することが出来ます。また、テキストエリアのポップアップメニューで、色の変更、およびレギュラー、ボールド、イタリックの切換えが出来ます。

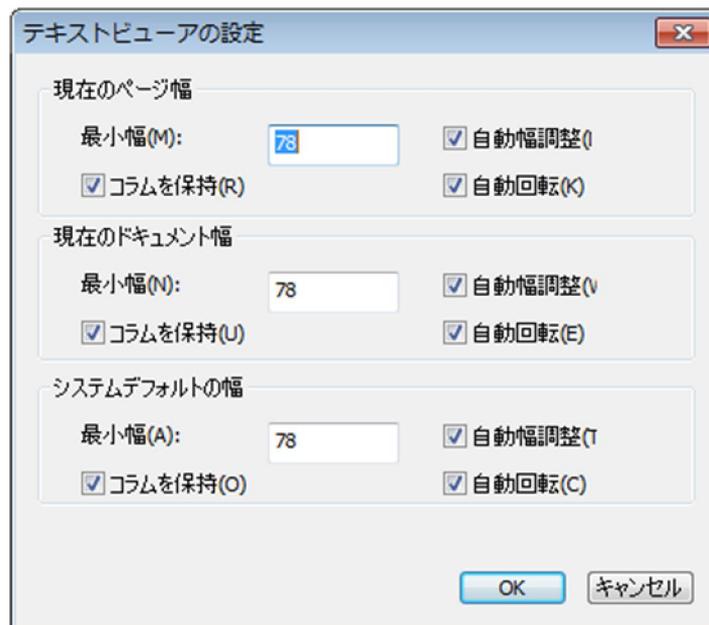
2. レギュラーとボールドの切換えは、テキストエリアのポップアップメニューより、フォント設定 > 太字、と操作します。
3. レギュラーとイタリックの切換えは、テキストエリアのポップアップメニューより、フォント設定 > 斜体、と操作します。
4. フォントの色を変更
  - テキストエリアのポップアップメニューより、フォント設定 > カラー... と操作します。
  - [テキストビューアの色] ダイアログが表示されます。



- 各スライダーをドラッグするか、または値を入力して背景色（ページ）と前景色（フォント）を変更します。変更後の色は、ダイアログ内の **Sample** で確認することが出来ます。
- 操作を終了するには、ダイアログ内の [OK] ボタンをクリックします。また、変更を破棄する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。

## 5. テキストビューアの環境設定

- テキストエリアで右クリックし、ポップアップメニューの [設定...] を選択します。
- [テキストビューアの設定] ダイアログが開きます。



- [テキストビューアの設定] ダイアログでは、以下のような設定が可能です：
  - A. ページの幅を [現在のページ幅]、[現在のドキュメント幅]、および [システムデフォルトの幅] の三つの異なるレベルで設定します。
  - B. 最小幅 - このフィールドの有効値は0-1024で、デフォルト値は78です。
  - C. コラムを保持 - PDFテーブルやテキストカラムについて、[コラムを保持] を選択すると、テキストビューアモードでカラムを適切に維持できます。デフォルト値は選択状態です。
  - D. 自動幅調整 - PDFテーブルやテキストカラムについて、[自動幅調整] を選択すると、テキスト間の幅が適切な値に自動設定されます。デフォルト値は選択状態です。
  - E. 自動回転 - [自動回転] にチェックすると、プリンタの方向と矛盾の無いようページを回転します。デフォルト設定では選択されています。

## テキストビューアモードでのナビゲーション

### 1. 次のページ、または前のページに移動

以下のいずれかの操作を行います：

- メニューより、表示 > 移動 > 前のページ、次のページ、と操作します。
- ツールバー、またはステータスバーの [前のページ] アイコン  または [次のページ] アイコン  をクリックします。
- ドキュメントペインにカーソルを移動し、左の矢印キーを押下すると前のページに

もどき、右の矢印キーを押下すると次のページに進みます。

- スペースキー、または**Shift+スペース**キーで、次のページ、または前のページに移動します。

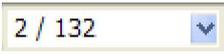
## 2. 先頭のページ、または最後のページに移動

以下のいずれかの操作を行います：

- メニューより、表示 > 移動 > 最初のページ、最後のページ、と操作します。
- ツールバー、またはステータスバーの [最初のページ] アイコン  または [最後のページ] アイコン  をクリックします。
- **Home**キーを押下すると先頭のページに移動し、**End**キーを押下すると最後のページに移動します。

## 3. 特定のページに移動

以下のいずれかの操作を行います：

- メニューより、表示 > 移動 > ページ… > 移動先のページ番号を入力 > [OK] ボタンをクリック、と操作します。
- ステータスバーの [現在のページ番号] ボックス  に移動先のページ番号を入力し、**Enter**を押下します。

**ノート：** 開いているPDFドキュメントが論理的なページ番号をふくんでいる場合、Foxit J-Readerは [現在のページ番号] ボックスに論理的なページ番号を表示できません。



## ドキュメントの表示倍率の変更

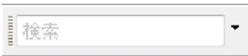
以下のいずれかの操作を行います：

1. ツールバーの中の [ズームアウト] ボタン  をクリックするか、 [ズームイン] ボタン  をクリックします。また、これらの二つのアイコンからドロップダウンリストを開き、倍率を選択することも出来ます。
2. メニューより、表示 > ズーム > ズームイン、ズームアウト、と操作するか、またはメニューより、表示 > ズーム > 倍率指定... > [表示倍率] ダイアログの [倍率] に表示倍率を入力、ドロップダウンリストから表示倍率を選択 > [OK] ボタンをクリック、と操作します。

### テキストビューアモードでのテキストの検索

テキスト検索は以下の操作で行います：

- ショートカットキーの **Ctrl + F** キーを押下します。
- ダイアログの [検索する文字列] にテキストを入力します。
- 検索に条件を付けるためオプションを選択します：
  - A. 単語単位で探す --単語単位で全体が一致するものを検索します。例えば、“Read” を検索する場合、“Reader” はヒットしません。
  - B. 大文字と小文字を区別する --大文字と小文字を別の文字として検索します、例えば、“text” を検索している時、“Text” や “TEXT” はヒットしません。
  - C. 検索する方向 --先頭から最後に向けて検索するか、最後から先頭に向けて検索するか、検索する方向を選択します。
- [次を検索] ボタンをクリックするか、または **Enter** キーを押下します。  
Foxit J-Reader は、検索しているテキストが最初にヒットしたページを表示し、対象をハイライト表示します。
- **Enter** キーの押下、またはメニューより、ツール > 次の結果、と操作するか、もしくはショートカットキーの **F3** を押下すると、連続して検索できます。

ノート： ツールバーにある検索ツール  は、テキストビューアモードでは使用できません。

### フルスクリーンモードを使用する

1. フルスクリーンモードに関する環境設定は、[“ \[フルスクリーン\] タブに関する設定 ”](#) を参照してください。
2. フルスクリーンモードに変更するには、以下のいずれかの操作を行ってください：
  - メニューより、表示 > フルスクリーンモード、と操作します。
  - ツールバーの [フルスクリーンモード] ボタン  をクリックします。

### 3. フルスクリーンモードを終了する：

- Esc キーを押下します。
- 画面に表示されているフルスクリーンの終了ボタン  をクリックします。

## テキストビューアモードでテキストをコピーする

### 1. テキストの選択

- 単語を選択：選択したい単語の上でダブルクリックします。
- 一行のテキストを選択：行の先頭でマウスクリックし、選択する行に沿ってドラッグします。
- 全てのテキストを選択：ショートカットキーの **Ctrl + A** を押下するか、またはドキュメントペインで任意のテキストを選択後右クリックし、ポップアップメニューの [全てを選択] を選択します。

### テキストのコピー

以下のいずれかの操作を行います：

- 選択したテキストの上で右クリックし、ポップアップメニューの [コピー] を選択します。
- ショートカットキーの **Ctrl + C** を押下します。

### テキストの貼付け

クリップボードにコピーしたテキストを他のアプリケーションで貼り付けるには、該当アプリケーションの貼付けコマンドを使用します。

## 取り消しとやり直し

Foxit J-Reader は実行した操作の [取り消し] と [やり直し] の機能を提供しています。取り消し機能は、最後に行った操作をキャンセルすることにより、誤った操作を容易に正しい操作に変更できるものです。コメントの編集や拡張編集機能等、PDF ドキュメントに対して行ったあらゆる編集操作について、[取り消し] と [やり直し] ができます。

**ノート：**しおりの編集に関して、取り消し、やり直しの操作は行えません。

## 最後の操作を元に戻す

[取り消し] を行う場合は、以下のいずれかの操作を行ってください:

- メニューより、編集 > 取り消し、と操作します。
- ツールバーの [取り消し] ボタン  をクリックします。
- Ctrl+Z キーを押下します。

## 元に戻した操作の再実行

[取り消し] を行ったコマンドの [やり直し] は、以下のいずれかの操作で行います:

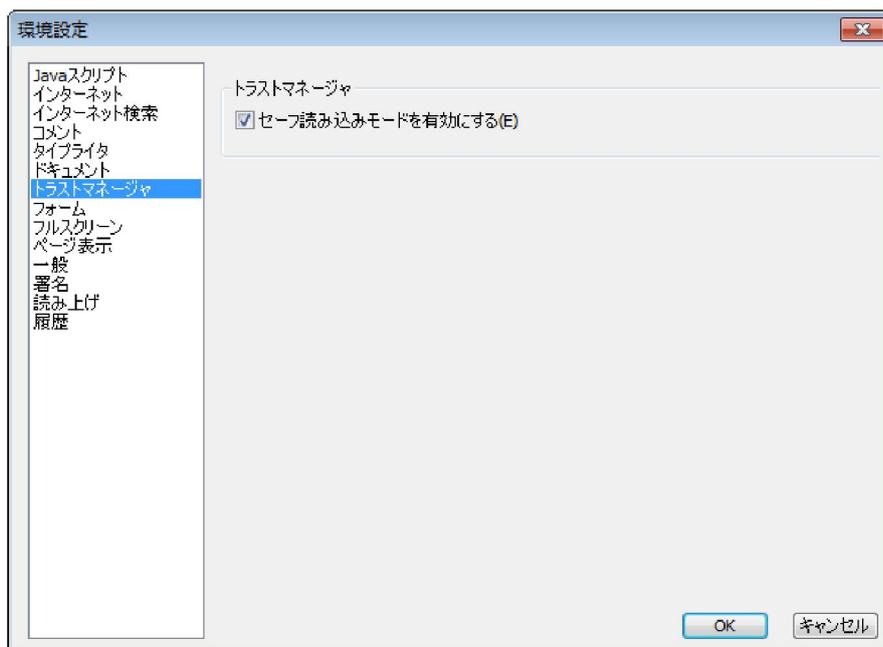
- メニューより、編集 > やり直し、と操作します。
- ツールバーの [やり直し] ボタン  をクリックします。
- Shift+Ctrl+Z キーを押下します。

## トラストマネージャ

トラストマネージャは Foxit J-Reader 4.2 で新しく追加された機能で、ユーザーが許可されていないアクションやデータの読み込み、URL への接続、添付ファイルのアクション、そして Java スクリプトの実行等に対して、許可するか禁止するか選択できるようにしたものです。悪意のコンテンツやウイルスからの攻撃を避けるのに有効な機能です。

セーフ読み込みモードを有効にする場合、以下の操作を行います:

- メニューより、ツール > 環境設定 > [トラストマネージャ] タブを選択 > [セーフ読み込みモードを有効にする] オプションを選択、と操作します。
- OK をクリックします。



ノート：プログラムを実行する場合は、[セーフ読み込みモードを有効にする] オプションを選択せず、プログラムの実行時にポップアップメニューが表示された場合には[はい]を選択してください。

## 第五章 - コメント

コメントは、説明や実例、また事実や意見、特に個人の反応や態度などを記述した覚書です。Foxit J-Reader のコメントツールを使用すると、参照中の PDF ドキュメントにコメントを記入するため、テキスト、線や円、その他の図形を追加することが出来ます。

ほとんどのタイプのコメントは、ポップアップウィンドウに表示される、編集者名、コメントの作成日付/時刻、そしてテキストメッセージを含みます。

また、コメントの編集、返答、削除、および移動なども簡単に行うことが出来るので、勉強や仕事などの必要上、PDF ドキュメントに何らかの覚書を追加しなくてはならない時、この機能は非常に有効です。

### コメントツール

コメントツールを使用すると、PDF ドキュメントにコメントを追加することが出来ます。コメントツールには、タイプライターツール、マークアップツール、計測ツール、スタンプツール、そしてコメントツールなど、機能の異なる様々なものがあります。

これらのツールは、[コメントツール] と [描画マークアップツール] の各ツールバー内にあり、PDF ドキュメントに対して、コメントの追加や作成を行います。また、これらの機能はメニューバーからも実行することが出来ます



### コメント追加のためのツールの選択

以下のいずれかの操作を行ってください:

- 注釈ツールバーよりツールを選択します。
- メニューより、注釈 > 使用するツールの選択、と操作します。

## ノートコメントの追加

ノートコメントは最も一般的なコメントです。ノートコメントは、ポップアップでテキストメッセージが表示されるアイコンを持っており、ノートコメントを追加したページに表示されます。メッセージボックスに長いテキストを入力した場合、メッセージボックスはリサイズされ、テキスト全体がメッセージボックスに納まります。

以下の手順を参照すると、任意のドキュメントの任意のページに、ノートコメントを追加する方法が理解できます。



### ノートコメント

- ツールバーの [ノートツール]  をクリックするか、メニューより、注釈 > ノート注釈ツール、と操作します。
- ノートコメントを起きたい場所でクリックするか、ノートコメントが任意のサイズになるようドラッグします。
- ノートコメントにテキストを入力します。[テキスト選択ツール]  を使用して PDF ドキュメントのテキストをコピーし、ノートコメントに貼り付けることが出来ます。また、ノートコメントの内容は、別のアプリケーションで使用するため、Ctrl + C を押下してコピーすることができます。

### ノートコメントの編集

- テキストメッセージをクリックします。
- 必要に応じてメッセージを変更します。
- ポップアップノートのリサイズするには、右下のリサイズコーナーをドラッグします。
- ポップアップノートを移動するには、タイトルをクリックしてドラッグします。
- 操作が終了したら、ポップアップノートのタイトルをクリックするか、ポップアップ

- ノートの外側をクリックします。
- (オプション)ポップアップノートを開じるには、以下のいずれかの操作を行います。ポップアップノートを開じると、ポップアップノートがあることを示すアイコンが表示されます。
    - A. ポップアップノートの閉じるボタンをクリックします。
    - B. ドキュメント内に表示されているアイコンをダブルクリックします。
    - C. ポップアップノート、またはアイコンを右クリックし、ポップアップメニューの[ポップアップノートを開じる]を選択します。
    - D. ポップアップノート右上の [オプション] メニューを開き、[ポップアップノートを開じる]を選択します。

### スペルチェッカーを使用する

セキュリティの設定により許可されている場合は、スペルチェッカーが使用できます。

スペルチェッカーがインストールされていると、タイプライターを使用して英語のテキストを入力する際に、スペルの間違いがチェックされ、誤っているテキストがあれば波下線で表示されます。

- スペルを誤った単語の上で右クリックすると、正しい単語の候補が一覧表示されます。
- 入力を正しく訂正するため候補の一つを選択するか、訂正の必要がない場合は無視します。

### ノートコメントの整列とセンタリング

- ノートツール 、手のひらツール 、または注釈選択ツール  を選択します。
- 以降の操作は、“複数イメージの操作”を参照してください。

### ノートコメントの削除

- ノートツール 、手のひらツール 、または注釈選択ツール  を選択します。
- 以下のいずれかの操作を行います：
  - A. ノートアイコンをクリックし、**Delete** キーを押下します。
  - B. ノートアイコンを右クリックし、ポップアップメニューの[削除]を選択します。
  - C. ポップアップノートの [オプション] メニューを開き、[削除]を選択します。

## テキストマークアップツール

テキストを編集しなくてはならないことや、その他の理由で注目を集めるために、テキストマークアップツールが使用できます。テキストマークアップツールは PDF ドキュメント内の実際のテキストは変更しません。その代わりに、どのテキストが削除されるべきか、挿入されるべきか、ハイライト表示されるべきか、また下線を追加されるべきかを示します。

テキストマークアップツールには、テキストハイライトツール、テキスト下線ツール、テキスト取消ツール、雲形テキストツール、テキスト置換ツール、そしてテキスト挿入ツールがあります

### テキストマークアップツール

ボタン	ツール名	説明
	テキストハイライトツール	文章の重要な部分などに蛍光色（通常）でマークします。記憶に残りやすくする効果があり、後で参照する際にも便利です。
	テキスト下線ツール	重要な箇所であることを示すために下線を引きます。
	テキスト取消ツール	テキストの上に取り消し線を引きます。削除されたことを他の人に知らせます。
	雲形テキストツール	テキスト下線ツールと似ていますが、テキストの下に波線を追加します。
	テキスト置換ツール	取り消し線を引き、置換する内容を記述します。
	テキスト挿入ツール	校正マーク (^) を追加して、挿入すべき内容があることを示します。

Foxit J-Reader は、ノートツール以外のコメントツールを使用する際に、色と透明度を設定する便利な機能を提供しています。色と透明度はツールごとに設定可能で、設定内容はツールごとに継承され、追加する都度有効になります。

### テキストマークアップツールを使用する

#### 1. テキストマークアップツールの操作

- メニューより、注釈 > テキストハイライトツール 、テキスト下線ツール 、  
テキスト取り消しツール 、テキスト置換ツール 、またはテキスト挿入ツール

 を選択、と操作します。

- プロパティツール  がツールバーに表示されますので、色と透明度を選択します。
- 注釈をつけるテキストの先頭をクリックしてドラッグします。

## 2. テキストマークアップツールにテキスト（注釈）を追加する

- [手のひらツール] 、[注釈選択ツール] 、または各テキストマークアップツールを選択し、マークアップした部分を右クリックして、ポップアップメニューの [ポップアップノートを開く] を選択します。
- ポップアップノートの中にテキストを入力します。この際 [テキスト選択] ツール  を使用し、PDF ドキュメント内のテキストをコピーしてポップアップノートに貼り付けることができます。また、**Ctrl + C** キーを押下してポップアップノートの中のテキストをコピーし、別のアプリケーションで使用することができます。
- (オプション) 以下のいずれかの操作を行って、ポップアップノートを閉じます。ポップアップノートを閉じた後、マークアップしたテキストにポインタを近づけると、ノートアイコンが表示され、ポップアップノート内のテキストの存在を示します。
  - A. ポップアップノートの閉じるボタンをクリックします。
  - B. マークアップしたテキストを、ダブルクリックします。
  - C. マークアップしたテキストを右クリックし、ポップアップメニューの [ポップアップノートを閉じる] を選択します。
  - D. ポップアップノート右上の [オプション] をクリックし、開いたメニューの [ポップアップノートを閉じる] を選択します。

## 3. テキストマークアップの削除

以下のいずれかの操作を行います：

- [手のひらツール] 、[注釈選択ツール] 、または各テキストマークアップツールを選択して **Delete** キーを押下します。
- [手のひらツール] 、[注釈選択ツール] 、または各テキストマークアップツールを選択して対象のテキストマークアップを右クリックし、ポップアップメニューの [削除] を選択します。
- ポップアップノート右上の [オプション] をクリックし、ポップアップメニューの [削除] を選択します。

## テキスト挿入ツール

### 1. 挿入する場所を設定します

- ツールバーで [テキスト挿入ツール]  を選択するか、メニューより、注釈 > テキスト挿入ツール、と操作します。
- テキスト挿入ツールを配置する場所でクリックします。
- ポップアップノートに挿入するテキストを入力します。
- (オプション) ポップアップノートを閉じるには、以下のいずれかの操作を行います。
  - A. ポップアップノートの [閉じる] ボタンをクリックします。
  - B. 挿入マークをダブルクリックします。
  - C. 挿入マークを右クリックし、ポップアップメニューの [ポップアップノートを閉じる] を選択します。
  - D. ポップアップノート右上の [オプション] をクリックし、ポップアップメニューの [ポップアップノートを閉じる] を選択します。

### 2. 挿入マークアップの削除

以下のいずれかの操作を行います:

- [テキスト挿入ツール] 、[手のひらツール] 、または [注釈選択ツール]  を選択し、挿入マークアップをクリックして **Delete** キーを押下します。
- [テキスト挿入ツール] 、[手のひらツール] 、または [注釈選択ツール]  を選択し、挿入マークアップを右クリックして、ポップアップメニューの [削除] を選択します。
- ポップアップノート右上の [オプション] をクリックし、ポップアップメニューの [削除] を選択します。

## テキスト選択ツール

テキスト選択ツールは、ハイライトツール、取消ツール、下線ツール、波線ツール、および置換ツールなど、ほとんどのテキスト編集を可能にします。テキスト選択ツールは、テキスト選択機能とコメントツールを統合したツールです。

テキスト選択ツールを使用してテキストを選択すると、右クリックして表示されるポップアップメニューから、使用する編集ツールを選択できます。また、テキスト選択ツール

は、しおりの追加にも使用できます

### テキストをマークアップする

- メニューより、ツール > テキストを選択、と操作するか、またはツールバーの [テキスト選択ツール]  を選択します。
- 印を付けたいテキストを選択し、選択した部分を右クリックします。その後の詳細な操作は ["テキストマークアップツール"](#) を参照してください。

### 描画マークアップツール

描画マークアップツールは線、図形およびテキストを使用して注釈を作成するためのツールです。描画マークアップツールを使用すると、矢印、線、正方形、長方形、円、楕円、多角形、オープン多角形、雲形等々の図形でドキュメントに目印を付けることができます。

また、描画マークアップツールは別の種類のコメントも提供します。それは、ドキュメント内のテキストやイメージに、図形による目印を付ける場合に有効です。以下の表は、描画ツールの機能を説明しています。

描画マークアップツール

ボタン	ツール名	説明
	雲形ツール	雲形の図形を描きます。
	矢印ツール	矢印を作成します。何かの方向を示す場合に使用します。
	線ツール	線を追加します。
	矩形ツール	四角形を作成します。Shift キーを押しながら使用することで、正方形を作成することができます。
	楕円形ツール	楕円形を作成します。Shift キーを押しながら使用することで、円を作成することができます。
	多角形ツール	3 本以上の線で構成された閉じた図形を作成します。
	多角形線ツール	3 個以上の点で構成される、開いた平面図形を作成します。
	鉛筆ツール	自由な線や図形を作成します。
	消しゴムツール	鉛筆で作成した図形を消去します。

## 図形の追加

使用するツールを決める前に、期待する効果を考えてください。

- メニューより、注釈 > 描画マークアップツール、と操作して使用するツールを選択するか、またはツールバーにある各ツールのボタンをクリックします。
- 線、または矢印を描画する場合は、図形を描画したい場所を横切ってドラッグします。
- 矩形、または楕円を描画する場合は、図形を描画したい場所を横切ってドラッグします。
- 多角形、オープン多角形、または雲形を描画する場合は、スタート地点をクリックし、ポインタを移動しながら各辺を作成するためにクリックを繰り返します。描画を終了する際には、スタート地点をもう一度クリックするか、最後のポイントでダブルクリックします。オープン多角形の場合は、最終ポイントをダブルクリックして終了します。
- 鉛筆ツール  を使用して自由線を描画する場合は、図形を表示したいエリアを囲んで自由にドラッグします。鉛筆ツールを使用する際は、マウスのボタンを放し別の位置に移動してから、再度マウスをクリックして描画を継続することが出来ます。
- 鉛筆ツールで描画した図形の一部を消去するには、消しゴムツール  を選択し、鉛筆ツールで描画した図形の上をドラッグします。

### ヒント:

- 線を描く時に **Shift** キーを押しながら操作すると、水平、垂直、 $45^\circ$  の角度の線が引けます。
- **Shift** キーを押しながら楕円形を描画すると円が、四角形描画すると正方形が作成できます。

## 描画した図形の編集、リサイズ、移動

- [手のひらツール] 、[注釈選択ツール] 、またはそれぞれの描画ツールを選択します。
- 描画した図形の編集やリサイズを行うには、対象を選択し表示される緑色のポイントにカーソルを移動し、そのポイントを任意の位置にドラッグします。
- 描画した図形を移動するには、対象をクリックして選択し、一つの辺を任意の位置までドラッグします。
- 描画した図形にポップアップノートを追加するには、対象の図形をダブルクリックするか、または、対象を右クリックし、ポップアップメニューの [ポップアップノートを開く] を選択します。

## 図形の整列とセンタリング

- [手のひらツール] 、または [注釈選択ツール]  を選択します。
- 以降の操作は、“複数イメージの操作” を参照してください。

## 描画した図形の削除

以下のいずれかの操作を行います：

- [手のひらツール] 、[注釈選択ツール] 、またはそれぞれの描画ツールを選択し、対象の図形をクリックして **Delete** キーを押下します。
- [手のひらツール] 、[注釈選択ツール] 、またはそれぞれの描画ツールを選択し、対象の図形を右クリックしてポップアップメニューの [削除] を選択します。
- ポップアップノート右上の [オプション] をクリックし、ポップアップメニューの [削除] を選択します。

## 描画した図形のグルーピング

描画した図形のグルーピングにより、複数の図形を結合して一つのオブジェクトのように操作することが出来ます。複数の図形に対する移動、削除、ステータスの変更、形状の変更などが、一度の操作で行えるようになります。

[手のひらツール] 、または [注釈選択ツール]  を選択し、以下のいずれかの操作を行います：

- 描画した図形のグループを作成するには、**Ctrl** キーを押下しながら、グループ化する複数の図形を選択し、選択した図形の上で右クリックして、ポップアップメニューの [グループ] を選択します。
- グループに対して操作を行う場合は、グループの中の任意の図形を選択し、他のコメントと同様に、必要な操作を行います。
- グループを解除するには、グループを選択し、右クリックしてポップアップメニューの [グループ解除] を選択します。

## タイプライター

タイプライターツールには、タイプライターツール、コールアウトツール、およびテキ

ストボックスツールがあります。

## タイプライターを使用する

タイプライターは、ユーザーがキーボードから入力したテキストを、PDF ドキュメント上に追加する機能です。タイプライターを使用すると、PDF ドキュメントの任意の位置にコメントを追加することが出来ます。そして追加したコメントは注釈のように表示されません。

**ノート:** タイプライターは、フォームの入力にも使用できます。

### 参照

["ノンインタラクティブフォームへの入力"](#)



## タイプライターツールでコメントを追加

- メニューより、注釈 > タイプライターツール > タイプライターツール、と操作するか、またはツールバーの [タイプライターツール]  を選択すると、タイプライター用のツールバーが表示されます。
- テキストを追加したい位置にポインタを移動します。
- 改行する場合には、**Enter** キーを押下します。
- テキストの編集を終了する場合は、テキストを入力したエリアの外をクリックします。

## タイプライターコメントの編集

- メニューより、注釈 > タイプライターツール > タイプライターツール、と操作するか、またはツールバーの [タイプライターツール]  を選択します。
- ポインタを編集対象の文字の間に移動してクリックし、タイプライターテキストフィールドをアクティブにします。
- テキストを編集します。このとき、**Backspace** キーと **Delete** キーを使用して、ポインタの前後の文字を削除することが出来ます。
- 編集を終了する際には、テキストフィールドの外をクリックします。

**ヒント:** テキストフィールド内で矢印キーを使用すると、ポインタを上下左右に移動する

ことが出来ます。

### タイプライターコメントの移動

以下のいずれかの操作を行ってください:

- メニューより、注釈 > タイプライターツール > タイプライターツール、と操作するか、またはツールバーの [タイプライターツール]  を選択し、以下の操作を行います:
  - A. ポインタを編集対象の文字の間に移動し、タイプライターテキストフィールドをアクティブにします。
  - B. ポインタをテキストフィールドの左端か、もしくは右端に移動します。
  - C. カーソルが十字型の矢印  に変わった時、マウスボタンを押しそのままドラッグして任意の位置に移動します。

#### ヒント:

- ◇ 文字の間を移動する際、**Home** キー、**End** キー、および矢印キーが使用できます。
- ◇ タイプライターコメントを移動している時は、四角形の枠が表示されます。

- [手のひらツール] 、または [注釈選択ツール]  を選択し、タイプライターコメントをクリックして、任意の場所までドラッグします。

### タイプライターコメントの削除

以下のいずれかの操作を行います:

- メニューより、注釈 > タイプライターツール > タイプライターツールと操作するか、またはツールバーの [タイプライターツール]  を選択します。次にカーソルをテキストの先頭か最後に移動し、ドラッグしてテキスト全体を選択します。そして、**Delete** キーを押下します。
- (推奨する手順) [注釈選択ツール] 、または [手のひらツール]  を選択し、タイプライターコメントを右クリックして、ポップアップメニューの [削除] を選択します。

**ノート:** 以下の操作により、タイプライターコメントにもポップアップノートを追加することが出来ます:

- ◇ [注釈選択ツール] 、または [手のひらツール]  を選択します。
- ◇ タイプライターコメントを右クリックします。
- ◇ ポップアップメニューから [ポップアップノートを開く] を選択し、テキストを入力します。
- ◇ ポップアップノートを閉じるには、ポップアップノートの右上にある閉じるボタンをクリックします。あるいは、タイプライターコメントを右クリックし、ポップアップメニューの [ポップアップノートを閉じる] を選択します。

## タイプライターの環境設定

タイプライターの環境設定を行うには、メニューより、表示 > ツールバー > フォーマット、と操作してフォーマットツールを表示し、参照してください。



1. タイプライターのフォントスタイル、フォントサイズ、フォント色を変更する
  - フォントスタイルの変更は、[フォント] ドロップダウンリストを開き、フォントスタイルを選択して行います。
  - フォントサイズの変更は、[フォントサイズ] ドロップダウンリストを開き、フォントサイズを選択して行います。
  - フォントと色を選択すると、タイプライターツールのデフォルト設定となります。タイプライターツールを終了する際に設定内容は保存され、次にタイプライターツールを使用する際に有効になります。
  - フォント色を変更するには、ツールバーの [テキストの色] ボタン  をクリックし色を選択します。
  - フォントをボールドにするには、ツールバーの [ボールド] ボタン  を使用します。
  - フォントをイタリック体にするには、ツールバーの [イタリック] ボタン  を使用します。
2. テキストの整列

[テキスト整列] ボタンを使用してあらゆるテキストの整列が行えます。これらのボタンは、複数の行を整列させる際に使用します。

- テキストを左揃えにするには、ツールバーの [左揃え] ボタン  をクリックします。
- テキストを中央揃えにするには、ツールバーの [中央揃え] ボタン  をクリックします。
- テキストを右揃えにするには、ツールバーの [右揃え] ボタン  をクリックします。

### 3. 文字間隔と文字幅の変更

- 文字間隔を変更するには、ツールバーの [文字間隔] ボタン  をクリックして、[文字間隔] ダイアログを開きます。
- 次に、ダイアログの [拡張する] テキストボックスに文字間隔（ポイント）を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

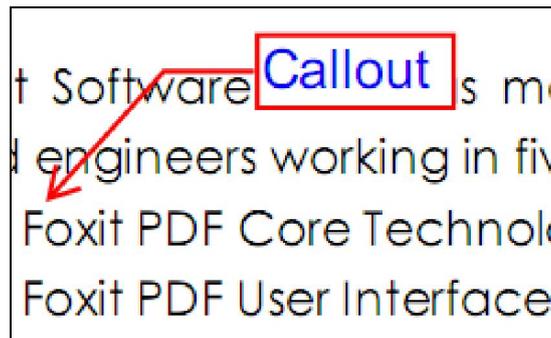
**ノート:** 文字間隔の値は0以上で、32以下でなくてはなりません。

- カレントのタイプライターテキストの水平方向のフォントスケールを変更する場合、ツールバーで [キャラクタスケール] ボタン  をクリックし、ドロップダウンリストより比率を選択するか、または [詳細...] を選択して任意の比率を入力します。
- カレントのタイプライターテキストの行送りを設定する場合、ツールバーで [行送り] ボタン  を選択し、[行間隔] ダイアログで行間隔値を設定します。

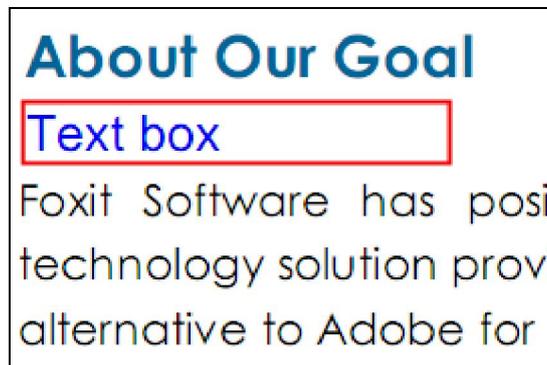
### テキストボックスやコールアウトへのコメント追加

コールアウトとテキストボックスは、ユーザーがコールアウトやテキストボックスにコメントを追加するための機能です。コールアウトは、ドキュメント内の特定の場所（曖昧な場所ではなく）を指摘する場合に特に有効です。

コールアウトは、テキストボックス、矢印、および終端線という三つのパーツで構成されています。



テキストボックスは、任意のサイズの長方形で、他のインタフェースとの境界を設定し、ユーザーがテキストによる情報を入力できるようにしています。テキストボックスはドキュメント内に常に見える状態で残ります。ポップアップノートのように閉じることは出来ません。



ノート：コールアウトやテキストボックスに、日本語、中国語、韓国語のテキストを追加するためには、**Eastern Asian Language module** をインストールする必要があります。また、コールアウト、およびテキストボックスは、横書きのテキストにのみ対応しています。（Foxit J-Reader には、既にインストールされています）

#### コールアウトやテキストボックスの追加

- メニューより、注釈 > タイプライターツール > コールアウトツール、またはテキストボックスツールと操作するか、もしくは、ツールバーの [コールアウトツール] 、または [テキストボックスツール]  をクリックします。
- コールアウト、またはテキストボックスを挿入する場所をクリックします。
- テキストを入力します。入力したテキストがボックスの右端までいくと、自動的に折り返します。

## コールアウトとテキストボックスのリサイズ、移動、編集、および削除

[手のひらツール]  か [注釈選択ツール]  を選択し、以下のいずれかの操作を行います:

- コールアウトやテキストボックスをリサイズするには、対象を選択し、表示されたハンドルของいずれかをドラッグします。
- コールアウトやテキストボックスを移動するには、対象を選択し移動先までドラッグします。
- テキストボックスやコールアウトの、境界線の色や背景色を設定する場合は、フォーマットツールバーの [境界線の色] ボタン 、又は [背景色] ボタン  をクリックしてください。
- コールアウトやテキストボックスにポップアップノートを追加するには、対象をダブルクリックするか、または右クリックしてポップアップメニューの [ポップアップノートを開く] を選択します。
- コールアウトやテキストボックスを削除するには、対象を選択し **Delete** キーを押下するか、対象を右クリックしてポップアップメニューの [削除] を選択するか、もしくはポップアップノートの [オプション] メニューを開き [削除] を選択します。

## タイプライターコメントの整列とセンタリング

- [手のひらツール] 、または [注釈選択ツール]  を選択します。
- 以降の操作は、“複数イメージの操作” を参照してください。

## コールアウトとテキストの環境設定

” [\[タイプライタ\] タブに関する設定](#) ” を参照してください。

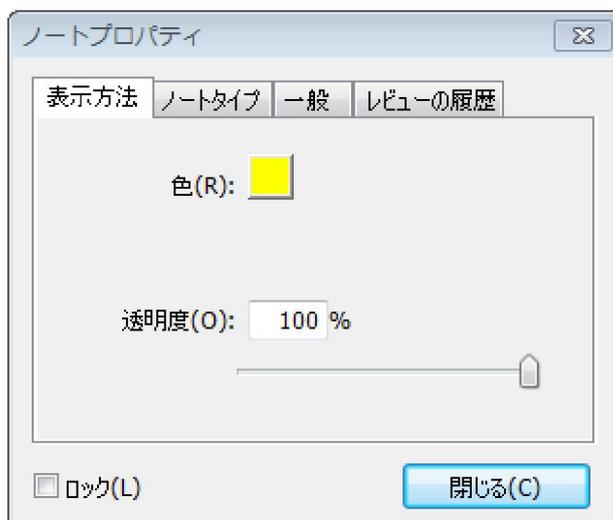
## マークアップのプロパティ変更

コメントやマークアップの作成前、または作成後に色や表示方法を変更することが出来ます。また、変更後の状態を新しくデフォルト値に設定することが出来ます。

## ノートコメントの表示方法変更

1. ノートコメントの作成後、ノートのアイコンを右クリックし、ポップアップメニューの [プロパティを開く...] を選択するか、またはポップアップノートの [オプション] メニューを開き、[プロパティを開く...] を選択して、[ノートプロパティ] ダイアロ

グを開きます。



2. [ノートプロパティ] ダイアログで以下のいずれかの操作を行って [閉じる] ボタンをクリックします:

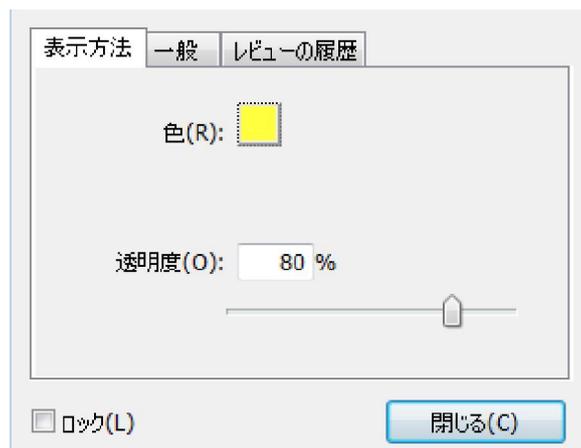
- [表示方法] タブをクリックし、コメントの色と透明度を変更します。
- [ノートタイプ] タブをクリックし、PDF ドキュメントの中に表示されるアイコンを選択します。
- [一般] タブをクリックして作者名とコメントのタイトルを変更します。
- [レビューの履歴] タブをクリックし、各レビューアーのレビュー中のコメントやステータスを参照します。

#### 参照

#### ["ステータスの設定"](#)

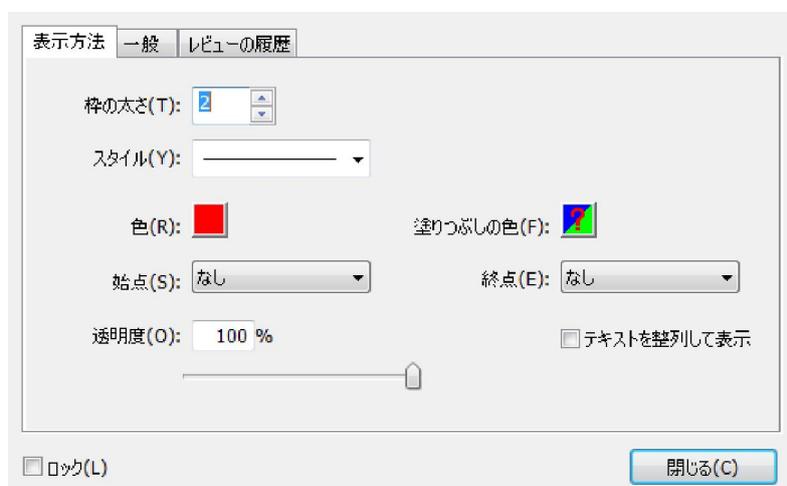
- [ノートのプロパティ] ダイアログ左下の、[ロック] オプションを選択すると、該当コメントに対するプロパティの変更や、コメントの削除を防止することが出来ます。
- [ノートのプロパティ] ダイアログ右上のボタンを使用すると、ダイアログ内のタブの選択が簡単に行えます。

#### テキストマークアップのプロパティ変更



- [“ノートコメントの表示方法変更”](#) を参照してください
- テキストマークアップのプロパティには、[ノートタイプ] タブはありません。

#### 描画した図形のプロパティ変更



プロパティダイアログで以下のいずれかの操作を行い、[閉じる] ボタンをクリックします：

- [表示方法] タブをクリックし、色、透明度、および線の始点と終点など、アイコンの種類を変更します。線、四角形、円など、選択した図形の種類により、プロパティダイアログの内容は異なります。
- [一般] タブをクリックし、作者名やコメントのタイトルを変更します。
- [レビューの履歴] タブをクリックして、各レビューアーのレビュー中のコメントやステータスを参照します。

#### 参照

[“ステータスの設定”](#)

- [プロパティ] ダイアログ左下の、[ロック] オプションにチェックすると、該当コメントに対するプロパティの変更や、コメントの削除を防止することができます。

ノート: タイプライターコメントは、表示方法の変更ができず、透明度だけ設定可能です。

### タイプライターマークアップのプロパティ変更



- [表示方法] タブをクリックし境界線の太さ、スタイル、色、そして透明度を変更します。
- [一般] タブをクリックし、作成者、タイトルなどを変更します。
- [レビューの履歴] タブをクリックし、各レビューアーのレビュー中のコメントやステータスを参照します。

### 参照

#### ["ステータスの設定"](#)

- ダイアログ左下の、[ロック] オプションを選択すると、該当コメントに対するプロパティの変更や、コメントの削除を防止することができます。

### テキストボックスとコールアウトのプロパティ変更

["描画した図形のプロパティ変更"](#) を参照してください。

## コメントを使用する

### コメントを参照

- コメントパネルを開くには、メニューより、表示 > ナビゲーションパネル > コメント、と操作します。



### コメントパネル

コメントパネルでは、以下のような機能が提供されています：

**すべてを展開** - すべてのコメントが展開されて表示されます。

**すべてを破棄** - すべてのコメントを閉じて格納します。

**次へ/前へ** - コメントの一覧を参照するとき、[次へ] ボタンをクリックすると次のコメントに移動し、[前へ] ボタンをクリックすると一つ前のコメントに移動します。この二つのボタンは、コメントが選択されていない時は使用できません。

**ソートキー** - コメントパネルのコメントは、作者名、ページ数、タイプ、作成日付によりソートできます。メッセージの返信など従属した情報がある場合には、先頭のコメントだけがソートの対象になります。そしてメッセージに従属する情報は、メッセージの中でソートされます。

- コメントはポップアップノート、またはマークアップアイコンの中に表示され、ポップアップノートを閉じている時は、ツールチップのように動作します。
- 多くの行のコメントを入力した場合、ポインタがポップアップノートの外に移動すると、コメントの一部だけが表示され、残りは...と表示されます。その後、メッセージボックスの内部をクリックすると、スクロールバーつきで全体を見ることが出来るようになります。

### ステータスの設定

ステータスの設定は、コメントを読んだかどうか、さらにアクションが求められているかどうかなど、足跡を残すのに非常に有効です。コメントは、受け入れる、拒絶する、キャンセルする、完了した等、状態を示す目的で使用でき、他のドキュメントにエクスポート

トすることもできます。

レビューのステータスを設定することで、いくつかのコメントを公開したり、非公開にすることができ、レビューの参加者にコメントをどのように扱う予定なのか等を知らせることができます。一度レビューのステータスが設定されると、どのような操作を行っても、履歴を削除する事はできません。

移行のステータスを設定することにより、コメントが他のドキュメントにエクスポートされたかどうか確認することができ、レビュー参加者に結果を知らせることができます。一度移行のステータスが設定されると、どのような操作を行っても、履歴を削除する事はできません。

コメントのステータスを変更する場合は以下の操作を行います：

- [手のひら] ツール、[注釈選択ツール]、または各コメントのツールを選択し、ステータスを変更するコメントを右クリックして、ポップアップメニューより、ステータスを設定 > レビュー、または移行を選択 > オプションの選択、と操作します。
- 履歴を参照する場合は：
  - A. マークアップを右クリックし、ポップアップメニューの [プロパティを開く...] を選択します。
  - B. プロパティダイアログで、[レビュー履歴] タブを選択し、レビューの履歴、移行の履歴を参照します。

## コメントへの応答

コメントへの返答は、参加者が相互にコメントを参照できるので、レビューを共有するのにとても有効です。返答はまた、レビューを開始した人が、各レビューアーの提案がどのように履行されたか知らせる場合にも使用できます。全ての返答はポップアップノートの中に表示され、オリジナルのコメントの下に一覧表示されます。レビューへの参加者は、タイトルとマークでそれぞれの返答を見ることが出来ます。

### 1. ポップアップノートの中で、オリジナルのコメントに応答する

- [手のひらツール]、[注釈選択ツール]、またはコメントに対応するツールを選択し、対象コメントのポップアップノートを開きます。次に、ポップアップノートの [オプション] メニューより [返信] を選択します。
- ポップアップノートの中のオリジナルのコメントを右クリックし、ポップアップメニューの [この注釈に返信] を選択します。または、PDFドキュメント上のコメントアイコンを右クリックし、ポップアップメニューの [返信] を選択します。
- 表示されたポップアップノートの中のテキストボックスに、返信を入力します。

### 2. 他のレビューアーのコメントに返信する

- [手のひらツール]、[注釈選択ツール]、またはコメントに対応するツールを選択し、対象コメントのポップアップノートを開きます。
- ポップアップノートの中の他のレビューアーのコメントを右クリックし、ポップアップメニューの [この注釈に返信] を選択します。

### 3. 返信を削除する

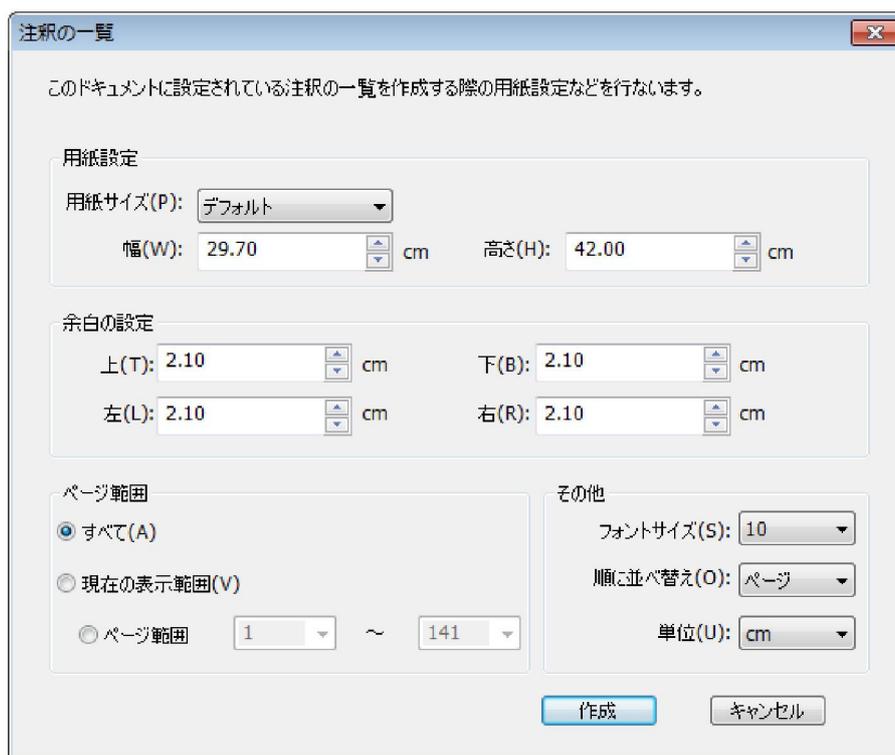
ポップアップノートの中で、削除するコメントを右クリックし、ポップアップメニューの [返信を削除] を選択します。

**ノート:** コメントアイコンを右クリックして [削除] を選択すると、マークアップは削除されますが、返信は削除されません。

### コメントを要約

コメントを要約することにより、PDFファイルに付けられたコメントを簡単にまとめることができます。注釈の一覧を作成し、それを新たなPDFファイルとして生成することが可能です。コメントを要約することで、ページ、作成者、作成日付によってソートできるなど、様々な要件を満たすことができます。また、注釈の一覧を作成する際用の用紙サイズ、余白、ページ範囲、フォントサイズなどの設定を行うことができます。

1. メニューより注釈 > コメントを要約、と操作します。
2. [注釈の一覧] ダイアログで以下の操作を行ってください：
  - [用紙のサイズ] からA4、A3などを選択してください。
  - [幅] と [高さ] を指定してください
  - [余白の設定] を行ってください。
  - [ページ範囲] を指定してください。
  - [フォントサイズ] を選択し、[順に並び替え] でソート方法を設定してください。
  - [単位] を選択してください。
3. [作成] をクリックしてダイアログボックスで保存先とファイル名を指定してください。注釈の一覧が新たなPDFドキュメントとして作成されます。



## コメントのインポートとエクスポート

["コメントデータのインポートとエクスポート"](#) を参照してください。

## 注釈を付けた PDF ドキュメントの送信

Foxit J-Readerを使用すると簡単にレビューを共有することができます。ユーザーは注釈を追加したPDFドキュメントを別のレビューアーに送り、内容の確認や返答を求めることができます。

注釈を追加したPDFドキュメントの送信方法は以下のとおりです：

- ツールバーの [保存] ボタン  をクリックし、全てのコメントを保存します。
- PDFファイルを閉じます。

PDF ファイルを再度オープンし、ツールバーの Email ボタン  をクリックします。

## 第六章 - フォーム

Foxit J-Readerはフォームへの入力やフォームのデザインをするのに非常に有効です。詳細は以下をお読みください。

### 概要

フォームファイルには2種類あります。ひとつは、入力可能なフィールドを持ったPDFファイルです。このファイルは、他の機能を使うことなく、フォーム上のフィールドを直接クリックして入力することが出来ます。このファイルは、インタラクティブPDFフォームと呼ばれています。

もう一方のファイルは、テキストと線だけで構成される簡略なPDFファイルで、情報を追加するにはFoxit J-Readerのタイプライター機能が必要です。このファイルはノンインタラクティブPDFフォームと呼ばれています。

フォームに関するナビゲーションやビューの調整は、一般のPDFと全く同じ方法で行います。

### インタラクティブフォーム

インタラクティブフォームを開くと、Foxit J-ReaderとPDFドキュメントの間に、ドキュメントメッセージバーが表示されます。メッセージバーを非表示にするには、右端のドロップダウンボタンをクリックし、[ドキュメントメッセージバーを隠す]を選択してください。

該当ドキュメントを再度開いた時にもドキュメントメッセージバーを表示したくない場合は、メニューより、ツール > 環境設定 > [フォーム] タブの [ドキュメントメッセージバーを常に隠す] オプションを選択、と操作してください。ドキュメントメッセージバーを表示する場合は、同じ操作を行います。



メッセージバーの左端は、通常このドキュメントが入力可能なフォームであることをユーザーに知らせます。メッセージバーの右端にはいくつかボタンがあります。

先頭のチェックボックスは [フィールドのハイライト表示] で、入力の必要なフィールドで何も設定されていないものがあると、そのフォームフィールドの背景と外枠をハイライト表示します。この結果一目で入力の必要な部分を確認できます。必要に応じてチェックの有無を選択します。

もうひとつのボタン  では、どのフィールドをハイライト表示にするか選択します。[すべてのフィールド] オプションを選択すると、全てのインタラクティブフィールドがハイライト表示になり、[すべてのフィールド] オプションを選択しない場合、任意のフィールドを選択してハイライト表示に出来ます。

## 参照

[“ \[フォーム\] タブに関する設定 ”](#)

## ノンインタラクティブフォーム

ドキュメントメッセージバーは表示されません。この種類のフォームは、テキストだけで構成されている通常のPDFドキュメントと同様の動作をし、情報を追加するにはタイプライター機能を使う必要があります。

## PDFフォームへの入力

Foxit J-Readerは、PDFフォームへの入力や印刷だけでなく、入力したフォームの保存や、フォームデータのインポート/エクスポートなど、高度なフォームの操作もサポートしています。

## インタラクティブフォームへの入力

PDFドキュメントにインタラクティブフォームフィールドがある場合、[手のひらツール]  を使用して入力します。ポインタをインタラクティブフォームフィールド上に移動した時、ポインタのアイコンが以下のいずれかに変わります：

- ポインティングフィンガー  -- ポインタがボタン、ラジオボタン、チェックボックス、またはリスト中のアイテム上にある場合。
- 矢印  -- オプションリストの中からアイテムを選択できる場合。
- アイビームアイコン  -- フォームフィールドにテキストを入力できる場合。

インタラクティブフォームに入力する場合は、以下のいずれかの操作を行います：

- 必要であれば、[手のひらツール]  を選択します。

- (オプション) フォームフィールドの存在をわかりやすくするため、ドキュメントメッセージバーの [ハイライトフィールド] オプションを選択してください。フォームフィールドの背景に色 (デフォルトは黄色) が付いて表示されます。
- 最初に入力するフィールドをクリックし、オプションの中から選択するか、ポインタが **I-beam**  になってタイプを開始できる位置にポインタを置きます。
- テキストフィールドを右クリックし、[貼り付け] を選択するか、または、別の操作を行うために [全て選択] を選択します。
- オプションの選択やテキストの入力が終わった後、以下のいずれかの操作を行います:
  - A. 該当フィールドの操作を終了し、次のフォームフィールドか、または前のフォームフィールドに移動するため、**Tab** または **Shift+ Tab** キーを押下します。
  - B. 上下の矢印キーを操作して、アイテムリストの中で前のオプションまたは次のオプションに移動します。
  - C. フォームへの入力データをリセットする場合は **Esc** キーを押下します。

**ノート:** 操作しているフィールドが 1 行のテキストボックスの場合、**Enter** キーを押下すると、タイピングを終了して該当フィールドの操作を終了します。テキストボックスの中で改行することは出来ません。一方、複数行入力可能なテキストボックスの場合、**Enter** キーを押下すると同じフィールドの中で改行します。また、チェックボックスを操作している場合、**Enter** を押下すると、チェックボックスのオンとオフを切替えます。

- フォームフィールドへの入力が終了すると、以下のいずれかの操作を行ってください:
  - A. [送信] ボタンがあれば、それをクリックします。この操作により、フォームのデータは、**web** 経由または会社のインターネットを経由してデータベースに送信されます。
  - B. ツールバーの [保存] ボタン  をクリックするか、メニューより、ファイル > 上書き保存、と操作します。
  - C. メニューより、ファイル > 名前を付けて保存... と操作し、ファイルの保存先を指定します。

**ノート:** フォームの作成者が **Foxit J-Reader** のユーザーに対して拡張した権限を与えている場合、[名前を付けて保存...] を行うと、フォームに入力した情報も保存されます。権限が与えられていない場合は、フォームの中がブランクの状態ですべて保存されます。

- フォームを印刷します。

#### 特定のフォームフィールドをクリアする

フォームフィールドをクリックし、**Backspace** キーまたは **Delete** キーを使用してク

リアします。

### すべてのフォームフィールドのエントリーをクリアする

メニューより、フォーム > フォームのリセット... と操作します。

### ブラウザの中のフォームのクリア

以下のいずれかの操作を行います：

- フォームのリセットボタンがあればそれを選択します。この操作は [取り消し] できません。
- ブラウザを終了し、再起動します。

**ノート:** web ブラウザの [リロード]、[リフレッシュ]、Back (戻る)、または Go Back (戻る) ボタンや、ほかのページへのリンクでは、完全にフォームのクリアができない可能性があります。

### 長いフィールドへの入力

PDF フォームにはダイナミックテキストフィールドを含む場合があります。ダイナミックテキストフィールドは、入力した文字の表示サイズを、テキストフィールドに収まるサイズに変更します。入力したテキストが多くなりカレントサイズで表示できなくなると、表示されるテキストのサイズはより小さくなります。

テキストの入力を終了し、該当フォームフィールドがアクティブでなくなった時、テキストフィールドはより小さなサイズで入力したテキスト全体を表示します。

### ノンインタラクティブフォームへの入力

PDF フォームにノンインタラクティブフォームフィールドがある場合、[タイプライターツール]  を使用して入力することができます。ポインタがノンインタラクティブフォームフィールド上に移動しても、ポインタのアイコンは変化しません。

ノンインタラクティブ PDF フォームは、[手のひらツール] を使用して印刷や入力を行います。または、ツールバーの [タイプライター]  をクリックするか、メニューより、注釈 > タイプライターツール > タイプライターツール、と操作して、フォームフィールドにテキストを入力し、入力が終了したら保存または印刷します。

[タイプライター] を使用してノンインタラクティブフォームに入力する場合や、入力し

たテキストのスペルチェックを行う場合は [“タイプライターを使用する”](#) を参照してください。

## フォームにコメントを追加する

PDF フォームにも他の PDF ドキュメント同様、コメントを追加することが出来ます。ただし、フォームの作成者がユーザーに権限を与えている場合に限りです。

PDF フォームに追加したコメントが送信データに含まれるかどうかは、送信する方法に依存します。例えば、Foxit J-Reader を利用して email や fax 用に印刷した場合は、コメントは出力結果には含まれず、完成した PDF として e-mail に添付する際にはコメントが含まれると言う具合です。また、コメントだけを取り出して e-mail に添付することも出来ます。

### 参照

[“第五章 - コメント”](#)

## フォームデータのインポートとエクスポート

[“フォームデータのインポートとエクスポート”](#) を参照してください。

## 第七章 - インポートとエクスポート

PDF のデータは FDF ファイルに対して、インポート、エクスポートすることが出来ます。FDF は、Forms Data Format の略で、インタラクティブフォームデータのためのファイル形式です。このファイル形式は、サーバーへの送信、サーバーからのレスポンスの受信、そしてインタラクティブフォームへの組み込みに使用されます。FDF ファイルは、フォームデータを独立した電子ファイルとして保存、伝送し、対応する PDF インタラクティブフォームへと再インポートするためにも使用できます。

また、FDF は PDF ドキュメントから注釈を抜き出し、別の PDF ドキュメントに適用するためのコンテナとして使用することも出来ます。

そして、PDF ドキュメントを他の人に送る際に、追加したコメントやフォームデータを見られたくない場合、この機能を使用して全てのデータをエクスポートし、フォームをクリアして送ることが出来ます。この方法では、PDF ドキュメントに後から付け加えたデータは全て削除することが出来ます。

インポート、エクスポート可能なデータには、コメントデータとフォームデータの 2 種類があります。コメントデータやフォームデータは、FDF ファイルにして顧客や友人などに送信することが出来ます。FDF は、PDF ドキュメントのあらゆるコンテンツを保存するだけでなく、各コンテンツの位置や状態を復元することが出来ます

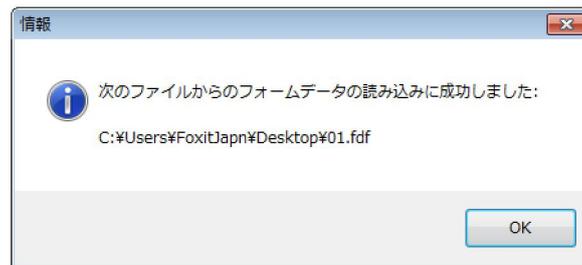
### コメントデータのインポートとエクスポート

この機能は、PDF ドキュメントのレビューに非常に有効です。PDF レビューへの参加依頼のメールを受け取った時、通常は PDF ファイルが添付されているか、または PDF の URL が提供されています。しかし、代わりに FDF ファイルを添付したメールを受け取るかも知れません。ファイルを開くと FDF はレビューの状態を設定しブラウザの中に PDF を開きます。このとき、FDF ファイルからコメントデータをインポートする方法を知っておく必要があります。また同様に、コメントをエクスポートして、FDF ファイルとして別のレビュー参加者に送信してもかまいません。

#### コメントデータのインポート

以下のいずれかの操作を行います:

- Foxit J-Reader で直接 FDF ファイルを開くため、FDF ファイルをダブルクリックします。
- メニューより、フォーム > フォームデータの取り込み... と操作します。次に、[ファイルを開く] ダイアログで対象の FDF ファイルを探し、選択して [開く] ボタンをクリックします。インポートが終了すると、以下のようなメッセージが開き、コメントが正しくインポートされたことが確認できます。



## コメントデータのエクスポート

コメントデータをエクスポートするには、以下のいずれかの操作を行ってください：

- FDF ファイルとしてエクスポート
  - A. メニューより、注釈 > 注釈の書き出し > フォームデータファイル (FDF) として書き出し…、と操作します。
  - B. **Windows** 標準の、[名前を付けて保存] ダイアログが開きますので、**FDF** ファイルを保存する場所 (例えば、マイドキュメント等) を選び、ファイル名を入力して、[保存] ボタンをクリックします。
  - C. データのエクスポートに成功したという内容のメッセージが開きます。
- エクスポートして **e-mail** で送信
  - A. メニューより、注釈 > 注釈の書き出し > メールアドレス…、と操作します。
  - B. デフォルトの**e-mail**プログラムが起動し、**FDF**ファイルとしてエクスポートされたコメントデータが自動的にメールに添付されます。
  - C. 送信先の**e-mail**アドレスとタイトルを入力しメールを送信します。
  - D. コメントデータだけが**FDF**ファイルとして送信されます。

**ノート:** メニューバーの、注釈 > 注釈の書き出し、の中の [フォームデータファイル (FDF) として書き出し...]、および [メールアドレス...] が有効になるのは、PDF ドキュメントにコメントが付加されている場合だけです。

## フォームデータのインポートとエクスポート

フォームデータをインポート、エクスポートする方法は、コメントのインポート、エクスポートと似ています。しかしながら、この機能は **PDF** インタラクティブフォームだけの機能です。インポート、エクスポートのための全てのオプションは、一般的な **PDF** ドキュメントやノンインタラクティブフォームを開いている場合には無効になります。

フォームデータのインポートとエクスポートの方法は、["コメントデータのインポートとエクスポート"](#) を参照してください。

## 第八章 – PDF の編集

Foxit J-Reader は PDF ドキュメントに対する先進的な編集機能をいくつか備えています。PDF のページを直接編集できるだけでなく、しおりの作成、リンクの追加、ファイルの添付、イメージの追加、マルチメディアの追加や再生、および JavaScript の実行などを、PDF ファイルで行うことができます。

### しおりの作成

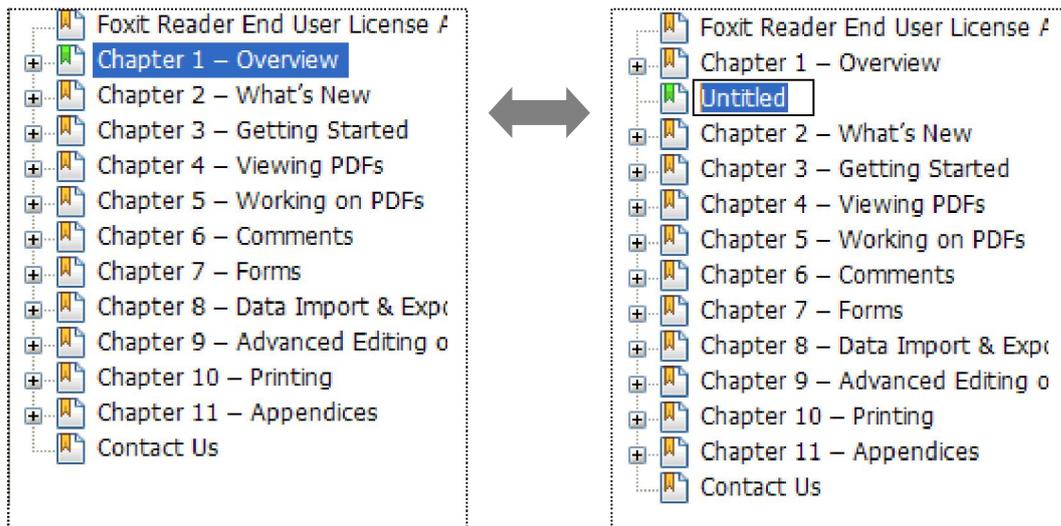
しおりは、PDF ドキュメントを読みやすくするためのナビゲーションツールです。しおりは通常、PDF ドキュメント生成時に自動的に作成されます。PDF ドキュメントのしおりは、ドキュメント内の特定の場所との双方向のリンクを提供しており、ユーザーは開きたいページのしおりをクリックするだけで、そのページを参照することができます。

しおりは、PDF ドキュメントの中の繰り返し参照したい場所にマークを付けるのに非常に有効な方法です。また Foxit J-Reader のしおり機能を使用すると、ユーザー独自のしおり構造やしおり名を作成することができます。

Foxit J-Reader を使用すると、セキュリティの設定が許していれば、PDF ドキュメント内のしおりのネスト、編集、削除などを簡単に行うことができます。

### しおりの追加

1. しおりからリンクしたいページを表示します。このとき、ズームインやズームアウトなど、ページの調整を設定することも可能で、しおりからジャンプする際に、設定した表示倍率等、調整後の状態に変更されます。
2. しおりを作成する際には、[手のひらツール]  を選択します：
  - 特定のページの任意の部分にしおりを設定する場合、しおりの対象の部分をウィンドウのトップに移動し、必要により画面の倍率等を調整します。
  - 選択した任意のテキストに対してしおりを設定する場合は、テキスト選択ツール  を使用し、しおりの対象とするテキスト上をドラッグします。選択したテキストが新しいしおりのラベルになりますので、必要に応じてしおりのラベルを変更します。
3. 新しいしおりを追加する位置の上のしおりを選択します。既存のしおりを選択しないで新しいしおりを追加すると、追加されたしおりはリストの最後に表示されます。



4. しおりパネルにあるしおりの追加アイコンをクリックするか、または、選択したしおり上で右クリックし、ポップアップメニューの [しおりの追加] を選択してください。
5. 追加したしおりの名称を編集して **Enter** キーを押します。

### しおりの移動

移動したいしおりを選択し、以下のいずれかの操作を行います：

- 選択したしおりのアイコンをドラッグし、移動先でドロップします。このとき、表示されたライント...でしおりの移動先を確認してください。上のしおりと同じ階層に移動することも、上のしおりの一つ下の階層に移動することも出来ます。
- 移動するしおりのアイコン上で右クリックし、ポップアップメニューの [切り取り] を選択します。次に、移動先の上のしおりを右クリックし、ポップアップメニューの [選択したしおりの後ろに貼付け] を選択すると、その下に移動されます。

ノート： しおりを移動した場合、しおりのリンク先は変わらず、しおりだけが移動されます。

### しおりの構造を編集

しおりの階層構造は全体の概要、もしくはあるしおりを別のしおりの下に配置している階層状の構造と言えます。これが、PDF ファイル中のしおりの全体像を表示する効果的な方法です。Foxit J-Reader では、しおりパネルの中のしおりアイコンをドラッグ&ドロップすることにより、多階層のしおりを定義することが出来ます。

### しおりのネスト

ネストしたいしおりを選択し、以下のいずれかの操作を行います：

- 選択したしおりのアイコンをドラッグし、親となるしおりの下でドロップします。このとき、ラインアイコンで移動先を確認してください。ドロップする位置により、上のしおりと同じ階層に移動することもありますので注意してください。
- しおりのアイコン上で右クリックし、ポップアップメニューの [切り取り] を選択します。次に、親となるしおりの上で右クリックし、ポップアップメニューの [選択したしおりの下の階層に貼付け] を選択します。このとき [選択したしおりの後ろに貼付け] を選択すると、上のしおりは親の階層とならず、同じ階層となります。

ノート：しおりのリンク先は変わらず、しおりだけが移動され、ネストした状態になります。

#### しおりをネストした位置から移動する

移動したいしおりを選択して以下のいずれかの操作を行います：

- 移動するしおりのアイコンをドラッグし、親のしおりの隣でドロップします。このときラインアイコンで、移動先の位置を確認してください。
- 移動するしおりのアイコン上で右クリックし、ポップアップメニューの [切り取り] を選択します。次に、親のしおりの上で右クリックし、ポップアップメニューの [選択したしおりの後ろに貼付け] を選択します。

ノート：しおりのリンク先は変わらず、しおりの位置が移動されます。

#### しおりの展開と折りたたみ

- しおりアイコンの隣にあるプラスサイン(+)をクリックすると子階層のしおりが全て表示されます。マイナスサイン(-)をクリックすると、しおりのリストを折りたたみます。
- PDF ドキュメントの開いているページに対するしおりを選択するには、ブックマークパネルの上部にある [ブックマークを拡張] ボタンをクリックします。

参照：["カレントのしおりを展開する"](#)

#### しおりの編集

Foxit J-Reader では、セキュリティの設定で許されていれば、しおりの編集、変更、

移動を簡単に行えます。

### しおりのリネーム

しおりパネルの中の、リネームしたいしおりの上で右クリックします。次に、ポップアップメニューの [名前の変更] を選択し、新しい名前を入力します。

### しおりのリンク先変更

以下の操作を行います：

- PDF ドキュメントの中で、新しくしおりのリンク先に設定したい場所に移動します。
- (オプション) 必要に応じてドキュメント部分の拡大や縮小を設定します。
- しおりを右クリックし、ポップアップメニューの [移動先に設定] を選択します。

### しおりのフォントスタイルを変更する

しおりを設定した文字を読みやすくするため、フォントスタイルやフォントカラーを変更することが出来ます。

- しおりパネルの中で、フォントスタイルを変更するしお리를選び、右クリックして、ポップアップメニューの [プロパティ] を選択します。
- プロパティダイアログの中で、[表示方法] タブをクリックし、フォントスタイルとフォントカラーを選択します。

**ノート:** しおりのフォントスタイルを変更した後、そのしおりを右クリックし、ポップアップメニューから [現在の表示方法をデフォルトとして使用] を選択することにより、変更後の内容をしおりのデフォルト値に設定することが出来ます。

### しおりにアクションを追加

しおりはアクションを実行することも出来ます。例えば、ファイルを開く、メニューアイテムの実行、フォームを送信する等です。

1. しおりを右クリックし、ポップアップメニューの [プロパティ] を選択します。
  2. しおりのプロパティダイアログの中で、[アクション] タブをクリックします。
  3. [アクションを選択] コンボボックスのドロップダウンリストを開き、アクションを選択して [追加] ボタンをクリックします。その後以下の操作を行います：
- アクションを選択 - [ページビューに移動]、[ファイルを開く]、[Web リンクを開く]、[フィールドを表示/非表示]、[メニュー項目の実行]、[フォームを送信]、[フ

ホームをリセット]、[フォームデータを取り込む]、そして [Java スクリプトを実行]の中から、イベント発生時のアクションを選択します。

A. ページビューに移動 - 特定のページにジャンプします。カレント PDF のページだけでなく、別の PDF のページも指定できます。また、カレントのズーム設定の変更や、位置の指定もできます。特定のページへのジャンプを設定するには、[ページビューに移動] オプションを選択して [追加] ボタンをクリックし、以下のいずれかの操作を行います：

◇ カレントドキュメントでの位置の設定 - ドキュメントをスクロールして、ジャンプ先として設定したい位置に移動します。そして、表示されている [ページビューに移動] ダイアログの [リンクを設定] ボタンをクリックします。

◇ 別の PDF ドキュメントでの位置の設定 - ツールバーで [開く] ボタン  をクリック > ジャンプ先に設定する PDF を選択 > ジャンプ席に設定するページまでスクロールし、ページ内のポジションを決定 > 表示されている [ページビューに移動] ダイアログの [リンクを設定] ボタンをクリックします。

ノート：新しい PDF ドキュメントは、別の window ではなく、現在の window の中を開きます。

◇ ビューの拡大率を変更する -- カレントドキュメントまたは別のドキュメントをスクロールし > ジャンプ先に設定する位置に移動 > 移動先で拡大率を変更 > 表示されている [ページビューに移動] ダイアログの [リンクを設定] ボタンをクリックします。

◇ 操作を無効にするには、[ページビューに移動] ダイアログの [キャンセル] ボタンをクリックします。

B. ファイルを開く - 別のファイルのオープンを設定します。この設定は、以下の操作で行います：

◇ [アクションを選択] ドロップダウンリストで [ファイルを開く] を選択 > [追加...] ボタンをクリック > [起動するファイルの選択] ダイアログでファイルを選択し [OK] をクリック、と操作します。

C. Web リンクを開く - web リンクのオープンを設定します。操作は以下の通りです：

◇ [アクションを選択] ドロップダウンリストで [web リンクを開く] を選択 > [追加...] ボタンをクリック > [URL の編集] ダイアログで設定する web サイトの URL を入力し [OK] ボタンをクリックします。

D. フィールドを表示/非表示 - [アクションを選択] ドロップダウンリストで [フィールドを表示/非表示] を選択 > [追加...] ボタンをクリック > [フィールド

の表示/非表示] ダイアログで対象のフィールドと [表示] または [非表示] を選択して [OK] ボタンをクリック、と操作します。

- E. メニュー項目の実行 – [アクションを選択] ドロップダウンリストで [メニュー項目の実行] を選択 > [追加...] ボタンをクリック > [メニュー項目を選択] ダイアログで実行するメニュー項目を選び [OK] ボタンをクリック、と操作します。
- F. フォームを送信 – [アクションを選択] ドロップダウンリストで [フォームを送信] を選択 > [追加...] ボタンをクリック > [フォームを送信] ダイアログで、送信方法、送信先および送信内容を設定して [OK] ボタンをクリック、と操作します。
- G. フォームをリセット – [アクションを選択] ドロップダウンリストで [フォームをリセット] を選択 > [追加...] ボタンをクリック > [フォームをリセット] ダイアログでリセットするフィールドを選択して [OK] ボタンをクリック、と操作します。
- H. フォームデータを取り込む – [アクションを選択] ドロップダウンリストで [フォームデータを取り込む] を選択 > [追加...] ボタンをクリック > [ファイルを開く] ダイアログでインポートする FDF ファイルを選択して [開く] ボタンをクリック、と操作します。
- I. Java スクリプトを実行 – [アクションを選択] ドロップダウンリストで [JavaScript スクリプトを実行] を選択 > [追加...] ボタンをクリック > [JavaScript の編集] ダイアログで JavaScript を入力して [OK] ボタンをクリック、と操作します。

- アクション – 設定したトリガーとアクションが表示されます。
- [上へ] ボタン、[下へ] ボタン – トリガーの下に表示されているアクションの順序を変更します。(一つのトリガーに対して複数のアクションを設定している場合だけ有効になります)
- [編集] ボタン – 選択したアクションのオプションを設定するダイアログが開きます。[アクション] リスト内のアクション名をダブルクリックしても、同じダイアログが開きます。
- [削除] ボタン – 選択したアクションを削除します。

## しおりの削除

しおりを削除するには、以下の操作のいずれかを行ってください:

- 削除したいしお리를 選択し、しおりパネルの上にある [削除] ボタン  をクリックします。
- 削除したいしおり上で右クリックし、ポップアップメニューの [削除] を選択します。

ノート: しおりを削除すると、下位のしおりも削除されます。

## リンクの追加

[四角形リンク] と [四辺形リンク] の二種類を使用して、PDF ファイルの特定のページ、名前の付いている場所、外部のファイル、そして web サイト等へのリンクを設定することができます。また、リンクを設定する際、境界の太さ、境界のスタイル、境界の色等、表示方法を変更することも出来ます。この機能は、読み手を関連する記事や、参照先、または外部の web ページに導く手助けとなります。Foxit J-Reader には [四角形リンク]  と、[四辺形リンク]  の二つがあります。

### 四角形リンクの追加

四角形リンクは、PDF 中にある図形の長方形にリンクを追加します。

四角形リンクを追加するには、以下の操作を行ってください：

- ツールバーの [四角形リンク]  をクリックするか、またはメニューより、編集 > リンク > 長方形リンクツール、と操作します。
- リンクを追加する位置にカーソルを移動し、ホールドしてドラッグし、四角形を描きます。

**ヒント:** Shift キーを押下しながらマウスボタンのホールド、ドラッグを行うと、正方形を描くことが出来ます。

- [リンクの作成] ダイアログが開きますので、ダイアログの中の [リンクの表示方法] と [リンクアクション] の内容を設定します。

#### ➤ 表示方法

- A. 枠線の太さ - 四角形の四つの辺の太さを表します。値が大きくなるほど辺は太くなります。0 から 12 までの範囲で指定可能で、デフォルト値は 1 です。
- B. 境界線のスタイル - 四角形の境界のスタイルを表します。以下の三つのタイプのスタイルがあります：

**実線:** 実線でくぼみはありません。

**破線:** 境界は破線で描かれます。

**下線:** 下線部分以外は見えません。



実線



破線



下線

### 境界線のスタイル

- C. ハイライト - 四角形のリンクをクリックした時の効果です。以下の 4 種類の効果があります：

なし：リンクの外観は変わりません。

反転：リンクの色が反対色になります。

アウトライン：リンクの枠の色が反対色になります。

切り込み：四角形を浮き上がらせて表示します。



なし



反転



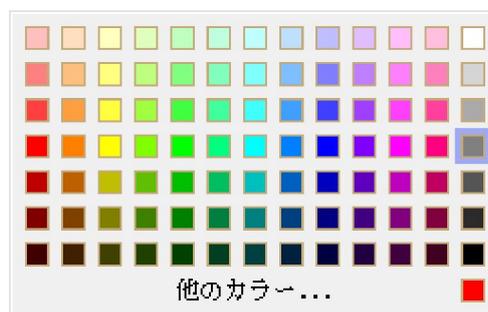
アウトライン



切り込み

### ハイライト

- D. 色 - 四角形の境界線の色を表します。色のボタンをクリックして既存の色を選択するか、または [他のカラー...] をクリックして任意の色を作成します。デフォルトの色は赤です。



### 色の選択

#### ➤ リンクアクション

リンク先はあらゆる場所に設定できます。例えば、web ページ、ファイル等です。ここでは 4 つの選択肢があります：

- A. ページビューに移動 - 特定のページへのリンクを示します。開いている PDF のページだけでなく、別の PDF のページへのリンクも設定できます。また、ズームの設定やポジションを変えることも出来ます。

ページにリンクするには、このオプションを選択し、[リンクの作成] ダイアログの [次へ...] ボタンをクリックして、以下のいずれかの操作を行います：

- ☆ カレントドキュメント内でリンク先を設定 - ドキュメントをスクロールして、リンクを設定する場所に移動し、[ページビューに移動] ダイアログの [リンクを設定] ボタンをクリックします。
- ☆ 別の PDF ドキュメントのページをリンク先に設定 - ツールバーの [開く] ボタン  をクリックし、リンク先に設定したい PDF ドキュメントを選択して、開いた PDF ドキュメントを目的の位置までスクロールします。次に、[ページビューに移動] ダイアログの [リンクを設定] ボタンをクリックします。

**ノート：**新しく開く PDF ドキュメントは、同じウィンドウ内に開く必要があります。別のウィンドウで開いてはいけません。

- ☆ ビューの表示倍率変更 -- カレントドキュメント、または別のドキュメント内でクローラ > リンク先に設定する位置に移動 > 移動した位置で表示倍率を変更 > [ページビューに移動] ダイアログの [リンクを設定] ボタンをクリック、と操作します。
- ☆ [ページビューに移動] ダイアログの [キャンセル] をクリックして、操作を中止します。

**B. 移動先に移動** - カレントドキュメントの作成者が名前を付けた位置にリンクを設定します。

名前の付いた位置に移動するには、このオプションを選択し、[リンクの作成] ダイアログの [次へ...] ボタンをクリックします。次に、ポップアップしたリストの中から目的の位置を選択して **OK** をクリックします。

**ノート：**ドキュメントの作成者が名前の付いた場所を作成していないと『この PDF 文書には、名前付きの移動先が存在しません...』、というメッセージが開きます。

**C. ファイルを開く** - リンクに関連付けて他のファイルを開きます。この設定は、以下の操作で行ってください：

- ☆ [リンクの作成] ダイアログの [ファイルを開く] を選択 > [次へ...] ボタンをクリック > [ファイルを開く] ダイアログで設定するファイルを選択し [開く] ボタンをクリック、と操作します。

**D. Web ページを開く** - web ページのオープンに関連付けます。以下の手順で行います：

- ☆ [リンクの作成] ダイアログの [web ページを開く] を選択 > [次へ...] ボタンをクリック > [URL の編集] ダイアログで、オープンする web ページの URL

を入力するか、ドロップダウンリストを開き、以前オープンした web ページのリストから URL を選択、と操作します。

E. その他アクション (アクションプロパティページを使用) - リンクにアクションを追加します。詳細情報は ["しおりにアクションを追加"](#) を参照してください。

## 四辺形リンクの追加

四辺形リンクは、PDF ドキュメントの中に四角形か三角形の図形のリンクを作成することができます。

四辺形リンクを作成するには、以下の操作を行ってください：

- ツールバーで、[四辺形リンク]  をクリックするか、またはメニューより、編集 > リンク > 四辺形リンクツール、と操作します。
- リンクを追加したい場所にカーソルを移動 > 四角形の最初の点をクリック > カーソルの移動とクリックを繰り返して四角形を作成 > 四つ目の点か、または最初の点をクリック、と操作します。
- ["四角形リンクの追加"](#) を参照してください。

## リンクの移動とリサイズ

作成したリンクは移動やリサイズが可能です。

- いずれかのリンクツールかまたは、[注釈選択ツール]  を選択します。次に、リンクをクリックして選択します。
- 以下のいずれかの操作を行います：
  - A. 目的の場所までリンクをドラッグして移動します。
  - B. リンクの周囲に表示されているハンドルをドラッグしてリサイズします。

## リンクの削除

- いずれかのリンクツールかまたは、[注釈選択ツール]  を選択し、ポインタをリンクの上に移動します。
- 削除するリンクを選択します。
- Delete キーを押下します。

## ファイルの添付

PDF ファイルやその他のタイプのファイルを PDF に添付することが出来ます。ファイルを添付した PDF ファイルを別の場所に移動すると、添付ファイルも一緒に移動します。また、添付ファイルは親ドキュメントからのリンクや親ドキュメントへのリンク、そして別の添付ファイルを含むこともあります。

ファイルの添付には二つの方法があります：一つはコメントとしてファイルを添付する方法で、もうひとつはファイルの添付です。コメントとしてファイルを添付すると、デフォルトの設定では、ファイル添付アイコン  としてページ上に表示されます。そして、ファイル添付アイコンをクリックするまで、添付ファイルは見えなくなります。

### コメントとしてファイルを追加

以下のように操作します：

- ツールバーの [ファイルをコメントとして添付]  をクリックするか、またはメニューより、注釈 > ファイルを注釈として添付、と操作します。
- コメントとしてファイルを添付する場所にポインタを移動して、選択した場所をクリックします。
- [ファイルを開く] ダイアログで添付するファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。

ノート： EXE ファイルなど特定の形式のファイルを添付しようとする時、Foxit J-Reader はセキュリティ上の問題によりファイルの添付が拒否されたことを示すメッセージを開きます。

- 指定した場所に、ファイル添付アイコン  が表示されます。

### コメントとして添付したファイルの操作

添付ファイルに対しては、ファイルを開く、説明を加える、そして移動や削除などの操作を行うことが出来ます。

#### 添付ファイルを開く

ツールバーで [手のひらツール] 、[注釈選択ツール] 、または [ファイルをコ

メントとして添付] ボタン  を選択し、以下の操作を行います:

- ファイル添付アイコン  をダブルクリックします。
- [添付ファイルを開く] ダイアログで、三つのオプションのいずれかを選択して OK をクリックします。



#### [添付ファイルを開く] ダイアログ

- 添付ファイルを開く - 該当添付ファイルを開きます。また次回以降、ファイル添付アイコンがダブルクリックされたとき常にこのダイアログを開きます。
- この種類のファイルを常に開く - 該当添付ファイルを開きます。また次回以降、ファイル添付アイコンがダブルクリックされたとき、同じ種類の添付ファイルであれば、ダイアログを表示せず自動的に開きます。
- この種類の添付ファイルを常に開かない - このタイプの添付ファイルのオープンが禁止されます。ファイル添付アイコンをダブルクリックした時、添付ファイルが同じタイプであればオープンせず、『セキュリティ上の問題により添付ファイルを開けない』というメッセージを開きます。

- PDF を保存します。

#### ファイル添付アイコンを移動する

ツールバーで [手のひらツール] 、[注釈選択ツール] 、または [コメントとしてファイルを添付]  ボタンを選択し、ファイル添付アイコンをクリックして移動先までドラッグします。

#### 添付されたコメントを削除する

ツールバーで [手のひらツール] 、[注釈選択ツール] 、または [コメントとしてファイルを添付]  ボタンを選択し、以下のいずれかの操作を行います：

- ファイル添付アイコン  を右クリックし、ポップアップメニューの [削除] を選択します。
- ファイル添付アイコンをクリックして選択し、**Delete** キーを押下します。

### 添付コメントの別のオプション

添付コメントに対しても他のコメントと同じように、[ステータスを設定]、[チェックマークを付ける]、[ポップアップノートを開く]、説明の追加、[返信]、そしてアイコンの変更等を行うことが出来ます。各操作については ["第五章 - コメント"](#) を参照してください。

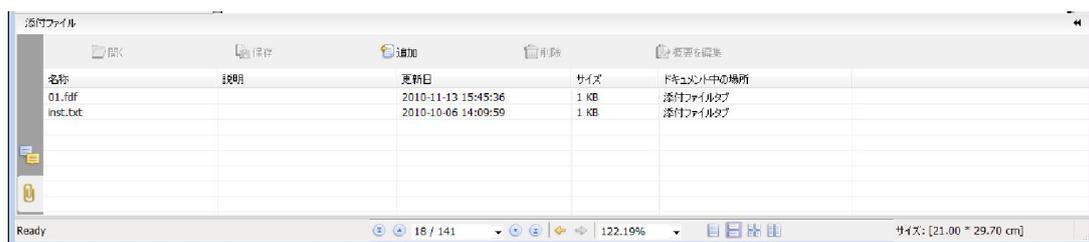
### ファイルの追加

以下のとおり操作します：

- ツールバーの [ファイル添付] ボタン  をクリックするか、メニューより、編集 > ファイルを添付、と操作します。
- [添付ファイル] ダイアログの中で、[追加] ボタン  をクリック > [開く] ダイアログで添付するファイルを選択して [開く] ボタンをクリック > [添付ファイル] ダイアログの右上にある [閉じる] ボタン  をクリック、と操作します。
- PDF を保存します。

### 添付ファイルの操作

添付ファイルに対して、開く、保存、削除、そして設定の変更を行うことが出来ます。



添付ファイルパネル

添付ファイルパネルのなかには以下のようなオプションがあります：

- 開く - 選択した添付ファイルを開きます。
- 保存 - 選択した添付ファイルを新しいファイルとして保存します。
- 追加 - 開いている PDF ファイルに添付ファイルを追加します。
- 削除 - 選択した添付ファイルを削除します。
- 概要を編集 - 選択した添付ファイルの説明を編集します。

### 添付ファイルを開く

- ツールバーの [ファイル添付] ボタン  をクリックするか、またはメニューより、編集 > ファイルを添付、と操作します。
- 添付ファイルの一つを選択して > [開く] ボタン  をクリックします。

ノート: 一度に一つの添付ファイルが選択可能です。

### 添付ファイルの保存

このオプションを使用すると、添付ファイルを別のファイルとして保存できます。

- ツールバーの [ファイル添付] ボタン  を選択するか、またはメニューより、編集 > ファイルを添付、と操作します。
- 添付ファイルの一つを選んで [保存] ボタン  をクリックします。
- ファイル名を入力して [保存] ボタンをクリックします。

### 添付ファイルを削除する

- ツールバーの [ファイル添付] ボタン  をクリックするか、またはメニューより、編集 > ファイルを添付、と操作します。
- [添付ファイル] ダイアログの中で、添付ファイルの一つを選択し、[削除] ボタン  をクリックします。

## イメージの追加

PDF ドキュメントのどの位置にでも四角形を作成しイメージを挿入することができます。この機能は、ダイナミックに説明を追加する場合や、何か補足する情報を表示する場合に有効です。

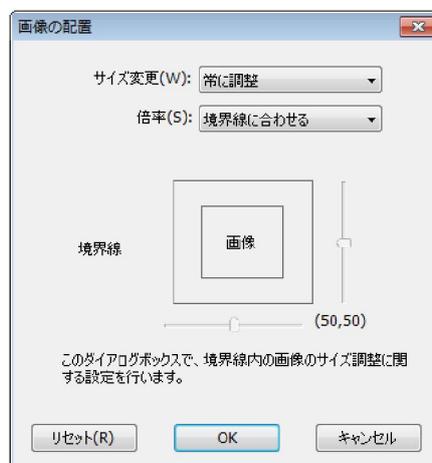
例えば、読んでいるセクションの記事に何か説明が必要なケースで、イメージの追加が最適な方法と考えた場合などです。イメージの追加は **Foxit J-Reader** のイメージツールで行います。

### イメージの追加

PDF へのイメージの追加は [イメージツール] で行います。PDF ドキュメントにイメージを挿入した後、サイズや位置の調整、外観やその他設定の変更を行うことができます。

イメージの追加は以下の操作で行ってください:

- ツールバーで [イメージツール] を選択するか、またはメニューより、編集 > 画像を追加、と操作します。
- ドラッグして四角形を作成し、イメージを追加するキャンバスを作成します。
- [画像の追加] ダイアログで [参照] ボタンをクリックし、挿入するイメージを選択して OK ボタンをクリックします。[場所] フィールドには画像の URL が表示されません。
- (オプション) 間違ったイメージを選択した場合は、[参照] ボタンを再度クリックし、正しいイメージを選択します。
- [高度] ボタンをクリックして、イメージの設定を編集します。



画像の配置ダイアログ

- A. サイズ変更 - イメージサイズの変更方法を、以下の 4 つのオプションから選択します:

**常に調整:** イメージの追加時に描いた四角形にフィットするサイズに設定します。  
**大きすぎる場合:** イメージのサイズが四角形の枠に比べて大きい場合は、枠にフィットするように縮小し、それ以外の時はオリジナルのサイズで表示します。  
**小さすぎる場合:** イメージのサイズが四角形の枠に比べて小さい場合は、枠にフィットするように拡大し、それ以外の時はオリジナルのサイズで表示します。  
**調整しない:** イメージのサイズは変更せず、常にオリジナルのサイズで表示します。

- B. 倍率 - [境界線に合わせる]、または [元の縦横比を保つ] から選択します。このオプションは、[サイズ変更] で、[調整しない] を選択した場合には無効です。  
**境界線に合わせる:** 四角形のサイズが変わった時、四角形にフィットするようにサイズを変更します。  
**元の縦横比を保つ:** 四角形のサイズが変わった時、イメージの縦横の比率を維持しながらサイズを変更します。

- C. 境界線に合わせる - このオプションを選択すると、境界線の太さを考慮せず、イメージを四角形の大きさにフィットさせます。  
D. 境界線 - ドラッグしてスクロールバーを移動します。この操作で、四角形の中のイメージの位置を変更します。スクロールバーの操作に伴い、ダイアログ中央のプレビューが変化します。このオプションは、[倍率] で [元の縦横比を保つ] を選択している場合だけ有効です。

- [画像の配置] ダイアログの [OK] ボタンをクリックし、変更結果を確認します。またここで [リセット] ボタンをクリックして、オリジナルの設定に戻すことも出来ます。
- [回転] のオプションを一つ選択し、イメージの回転角を設定します。
- [OK] ボタンをクリックします。

## イメージの移動とリサイズ

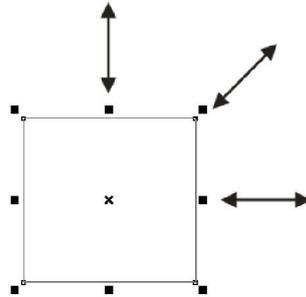
イメージを挿入した後、移動やリサイズが出来ます。

### イメージの移動

- ツールバーで、[注釈選択ツール]  を選択するか、または [イメージツール]  を選択し、ポインタをイメージの上に移動します。
- イメージをクリックして任意の位置にドラッグします。

### イメージのリサイズ

- ツールバーで、[注釈選択ツール]  を選択するか、または [イメージツール]  を選択し、ポインタをイメージの上に移動してイメージをクリックします。
- カーソルをいずれかのポイント上に置くと、カーソルの形がリサイズ可能な方向を示す矢印に変わります。



イメージのリサイズ

- カーソルを四角形の外に向けてドラッグすると、四角形は大きくなり、内側に向けてドラッグすると四角形は小さくなります。

### イメージのプロパティ設定

- イメージをダブルクリックするか、または右クリックしてポップアップメニューの [プロパティを開く...] を選択します。
- [マルチメディアのプロパティ] ダイアログの [設定] タブについては [“イメージの追加”](#) を参照してください。
- [表示方法] タブについては以下のいずれかの操作を行ってください：

A. 注釈を画面から隠す - このオプションを選択すると、挿入したイメージを隠します。また、選択しない状態にすると PDF コンテンツ上にイメージが現れます。

B. 境界線 - 四角形の境界線のタイプ、幅、スタイル、そして色を変更します。

**幅:** 境界線の太さを設定します。選択肢には [細]、[標準]、[太]、および [なし] があり、[なし] を選択すると、[スタイル]、および [色] は設定できません。

**スタイル:** 境界線の種類を設定します。選択肢は [実線] と [点線] があります。

**色:** 境界線の色を変更します。[色] ボタンをクリックし、既存の色から選択するか、または [その他の色] をクリックして色を作成します。

- (オプション) [ロック] を選択すると、設定した内容が誤って変更されるのを防ぎます。

## イメージの削除

- ツールバーで、[注釈選択ツール]  を選択するか、または [イメージツール]  を選択し、ポインタをイメージの上に移動してイメージをクリックします。
- **Delete** キーを押下するか、またはイメージを右クリックし、ポップアップメニューの [削除] を選択します。

## 複数のイメージに対する操作

### 複数のイメージを選択

- ツールバーで、[注釈選択ツール]  を選択するか、または [イメージツール]  を選択します。
- **Shift** キー、または **Ctrl** キーを押しながら、選択するイメージをクリックします。

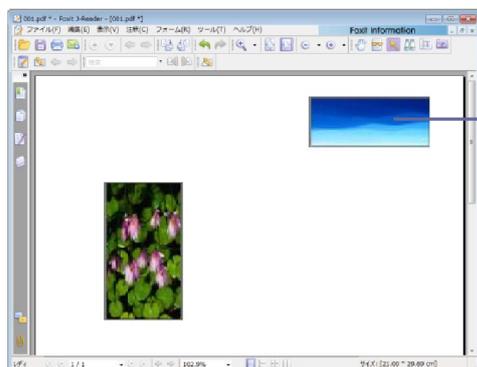
### イメージの整列

選択したイメージを左、右、上、または下の各境界、または垂直軸、水平軸を基準として整列することが出来ます。一つのイメージをアンカーイメージとして選択し、残りのイメージはアンカーイメージの左端、右端、垂直方向の中心、もしくは上端、下端、水平方向の中心を基準として整列させます。

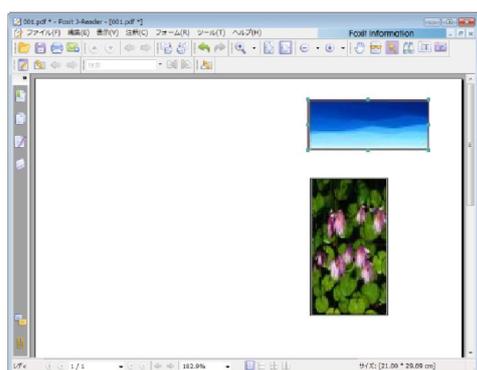
- 整列するイメージを **2** 個以上選択します。
- アンカーイメージを右クリックし、ポップアップメニューを以下のように選択します：
  - A. 垂直方向に整列するには、ポップアップメニューより、整列 > [左揃え]、[右揃え]、または [垂直] を選択します。[左揃え]、または [右揃え] の場合、イメージの左端、またはイメージの右端を基準に垂直方向に整列されます。[垂直] を選択した場合、イメージの中心線が、垂直軸上の同じ位置に移動します。
  - B. 水平方向に整列するには、ポップアップメニューより、整列 > [上揃え]、[下揃え]、または [水平] を選択します。[上揃え]、または [下揃え] の場合、イメージの上端、またはイメージの下端を基準に水平方向に整列されます。[水平] を選択した場合、イメージの中心が水平軸上の同じ位置に移動します。

**ノート:** 選択したイメージを右クリック、もしくは **Ctrl+クリック** した時、赤くハイライト表示されますが、これはアンカーイメージを示しています。整列コマンドは、アンカーイメージ以外のイメージを、アンカーイメージの端に合わせて整列するよう移動します。

整列の例:



**A.** **A** をアンカーイメージに設定  
するとします。

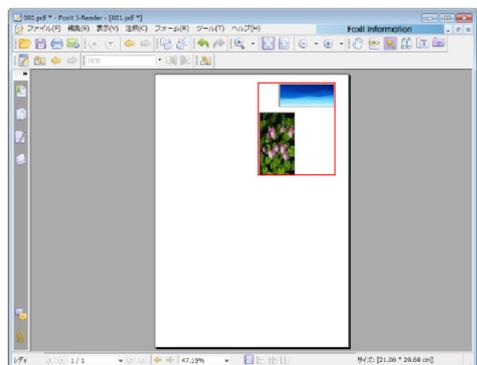


**B.** 二つのイメージを選択 > イメージ **A**  
を右クリックしポップアップメニューの  
「整列」を選択 > 「左」を選択、と操作  
します。  
**A** 以外のイメージが、**A** の左端に移動した  
ことが確認できます。

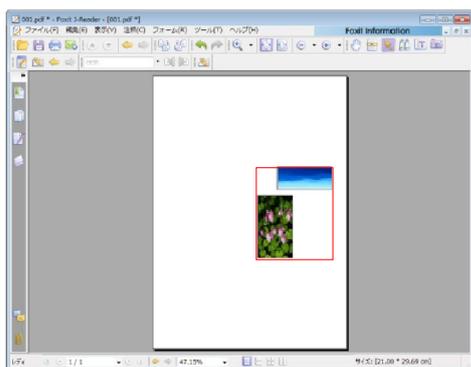
イメージのセンタリング

この機能は、水平方向、垂直方向、または両方の方向に向かって選択されたイメージで  
囲まれた四角形をセンタリングします。

センタリングの例:



**A.** 二つのイメージを選択します。  
これらのイメージが四角形を構  
成していることがわかります。



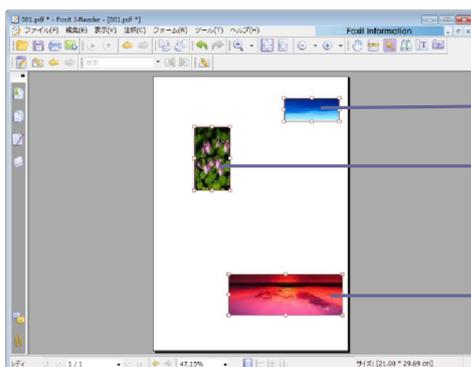
- B.** イメージ上で右クリック > ポップアップメニューの [中心] を選択 > [垂直] を選択、と操作します。四角形が垂直方向の中心に位置付きます。

### イメージを等間隔に配置

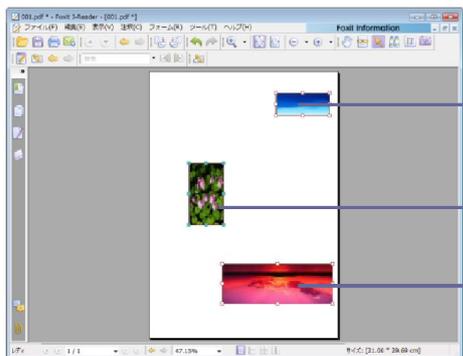
この機能は、3 個以上のイメージを選択した場合に有効です。

- 最上位のイメージから最下位のイメージまで等間隔に配置するには、選択したイメージを右クリックし、ポップアップメニューから、分布 > 垂直、と操作します。
- 左端のイメージから右端のイメージまで等間隔に配置するには、選択したイメージを右クリックし、ポップアップメニューから、分布 > 水平、と操作します。

イメージを等間隔に配置する例:



- A.** A、B、C の三つのイメージを選択します。A が最上位で C が最下位のイメージです。

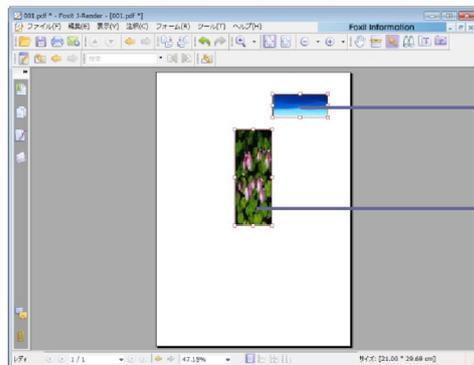


- B.** イメージのいずれかを右クリックし、ポップアップメニューより、分布 > 垂直、と操作します。その結果、B が A と C の中間に配置されたことがわかります。

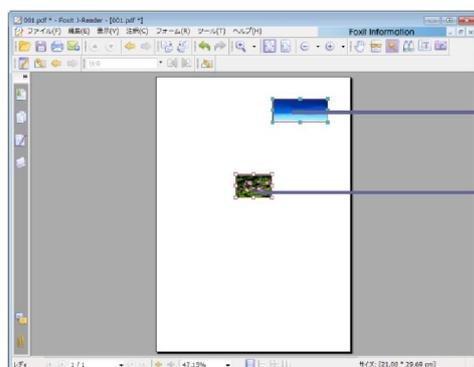
## イメージのリサイズ

複数のイメージを同じ高さ、同じ幅、あるいは両方が同じ状態に調整することが出来ます。イメージの一つをアンカーイメージとして選択し、他のイメージの高さ、あるいは幅をアンカーイメージのサイズに統一します。

イメージのリサイズの例:



**A.** イメージ A とイメージ B を選択し、A をアンカーイメージに設定することになります。



**B.** A を右クリックし、ポップアップメニューより、サイズ > 高さ、と操作します。B の高さが A の高さと同じサイズに設定されたことが確認できます。

## 複数イメージのプロパティ設定

- 複数のイメージを選択 > 選択したイメージの一つを右クリック > ポップアップメニューの [プロパティを開く...] を選択、と操作します。
- [マルチメディアプロパティ] ダイアログの [表示方法] タブが開きます。詳細な説明は、["イメージのプロパティ設定"](#) を参照してください。

## マルチメディアの追加

Foxit J-Reader では、PDF ファイル上でのマルチメディアの再生だけでなく、PDF ファイルに対するマルチメディアファイルの貼り付けや貼り付けたマルチメディアの編集も可能です。Foxit J-Reader を使用すると、イメージやビデオと同様に、ムービーやサウンドを PDF ファイルに追加することができます。

Foxit J-Reader のムービーツールやサウンドツールは、PDF ドキュメントにムービーやサウンドを追加し、PDF ファイルにおけるマルチメディアの体験を生み出します。ムービーやサウンドを PDF ファイルに追加することは、イメージの挿入と同じ位簡単です。

ムービーとは、AVI、QuickTime、そして MPEG などの形式のファイルで、拡張子が、.avi、.wmv、.mov、.qt、.mpg、そして.mpeg のファイルです。Animated GIF ファイルの拡張子は.gif で、サウンドは midi、wav、そして mp3 形式のファイルを指します。

ユーザーの環境設定が変化しても再生できるように、異なる演出のムービーを提供することができます。例えば、低速のインターネット回線を使用しているユーザーのために、低解像度での演出を含める、というような設定が可能です。

**ノート:** 有効なメディアハンドラーが無いと言う意味のメッセージが開いた場合、PDF にクリップを追加する前に適切なプレイヤーをインストールしなくてはなりません。例えば、PDF に MOV ファイルを組み込む場合は、QuickTime をインストールしなくてはなりません。

## ムービーやサウンドの追加

1. ツールバーの [ムービーツール]  を選択するか、メニューより、編集 > ムービーを追加、と操作します。
2. マウスボタンを押し、そのままドラッグしてムービーやサウンドを貼り付けるエリアを選択します。ムービーが再生されるエリアは、ムービーのフレーム内となります。
3. マルチメディアの追加ダイアログが開き、以下のようなオプションを設定できます：
  - 場所: [参照] ボタンをクリックして PDF に貼り付けるムービーファイルを選択します。
  - コンテンツの種類: 貼り付けたメディアの形式が自動的に選択されます。しかし、任意のメディア形式を選択することもできます。ただ、メディア形式を変更した場合は、再生時に何か問題が発生するかもしれませんのでご注意ください。
  - 文書にコンテンツを埋め込む: PDF ファイルにメディアファイルを取り込みます。このオプションは PDF ファイルのサイズを増やします。そしてデフォルトの状態では選択されていますが、選択解除した場合、別のコンピュータで PDF ファイルを開いても、ムービーを再生することはできません。
  - ポスター画像設定: ムービーを再生していない時に、再生エリアにポスターを表示することができます。[ポスター画像を設定しない]、または [ファイルからポスター画像を作成] の二つのオプションから好みの選択ができます。

## プレイエリアの編集

ムービーやサウンドクリップを追加した後、プレイエリアの移動、リサイズ、そして削除が簡単に行えます。

- [注釈選択ツール] 、または [ムービーツール]  を選択し、プレイエリアをクリックします。
- クリップ (プレイエリア) を移動するには、クリップの上でマウスの左ボタンを押し、そのまま移動先までドラッグします。
- クリップ (プレイエリア) の周囲にマウスポインタを近づけます。マウスポインタがリサイズ可能な方向を示す矢印に変わりますので、好みのサイズになるまでドラッグします。**Shift** キーを押したままドラッグすると、縦横の割合を保ったままリサイズすることができます。
- クリップ (プレイエリア) を削除するには、選択して **Delete** キーを押下するか、またはクリップを右クリックし、ポップアップメニューの [削除] を選択します。
- 整列、センタリング、等間隔に配置等の操作については [“複数のイメージに対する操作”](#) を参照してください。

## マルチメディアのプロパティ設定

Foxit J-Reader は、ムービーのプレイエリアの表示方法の変更、ムービーを一度だけ再生するのかそれとも繰り返して再生するのかなど、再生方法の設定、そして代替の演出の作成等々、追加したマルチメディアファイルのプロパティを設定することができます。

マルチメディアのプロパティを設定するには、以下の操作を行ってください：

- [ムービーツール] 、または [注釈選択ツール]  を選択します。
- プレイエリアをダブルクリックするか、またはプレイエリアで右クリックしてポップアップメニューの [プロパティを開く...] を選択します。

[設定] タブや [表示方法] タブ等のある、[マルチメディアのプロパティ] ダイアログが開きます。以下の二つのアイテムはすべてのタブに共通です：

- ロック - このオプションを選択すると、マルチメディアの全てのプロパティに対する変更を禁止します。
- 閉じる - 現在のプロパティを適用して保存し、[プロパティ] ダイアログを閉じます。

ノート： [ロック] オプションはどのタブで設定しても、設定したタブだけでなく、マルチメディアファイルに対する全てのオプションをロックします。

### 1. [プロパティ] ダイアログの [設定] タブ

[プロパティ] ダイアログの [設定] タブには、以下のようなオプションがあります：

- **注釈のタイトル** -- ムービーやサウンドのタイトルを入力します。このタイトルは、再生するマルチメディアファイルを決めるものではありません。
- **代替テキスト** -- メディアファイルの説明等を入力します。
- **レンディション** - ユーザーがそれぞれのシステムでムービーやサウンドを最適に再生できるよう、再生方法を変更することができます。

A. **イベント用レンディションリスト** -- [マウスボタンを放す] がデフォルトの設定となっていますが、異なる映像と異なるアクションを組み合わせることで設定することができます。[マウスボタンを放す] とは、マウスボタンがクリックされてリリースされたときに再生が始まるということを指しています。

B. **追加** - 三つの方法があります：

**ファイルを使用：** [ファイルを開く] ダイアログで追加したいファイルをダブルクリックすると、[コンテンツの種類] が自動的に選択されます。

**URL を使用：** 追加するファイルの URL を入力し、[コンテンツの種類] を選択します。

**既存のレンディションをコピー：** コピーしたいレンディションを選択します。

C. **編集** - [編集] ボタンをクリックすると、[レンディションの設定] ダイアログが開きます。このダイアログでは、別のレンディションと区別するため、再生する場所やその他の設定を行うことができます。

**メディアの設定** -- ムービーやサウンドクリップのための一般的なプロパティ設定を行います：

- **レンディション名：** レンディションにつける名前を入力します。この名前は、[マルチメディアプロパティ] ダイアログのレンディションリストに表示されます。(この名前は、再生するメディアファイルの名前を決めるわけではありません。)
- **メディアクリップの場所：** 再生するメディアファイルの場所を設定します。直接入力もできますし、[参照...] ボタンをクリックして選択することもできます。
- **コンテンツの種類：** メディアクリップの場所を指定すると自動的に選択されます。変更することは可能ですが、変更によりメディアの再生に問題が発生する可能性があります。
- **文書にコンテンツを埋め込む：** PDF ファイルにメディアファイルを組み込みます。この設定により PDF ファイルのサイズが大きくなります。この設定は、デフォルトでは選択された状態になっています。選択解除すると、別のコンピュータで該当 PDF ファイルを開いた場合、メディアは再生できません。
- **代替テキスト：** レンディションの説明を入力します。

- **一時ファイルを許可:** メディアプレイヤーに対して一時ファイルの使用を許可するか、それとも許可しないかを設定します。メディアプレイヤーの中には、ムービーやサウンドクリップを再生する際に一時ファイルを使用するものがあります。ドキュメント内のメディアコンテンツを簡単にコピーできないようにする場合、一時ファイルの生成を禁止することができます。しかし、この設定により、一時ファイルを使用しなくてはならないメディアプレイヤーによるムービーの再生を禁止することになります。

**再生設定** - このタブではムービーやサウンドクリップをどのように再生するか設定します。

- **プレイヤーを終了しない:** ムービーやサウンドクリップの再生が終了した際にプレイヤーを閉じるか、それとも開いたままにするのか、いずれかを設定します。
- **ボリューム:** ムービーを再生する際の音量を設定します。
- **プレイヤーのコントロールを表示:** 再生を行う際、メディアプレイヤーのコントロールバーをプレイエリアの下に表示します。ユーザーは、停止、一時停止、再生など、メディアプレイヤーの提供する機能を使用することができます。
- **繰り返し:** 二回以上任意の回数繰り返し、または継続して繰り返し、を設定することができます。
- **プレイヤーリスト:** [追加] ボタンをクリックしてプレイヤーと、ムービーやサウンドクリップを再生する際に、[必須]、[推奨]、または [禁止] のいずれかの設定を行います。プレイヤーの名前とステータスを選択しますが、複数のプレイヤーに対して [必要] と設定しても、一つのプレイヤーだけが再生に使用されます。プレイヤーのステータスを [推奨] に設定すると、推奨でないプレイヤーよりも優先的に使用されますが、[必要] より優先されることはありません。プレイヤーのステータスを [禁止] に設定すると、そのプレイヤーは再生には使用されません。
- **追加/編集/削除 ボタン:** 新しいプレイヤーを追加できます。また、プレイヤーリストのプレイヤーの編集、削除も行えます。

**再生場所の設定** - ムービーやサウンドクリップを **PDF** の中で再生するのか、再生中も表示しないのか (サウンドクリップの場合は推奨)、**Floating Window** (フローティングウィンドウ) を開いて再生するのか、それともフルスクリーンで再生するのか設定します。なお、[フローティングウィンドウ設定] は、[再生場所] で [フローティングウィンドウ] を選択しないと有効になりません。

- **再生場所:** ムービーやサウンドクリップを再生する場所を選択します。
- **背景色:** メディアプレイヤーの背景色を設定します。
- **タイトルバーを表示:** フローティングウィンドウでメディアを再生する際、ウィンドウのタイトルバーを表示するか、それとも表示しないかを選択します。

- **ウィンドウを閉じるコントロールを表示:** フローティングウィンドウの右上に、クローズボタンを表示するか、それとも表示しないかを選択します。
- **タイトルテキスト:** メディアのタイトルを設定します。このタイトルは、フローティングウィンドウで再生する場合に、タイトルバーに表示されます。
- **サイズ変更:** フローティングウィンドウのリサイズを許すか、それとも禁止するかを設定します。選択肢は次の三つがあります: すなわち [ウィンドウのリサイズを許可しない]、[縦横比を維持したリサイズのみを許可]、そして [ウィンドウのリサイズを許可] です。
- **ウィンドウの位置:** ドキュメントウィンドウ、アプリケーションウィンドウ、バーチャルデスクトップ、またはモニターに対してどの位置にフローティングウィンドウを開くのか設定します。
- **幅/高さ:** フローティングウィンドウの幅と高さを設定します。
- **ウィンドウが画面からはみ出ている場合:** フローティングウィンドウがスクリーンに表示されていない場合の動きを、次の選択肢から選びます。選択肢は [常に再生する]、[スクリーン上にウィンドウがある時]、そして [再生しない] の三つです。

D. 削除 - 選択したレンディションを削除します。

E. 上/下 - レンディションの順序を調整します。先頭のレンディションが再生できない場合は、次の使用可能なレンディションが再生されます。

## 2. [マルチメディアプロパティ] ダイアログの [表示方法] タブ

[表示方法] タブでは、以下の設定が可能です:

- **注釈を画面から隠す** - 貼り付けたメディアファイルを見えなくする場合にチェックします。また、PDF ファイルのコンテンツの上にメディアファイルを置く場合はこのオプションのチェックをはずします。
- **境界線** - メディアファイル周囲の境界線について、幅、スタイル、および色を設定します。
  - A. 幅 -- 境界線の幅を選択します。
  - B. スタイル -- 境界線のスタイルを選択します。実践と破線が選択可能です。
  - C. 色 -- 境界線の色を変更します。[色] ボタンをクリックして、既存の色から任意のものを選択するか、[他のカラー...] をクリックして任意の色を作成します。
  - D. ポスター画像を変更 - ポスターを使用しないか、メディアファイルのためのポスターを設定するか選択します。

## 3. [マルチメディアプロパティ] の [アクション] タブ

“ [プッシュボタン] の [アクション] タブ ” を参照してください。

## JavaScript の実行

JavaScript は、高機能なプロトタイプ言語で、双方向性の web ページを簡単に構築することができます。Foxit J-Reader でも、同程度の双方向性を、簡単に PDF ドキュメント上に構築することができます。

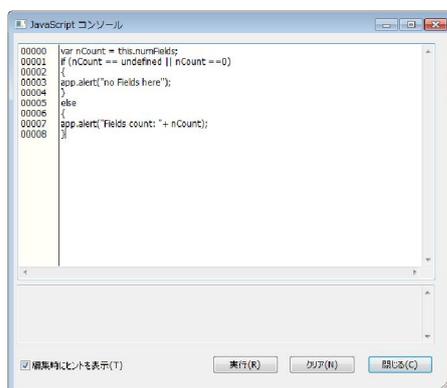
Foxit J-Reader を使用すると、ドキュメント、しおり、リンク、そしてページなどに関連付けたアクションを実行する JavaScript code を作成することができます。Foxit J-Reader は Java スクリプトコンソールと Document JavaScript という二つの選択肢を提供します。

Java スクリプトコンソールは、JavaScript コードの一部を双方向にかつ便利にテストするインタフェースを提供します、そして、オブジェクトのプロパティとメソッドのテストに使用されます。

Document JavaScript コマンドは、ドキュメントレベルの JavaScript を生成し完全なドキュメントを供給するために有効です。

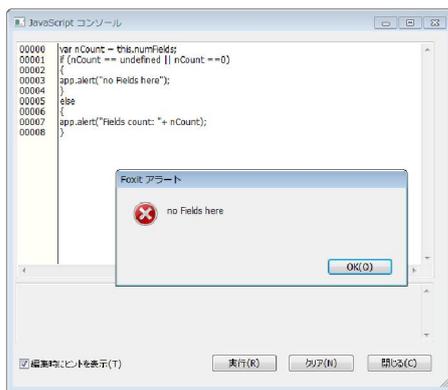
### Java コンソールを使用する

Java スクリプトコンソールは JavaScript コードの実行とデバッグのためのコントロールパネルです。デバッグのために、デバッグメッセージの表示や JavaScript の実行を支援します。Java スクリプトコンソールをアクティブにするには、メニューより、フォーム > Java スクリプトコンソール、と操作します。そして次に以下の操作を行ってください：



#### A. [Javascript コンソール] ダイ

アログで、JavaScript code をタイプするか、または open ボタンをクリックし、js 形式のファイルを選択します。



- B.** [実行] ボタンをクリックし、  
JavaScript code を実行します。  
コードの実行が成功したという  
メッセージが開きます。もし  
code にエラーがあれば、エラー  
メッセージが開きます。

[閉じる] ボタンをクリックすると、JavaScript code は保存され、[クリア] をクリ  
ックすると、そこまでの操作を取り消します。

## Document JavaScript コマンド

Document JavaScript は、可変でドキュメントのための機能を定義しますが、ドキュ  
メント外には適用できません。

- **関数定義:** あらゆるスクリプトから関数が処理可能なように、ドキュメント内に関数  
を定義します。
- **機能定義:** ユーザーとドキュメントの対話を支援するための機能をドキュメント内  
に定義します。これらの機能は、例えば、文字列の処理、数値計算あるいはユーザー  
がフォームフィールドやしおり等を操作した際に実行する長いスクリプトなど、共通  
のタスクを実行するユーティリティのようなものです。

**Foxit J-Reader** ドキュメントレベルスクリプトを生成する場合や、ドキュメントレベ  
ルスクリプトにアクセスする場合は、メニューより、フォーム > ドキュメント...、と操  
作します。[Java Script 関数] ダイアログが開き、ドキュメントレベルスクリプトの追  
加、編集、削除が可能となります。

ドキュメントレベルスクリプトは全て PDF ドキュメント内に格納されます。

[Java Script 関数] ダイアログの中には以下のようなボタンがあります：

- **閉じる** - [Java Script 関数] ダイアログを閉じます。
- **追加** - [スクリプト名] にスクリプト名を入力して [追加] ボタンをクリックする  
と、[JavaScript の編集] ダイアログが開き、ドキュメントレベルスクリプトの作  
成や編集ができます。
- **編集** - [編集] ボタンをクリックすると、[JavaScript の編集] ダイアログが開き  
作成した JavaScript の編集が出来るようになります。
- **削除** - ドキュメントレベルスクリプトを削除します。

## 第九章 – 印刷

印刷はテキストやイメージを再現するプロセスです。役に立つ記事を読み終わった時や PDF フォームのデザインが終了した時、インクジェットプリンタやレーザープリンタに送って任意のサイズで印刷する必要が生じるかも知れません。このセクションでは、目的の印刷結果を得るための、印刷ダイアログボックスでのオプションの設定方法を知ることが出来ます。

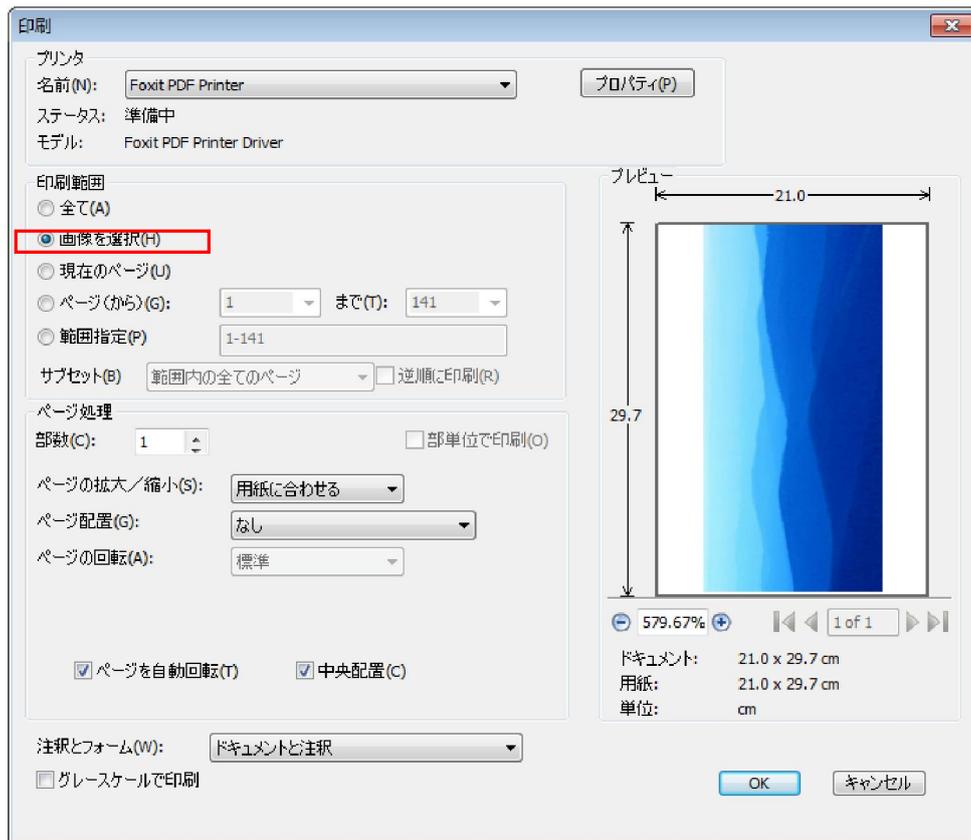
### PDF ドキュメントの印刷方法

1. プリンタが正常にインストールされていることを確認してください。
2. ツールバーの [印刷] ボタン  をクリックするか、またはメニューより、ファイル > 印刷... と操作します。
3. 出力するプリンタやプロッタを選択し、印刷範囲、印刷する部数、その他のオプションを設定します。
4. [OK] ボタンをクリックします。  
[ファイル] メニューには、印刷に関連する二つの機能があります：
  - [印刷] ダイアログは、望ましい印刷オプションの設定や印刷の実行を行います。
  - [プリンタの設定] ダイアログは、プリンタと使用する用紙のサイズを決定します。

### ページの一部分を印刷する

ページの一部分を印刷する場合は、[スナップショット] ツール  を参照してください。

- メニューより、ツール > スナップショットツール、と操作するか、またはツールバーで [スナップショット]  をクリックします。
- ドラッグして印刷するエリアを選択します。
- 選択したエリアで右クリックし、ポップアップメニューの [印刷...] を選択して、印刷ダイアログを参照します。

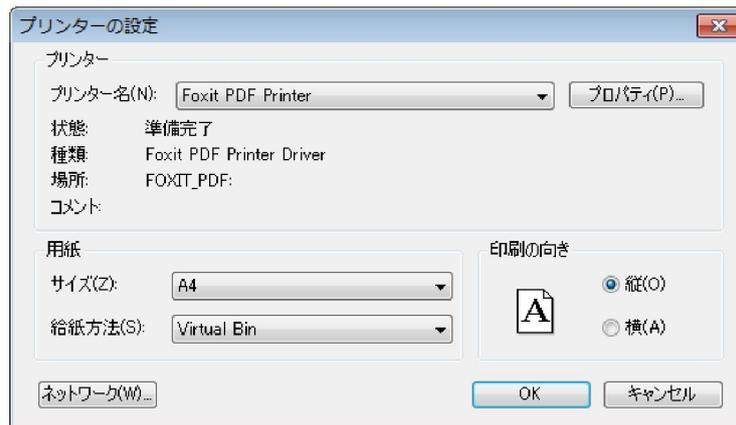


ページの一部を印刷する

## 印刷の設定

プリンタの設定ダイアログでは、使用するプリンタと用紙を選択できます。そして、用紙サイズや用紙の向きなどの印刷オプションを、プリンタの設定ダイアログで変更することが出来ます。

プリンタの設定ダイアログを呼び出すには、メニューより、ファイル > 印刷設定…、と操作します。以下の項目は、プリンタの設定ダイアログのオプションです：



### プリンタの設定ダイアログ

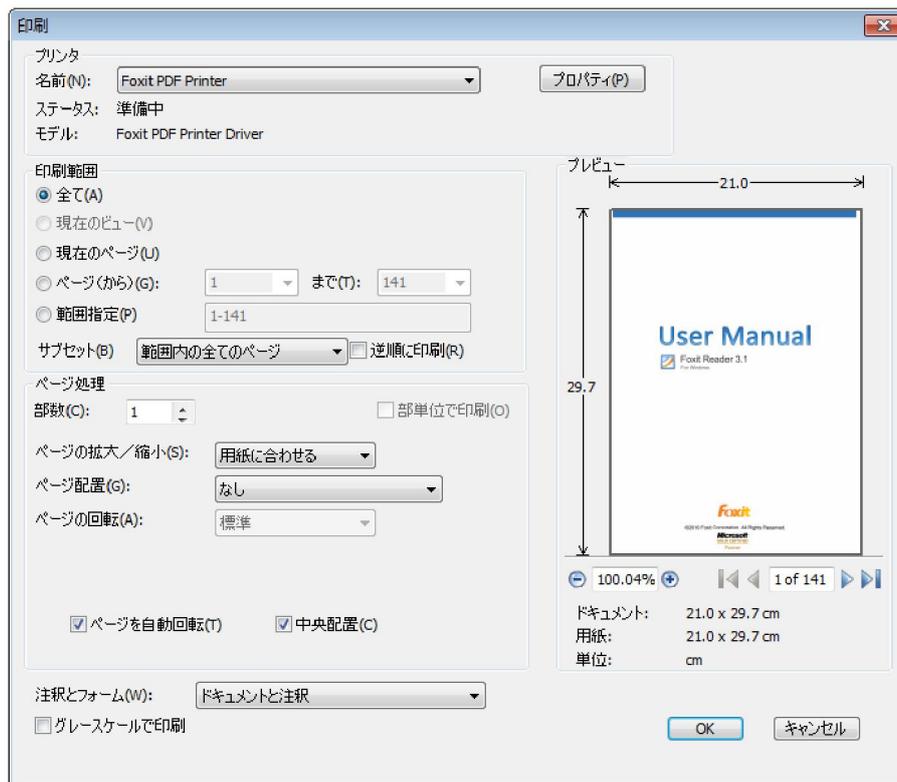
- プリンタ名 -- インストールされているプリンタのリストから、使用するプリンタを選択します。[プロパティ] ボタンをクリックして、プリンタのプロパティダイアログを開くと、プリンタに特有のオプションを設定できます。
- サイズ -- プリンタが使用する用紙のサイズです。プリンタの機種により、多数の用紙サイズ (letter, legal, A3, A4, etc.) が表示される場合があります。ここで使用する用紙のサイズを選択します。
- 給紙方法 -- 給紙方法は、プリンタの用紙トレイです。オートシートフィーダを選択すると、デフォルトの設定で印刷されます。
- 印刷の向き -- ドキュメントの印刷方向を縦にするか、それとも横にするか決定します。
- ネットワーク -- 複数のプリンタに接続している場合、このボタンを使用してプリンタを選択できます。プリンタを選択すると、次に用紙サイズや用紙の向きを選択できます。

## 印刷ダイアログ

印刷ダイアログは、印刷実行前の最後のステップです。このダイアログでも使用するプリンタを変更することが出来ます。ただし、使用するプリンタを変更すると、新しいプリンタには異なるサイズの用紙が設定されているなど、ページの設定に影響することがありますので注意してください。

印刷ダイアログでは、ドキュメントの印刷方法について、いくつか設定の変更を行うことが出来ます。以下の、印刷ダイアログにおける手順ごとの説明を参照してください。

印刷ダイアログを開くには、メニューより、ファイル > 印刷... と操作します。



### 印刷ダイアログ

- 名前 -- インストールされているプリンタのリストから、使用するプリンタを選択します。 [プロパティ] ボタンをクリックして、プリンタのプロパティダイアログを開くと、プリンタに特有のオプションを設定できます。
- 印刷範囲 - このオプションの設定により PDF ドキュメントの異なる部分を印刷することが出来ます。全てのページを印刷するか、特定のページを印刷するか設定することが出来ます。

**すべて** - PDF ドキュメントの全てのページを印刷します。

**現在のビュー** - 現在表示しているエリアを印刷します。表示しているエリア内のテキスト、コメント、イメージ、テーブル、あるいはそれらの組み合わせ全てが印刷対象です。このオプションは、[表示] メニュー内の [ページ表示] の設定が、[単一ページ]、となっている場合にだけ有効です。

**現在のページ** - 現在表示しているページを印刷します。

**開始ページ (から) / 終了 (まで)** - PDF ドキュメント内の印刷するページの範囲を指定します。ページの番号は直接数値を入力するか、ドロップダウンリストから選択します。

- サブセット - 連続しないページを印刷するためのオプションです。

**すべてのページ** - 指定された範囲にある全てのページを印刷します。

**奇数ページのみ** - 指定された範囲にある奇数ページだけを印刷します。

**偶数ページのみ** - 指定された範囲にある偶数ページだけを印刷します。

**ノート:** この機能は、両面に印刷する場合に特に有効です。

- **逆順に印刷** - ページの逆順に印刷します。印刷するページの範囲を指定すると、入力したページ数の逆に印刷されます。例えば、印刷範囲を **5** ページから **30** ページまでとして、このオプションを同時に設定すると、**30** ページを先頭に **5** ページまで印刷されます。
- **部数** - 印刷する部数を設定します。
- **部単位で印刷** - 複数部印刷する時、番号順や論理的な順番などに組み合わせて出力します。このオプションは、**1** 部だけ印刷する場合は無効です。
- **ページの拡大/縮小** - 印刷時の拡大/縮小、その割合などを指定します。[用紙に合わせる]、[**100%**表示]、あるいは特定のサイズを選択することが出来ます。
- **ページ配置** - [なし]、または [一枚に複数ページを印刷] が選択可能です。

**なし** - 1 シートに 1 ページ印刷します。

**一枚に複数ページを印刷** - 1 シートに複数ページ印刷します。

このオプションを設定すると、[ページの順序]、[1 枚あたりのページ数]、[ページ枠を印刷する]、[ページの回転] 等、別のオプションが表示されますので、これらも設定します。

**A. ページの回転** - [標準]、[右回転]、および [左回転] から選択します。選択する都度回転します。

**B. ページの順序** - 1 シートに複数ページ印刷する時、各ページをどのように並べるか指定します。

水平 - ページを左から右、上から下と言う順序で配置します。

水平反転 - 右から左、上から下と言う順で配置します。

垂直 - 上から下、左から右と言う順に配置します。

垂直反転 - 上から下、右から左という順序で配置します。

**C. 一枚あたりのページ数** - 1 シートに複数ページ印刷する時、水平方向のページ数と垂直方向のページ数を指定します。

a. ドロップダウンリストに表示される数値を選択すると、Foxit J-Reader が自動的に最適な用紙の向きを設定します。

b. ドロップダウンリストの [カスタム] を選択すると、ページ数を入力または選択して、用紙の向きも設定する必要があります。

**D. ページ枠を印刷する** - 1 シートに複数ページ印刷する時、PDF のページの境界を印刷するかしないかを指定します。

- **ページの回転** -- [標準]、[右回転]、および [左回転] から選択します。
- **ページを自動回転** - PDF ドキュメントの方向を、1 ページあたりのページ数に合わせて、自動的に最適な向きに回転します。
- **中央配置** - 用紙の中央に配置して印刷します。

- 印刷内容 - PDF ドキュメントだけを印刷するのか、注釈だけを印刷するか、それとも両方を印刷するか指定します。

文書 - 注釈を除き、PDF ドキュメントだけを印刷します。

文書と注釈 - PDF ドキュメントの内容と注釈を印刷します。

注釈 - 注釈だけを印刷。

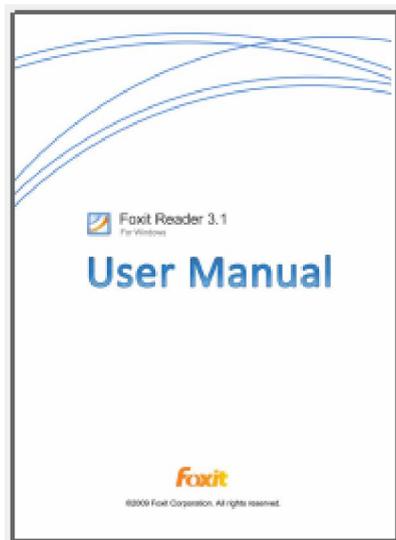
- プレビュー -- Foxit J-Reader は、印刷ダイアログ内に瞬時にプレビューを表示します。

印刷ダイアログ内で、拡大/縮小ツールやナビゲーションツールを使用して各ページを任意の拡大率でプレビューすることが出来ます。ドキュメントサイズと用紙サイズがプレビューの下に表示されます。

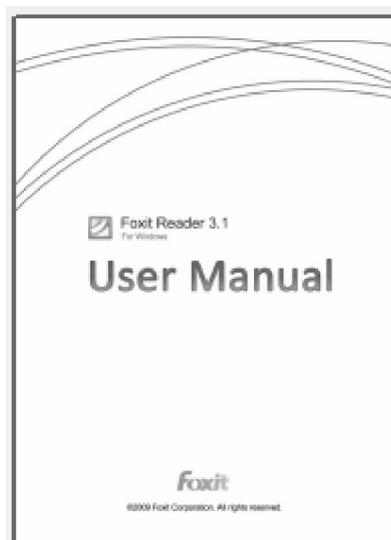
**ヒント:** ページの寸法の単位を変更する場合は、メニューより、ツール > 環境設定 > [ドキュメント] タブの選択、と操作し、計測単位を変更します。

- グレースケールで印刷 - カラーイメージ、テキスト、その他のオブジェクト等全てグレースケールで印刷します。

例えば、RGB や CMYK イメージだけの PDF は、特にサイズが大きくなりますが、これらの PDF ドキュメントをグレースケールに変換すると、ファイルサイズが小さくなり印刷のスピードが速くなります。



通常の印刷



グレースケールでの印刷

## 第十章 - 付録

この章ではキーボードショートカット、サポートしている言語のリスト、そしてコマンドラインなど、ユーザーマニュアルを補足する情報を集めています。

### キーボードショートカット

Foxit J-Reader で PDF ドキュメント内をナビゲーションする際に、スピードアップのためのショートカットキーは多くありますが、ここではその中の重要なものをいくつか紹介します：

#### ファイル

アクション	ショートカット
ファイルを開く	Ctrl + O
ファイルを閉じる	Ctrl + W, or Ctrl + F4
名前を付けて保存	Ctrl + Shift + S
すべて閉じる	Ctrl + Shift + W
印刷	Ctrl + P
Foxit J-Reader を終了	Ctrl + Q
保存	Ctrl + S

#### 表示

アクション	ショートカット
フルスクリーンモード	F11
ズームイン	Ctrl + Num +
ズームアウト	Ctrl + Num -
指定倍率	Ctrl + M
100%表示	Ctrl + 1
全体表示	Ctrl + 2
幅に合わせる	Ctrl + 3
右 90°回転	Ctrl + Shift + Plus
左 90°回転	Ctrl + Shift + Minus
ツールバーをリセット	Alt + F8

すべてのツールバーを格納	Ctrl + F8
ツールバーを隠す	F8
自動スクロール	Ctrl + Shift + H
自動スクロールの停止	ESC
逆順に表示	F11
メニューバーの表示/非表示	F9
タブの切替	Ctrl + Tab

## 編集

アクション	ショートカット
コピー	Ctrl + C, or Ctrl + Insert
テキスト検索	Ctrl + F
次を検索	F3
前を検索	Shift + F3
環境設定	Ctrl + K
Undo	Ctrl + Z
Redo	Ctrl + Y

## テキスト選択ツール

アクション	ショートカット
コピー	Ctrl + C
すべて選択	Ctrl + A
すべての選択を解除	Ctrl + Shift + A
しおりの追加	Ctrl + Shift + B

## ツール

アクション	ショートカット
手のひらツール	Alt + 3
ズームアウト	Alt + 4
ズームイン	Alt + 5
テキスト選択	Alt + 6
スナップショット	Alt + 7

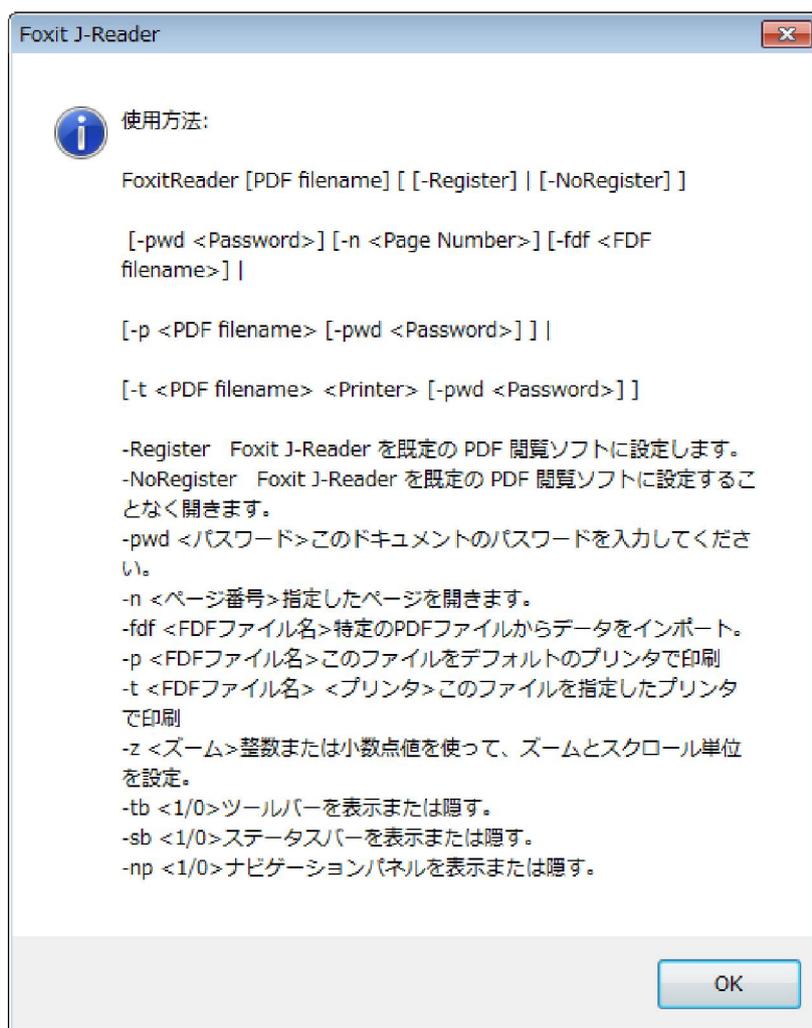
タイプライター	Alt + 8
フルスクリーンモードの終了	ESC,F11
テキストビューアの起動	Alt + 9

## ドキュメント

アクション	ショートカット
先頭のページ	Home
前のページ	Left Arrow, Page Up, or Ctrl + Page Up
次のページ	Right Arrow, Page Down, or Ctrl + Page Down
最後のページ	End
ページへ移動	Shift + Ctrl + N, or Ctrl + G
すべて選択	Ctrl + A
Page Down	Space
Page Up	Shift + Space

## コマンドライン

Foxit J-Reader はコマンドラインで PDF を操作するためのパラメータを定義しています。Foxit J-Reader で使用できるコマンドラインを確認するには、メニューより、ヘルプ > コマンドラインヘルプ... と操作してください。



コマンド	処理内容
-Register	Foxit J-Reader を既定の PDF 閲覧ソフトに設定します。
-NoRegister	Foxit J-Reader を既定の PDF 閲覧ソフトに設定することなく開きます。
-pwd <password>	このドキュメントのパスワードを入力してください。
-n <Page Number>	指定したページを開きます。
-fdf <FDF filename>	特定の FDF ファイルからデータをインポート。
/p	このファイルをデフォルトのプリンタで印刷
/t <Printer>	このファイルを指定したプリンタで印刷

## お問い合わせ

フリーソフトウェアである **Foxit J-Reader** は原則としてサポートを行っておりません。  
ユーザー様ご自身の責任でご利用をお願い致します。

学校、企業等でのご利用につきましては、別途有償でのサポート（年単位）を提供しております。下記まで、ご相談ください。

- *Office Address:*

FoxitJapan

〒105-0022 港区海岸 1-2-20 汐留ビルディングプライベートオフィス 3F  
日本

*Website:*

<http://www.foxitsoftware.com/japan/>

*E-mail:*

[fj@foxitsoftware.com](mailto:fj@foxitsoftware.com)

*FAX:*

03-6721-2020

- *Office Address:*

BusinessBooks.jp

〒669-1104 西宮市生瀬武庫川町 2-3-1601  
日本

*Website:*

<http://www.businessbooks.jp/>

*E-mail:*

[sales@businessbooks.jp](mailto:sales@businessbooks.jp)

*TEL:*

0797-87-9812

*FAX :*

0797-87-9812

- *Office Address:*

Foxit Corporation

39819 Paseo Padre Parkway

Fremont CA 94538  
USA

*Mailing Address:*

Foxit Corporation  
39819 Paseo Padre Parkway  
Fremont CA 94538  
USA

*Sales:*

**1-866-MYFOXIT or 1-866-693-6948 (8AM-5PM PST Monday - Friday)**

510-438-9090 (8AM-5PM PST Monday - Friday)

408-307-9358 (8AM-5PM PST Monday - Friday)

*Support:*

**1-866-MYFOXIT or 1-866-693-6948(24/7)**

979-446-0280 (6AM-5PM PST Monday - Friday)

*Fax:*

510-405-9288

*Website:*

<http://www.foxitsoftware.com/>

*E-mail:*

Sales and Information - [sales@foxitsoftware.com](mailto:sales@foxitsoftware.com)

Marketing Service - [marketing@foxitsoftware.com](mailto:marketing@foxitsoftware.com)

Technical Support - [support@foxitsoftware.com](mailto:support@foxitsoftware.com)

Website Questions - [webmaster@foxitsoftware.com](mailto:webmaster@foxitsoftware.com)